資料２－１

田辺市
子ども・子育て支援事業計画策定に係る
ニーズ調査報告書

平成 26 年３月

田辺市　子育て推進課

目　次

Ⅰ　調査の概要……1

１．調査目的……1

２．調査項目……1

３．調査設計……2

４．回収結果……2

５．報告書の見方……2

Ⅱ　調査結果・就学前児童……3

１．世帯及び子どもの基本属性……3

２．子どもの育ちをめぐる環境について……6

３．子どもの保護者の就労状況について……16

４．子どもの平日の幼稚園・保育所などの利用状況について……25

５．子どもの地域の子育て支援事業の利用状況について……36

６．子どもの土曜・休日や長期休暇中の幼稚園・保育所などの利用希望について……41

７．子どもの病気の際の対応について……46

８．子どもの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について……51

９．宿泊を伴う預かり事業の利用状況……56

10．小学校就学後の放課後の過ごし方について……59

11．育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について……77

Ⅲ　調査結果・小学生児童……99

１．世帯及び子どもの基本属性……99

２．子どもの育ちをめぐる環境について……102

３．子どもの保護者の就労状況について……112

４．放課後の過ごし方について……121

５．育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について……139

資料

調査票

Ⅰ　調査の概要

Ⅰ　調査の概要

１．調査目的

「子ども・子育て支援法」に基づく新制度の開始を控え、子ども・子育てに関する実態とニーズを把握するため、就学前児童及び小学校児童の保護者を対象に調査を行った。

２．調査項目

就学前児童
１．世帯及び子どもの基本属性
２．子どもの育ちをめぐる環境について
３．子どもの保護者の就労状況について
４．子どもの平日の幼稚園・保育所などの利用状況について
５．子どもの地域の子育て支援事業の利用状況について
６．子どもの土曜・休日や長期休暇中の幼稚園・保育所などの利用希望について
７．子どもの病気の際の対応について
８．子どもの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について
９．小学校就学後の放課後の過ごし方について
10．育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について
小学校児童
１．世帯及び子どもの基本属性
２．子どもの育ちをめぐる環境について
３．子どもの保護者の就労状況について
４．放課後の過ごし方について
５．育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

３．調査設計

（１）調査対象

種類	調査対象
就学前児童	田辺市在住の就学前児童の保護者 2,960 人
小学校児童	田辺市在住の小学生の保護者 1,287 人

（２）調査期間

種類	調査期間
就学前児童	平成 25 年 12 月 6 日（金）～平成 25 年 12 月 20 日（金）
小学校児童	

（３）調査方法

種類	調査方法
就学前児童	郵送配布・郵送回収 直接配布・直接回収（幼稚園や保育所に通っている児童の場合）
小学校児童	直接配布・直接回収

４．回収結果

種類	配布数	回収数		有効回収数	有効回収率
			うち無効票		
就学前児童	2,960 件	2,113 件	7 件	2,106 件	71.1%
小学校児童	1,287 件	1,143 件	7 件	1,136 件	88.3%

５．報告書の見方

（１）回答は、各質問の回答者数（ｎ）を基数とした百分率（%）で示してある。小数点第２位を四捨五入しているため、比率の合計が 100.0%にならない場合がある。

（２）複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0%を上回る。
なお、本文中、表やグラフに次のような表示がある場合、複数回答を依頼した質問である。
・MA%(Multiple Answer)＝回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合

（３）回答があっても、小数点第２位を四捨五入して 0.1%に満たない場合は、図表には「0.0」と表記している場合がある。

（４）回答者数（ｎ）が少ない場合は、比率の数字に偏りが生じやすく、厳密な比較をすることは難しいので、おおよその回答の傾向をみることになる。

（５）グラフにおいて、コンピュータの入力の都合上、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。

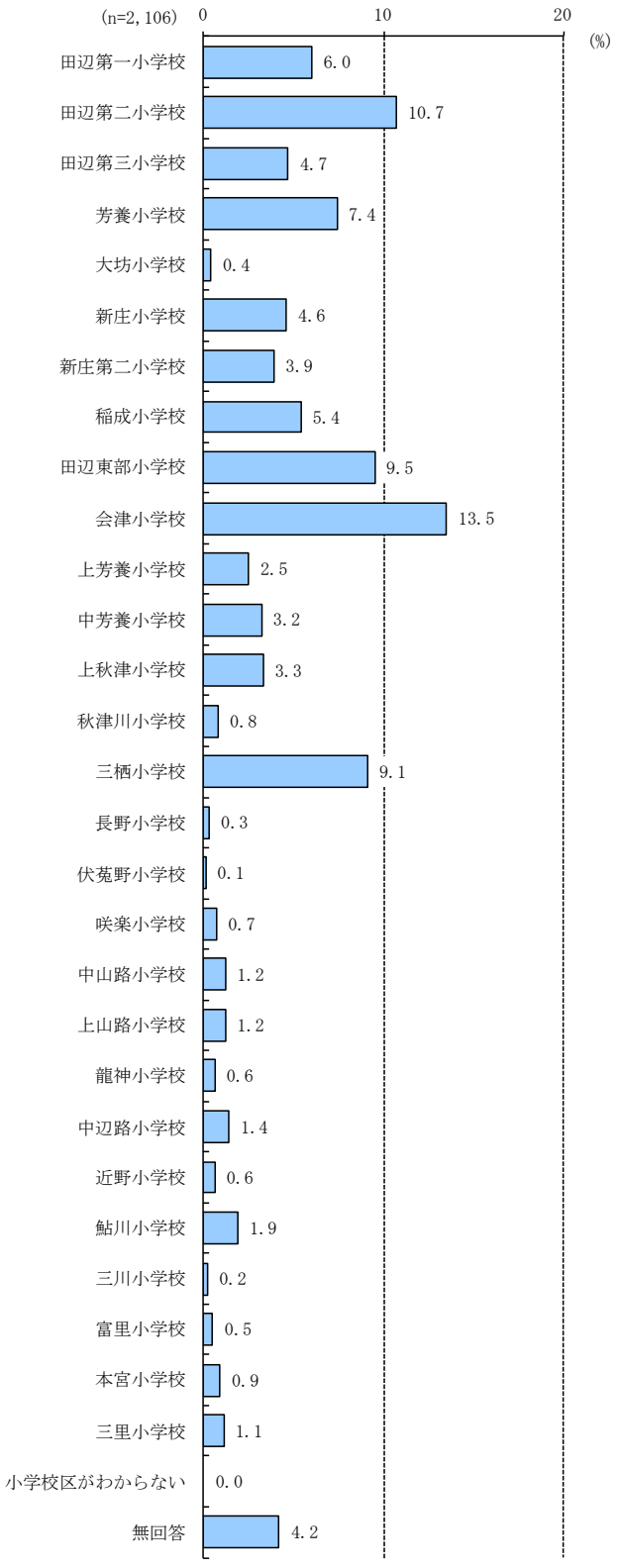
Ⅱ　調査結果・就学前児童

Ⅱ　調査結果・就学前児童

１．世帯及び子どもの基本属性

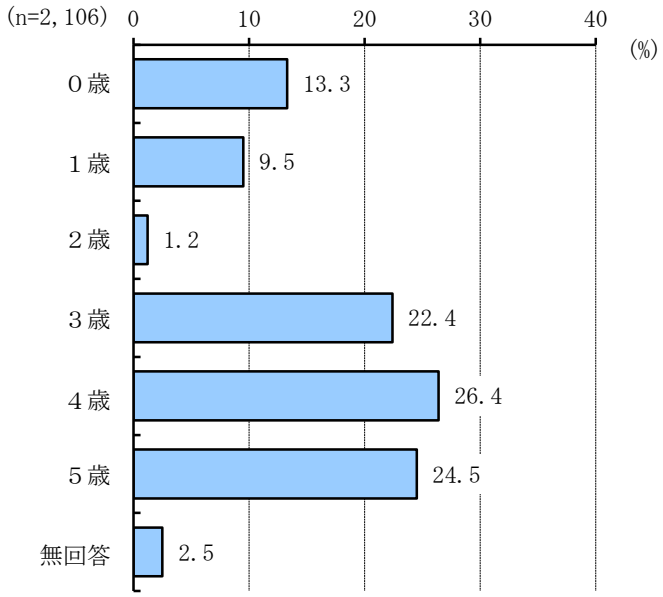
（１）居住地域（小学校区）

【居住地域（小学校区）】



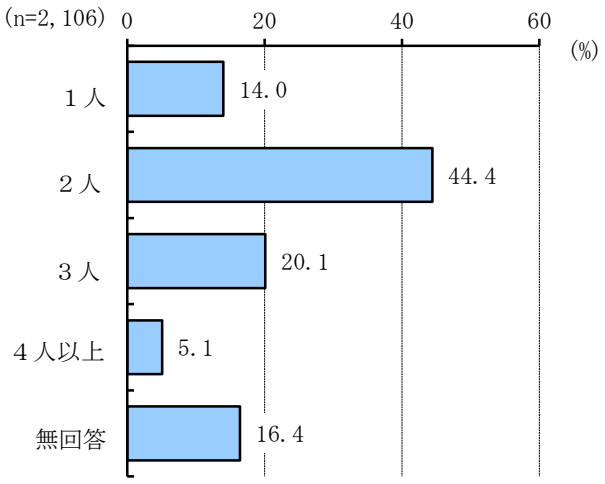
（２）子どもの年齢

【子どもの年齢（学年ベース）】

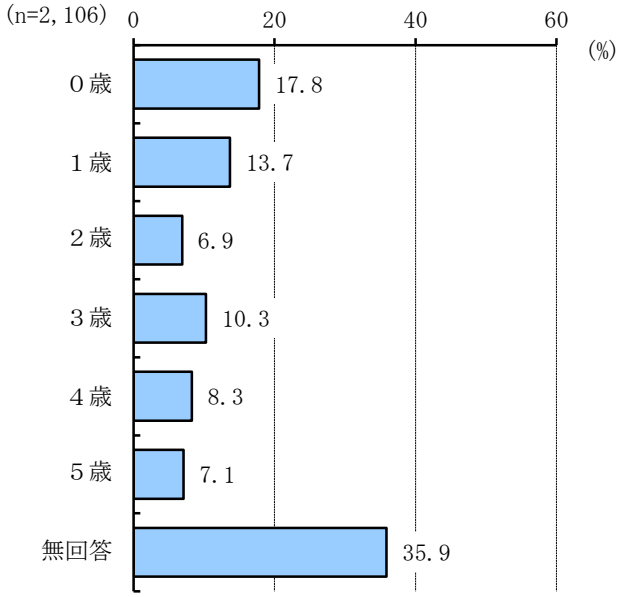


（３）子どもの数、末子の年齢

【子どもの数】

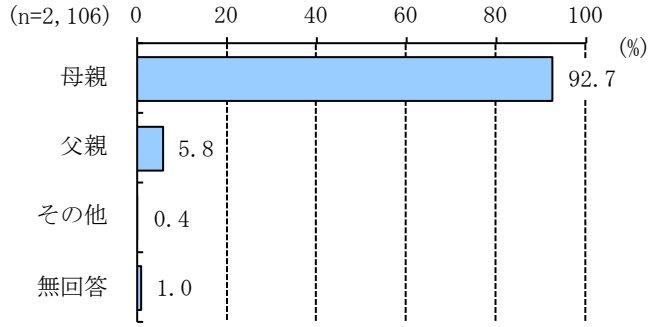


【末子の年齢】



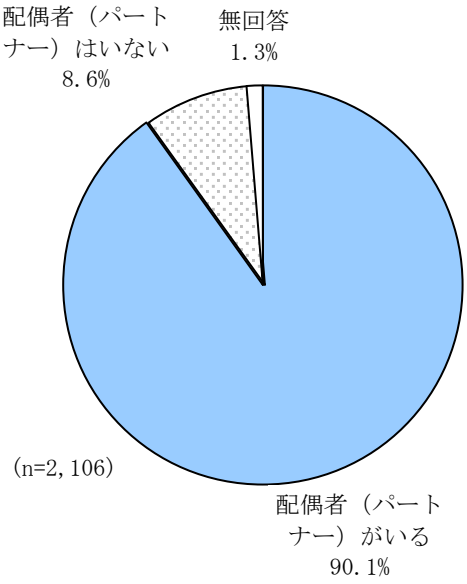
（４）調査回答者

【調査回答者】



（５）記入者の配偶者（パートナー）の有無

【記入者の配偶者（パートナー）の有無】

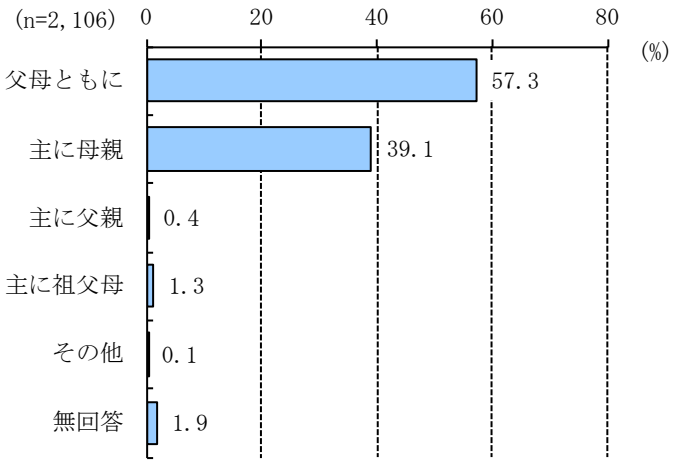


２．子どもの育ちをめぐる環境について

（１）子育てを主に行っている人

問６　お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号１つに○をつけてください。

【子育てを主に行っている人】

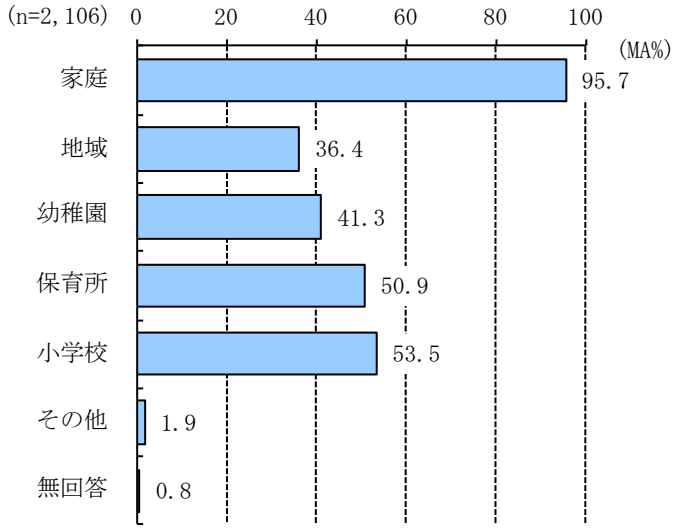


子育てを主に行っている人をみると、「父母ともに」が 57.3％で最も多く、次いで「主に母親」が 39.1％、「主に祖父母」が 1.3％、「主に父親」が 0.4％の順となっている。

（２）子育てに影響すると思う環境

問７　お子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

【子育てに影響すると思う環境】

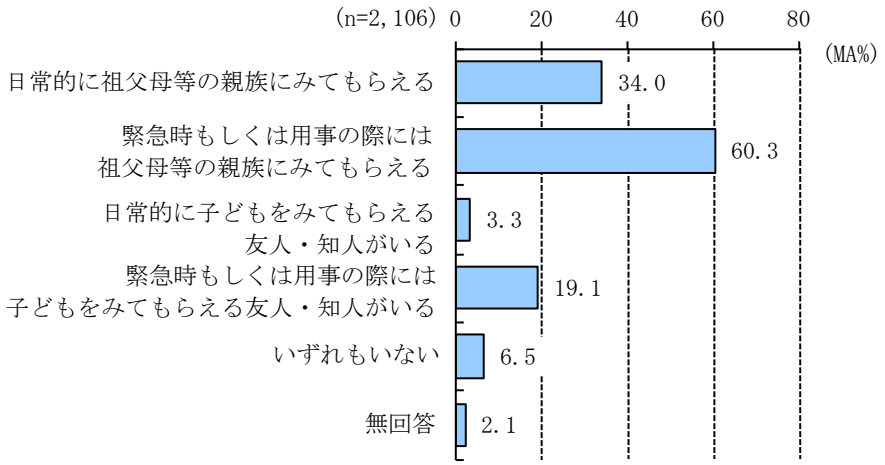


子育てに影響すると思う環境をみると、「家庭」が 95.7%で最も多く、次いで「小学校」が 53.5%、「保育所」が 50.9%の順となっている。

（３）子どもを預かってもらえる親族、友人・知人の有無

問８　日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

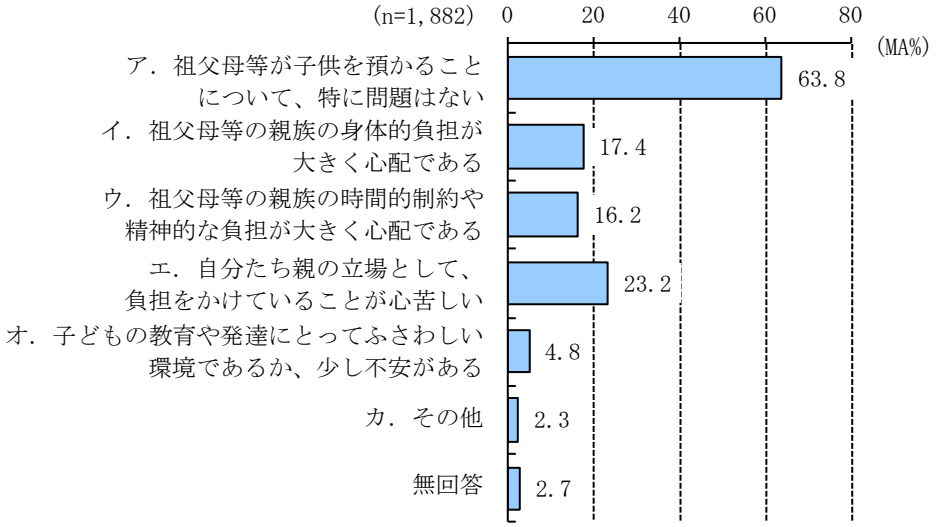
【子どもを預かってもらえる親族、友人・知人の有無】



子どもを預かってもらえる親族、友人・知人の有無をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 60.3％で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 34.0％、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 19.1％の順となっている。

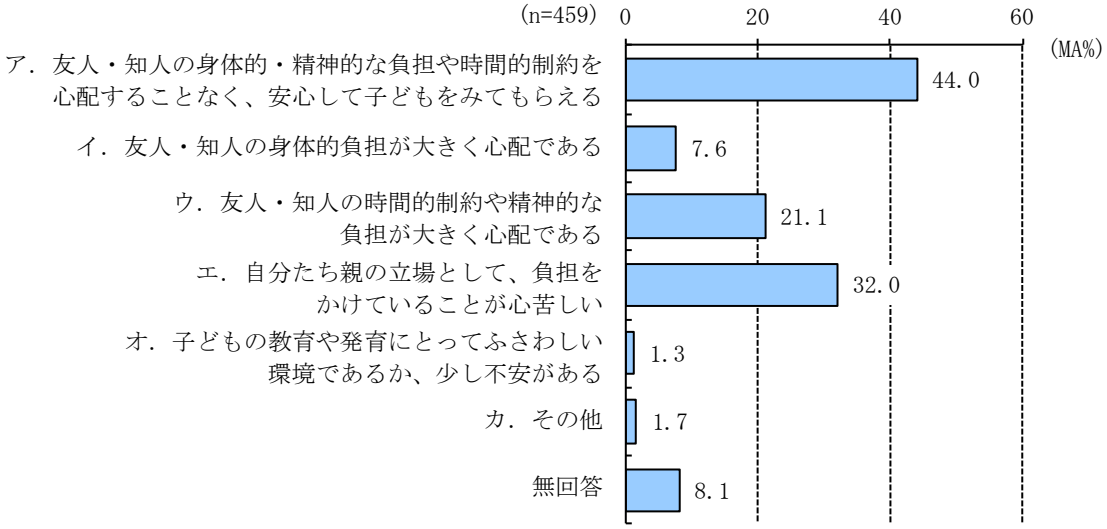
（４）子どもを預かってもらうことに関する状況

【親族に子ども預かってもらうことに関する状況】



親族に子どもを預かってもらうことに関する状況をみると､「祖父母等が子供を預かることについて、特に問題はない」が 63.8%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 23.2%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が 17.4%の順となっている。

【友人・知人に子ども預かってもらうことに関する状況】

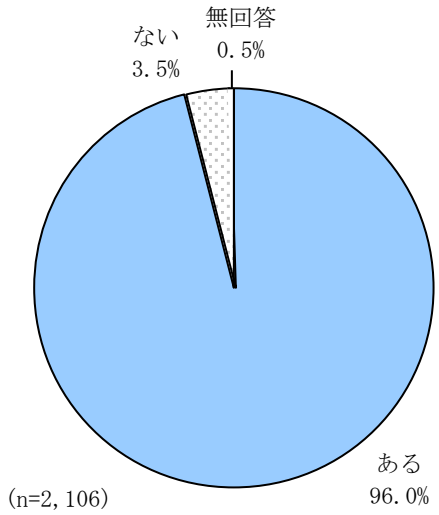


友人・知人に子どもを預かってもらうことに関する状況をみると、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 44.0%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 32.0%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 21.1%の順となっている。

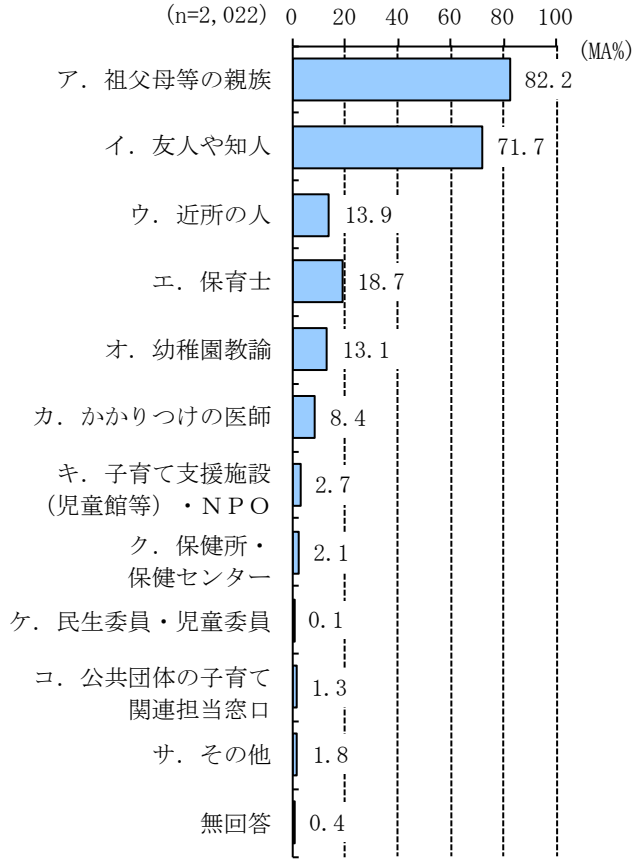
（５）子育てに関する相談先の有無、相談相手

問９　お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気楽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

【子育てに関する相談先の有無】



【子育てに関する相談相手】



子育てに関する相談先の有無をみると、「ある」が 96.0%、「ない」は 3.5%となっている。

子育てに関する相談相手をみると、「祖父母等の親族」が 82.2%で最も多く、次いで「友人や知人」が 71.7%、「保育士」が 18.7%の順となっている。

（６）あればよいと考える子育てサポート

問１０　子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

◆ 相談支援の充実

内容	件数
子育てで困った時に相談できる窓口（連絡先）が気軽に利用できるような体制だったらいいと思う。	14
家庭訪問・電話訪問などで育児の相談。家庭での様子を見てもらいながらアドバイス等してもらえる環境。	5
子どもを遊ばせているついでに気軽に相談できるような場所があればよい。	4
定期健診やアンケートだけでなく個別相談できる機会を作ってほしい。	3
相談機関の一本化。どこに相談に行けばよいかわからない場合や相談機関の「たらいまわし」をなくすため。	2
直接や電話ではしにくい子育て相談もメールで気軽にできたら安心できる。	2
虐待などが心配される親に対するカウンセリング・ケア。	1

◆ 情報提供支援の充実

内容	件数
どのようなサポートがあるのかわかりやすく明示、情報公開をしてほしい。	8
母子手帳を受け取る時等に、子育て支援の情報を知らせてもらえるとうれしい。	2
子ども抱えて引きこもることのないように、交流の場や支援内容が必要な人に届くようにしてほしい。	2
子育てネットのようなサイトで情報を知らせてほしい。	2
引越してきた時に、役所で子育て情報のパンプレット等がほしい。	2
保育園や幼稚園の情報提供をしてほしい。	2
地域外での教育についても情報を提供してもらえるような場所がほしい。	1

◆ 子育てサークル支援の充実

内容	件数
同様の子育て環境にある親同士のコミュニケーションのとれる場を多く設ける。	14

◆ 経済的支援の充実

内容	件数
保育料をもう少し安くしてほしい。保育料が高く預けられない。	4
幼稚園や小学校等、完全無料化。	3
登録せずに月に何回か無料で預けられる所があれば良い。	3

◆ 経済的支援の充実

内容	件数
乳幼児の医療制度、医療費の無料化を小学校卒業までにしてほしい。	3
金銭的な援助があれば助かる。	2
子どもの通院に市からの補助があること。	1
中３までインフルエンザの予防接種が無料のところがあると聞いたので、田辺市もそのような取り組みをしてほしい。	1
オムツを捨てる専用のゴミ袋がない。	1
塾に行かせる余裕がないので、無料で教えてくれるところがあればうれしい。	1

◆ 養育支援訪問事業の充実

内容	件数
就学までの間は定期的な接触を行政等からしてもらうのはありがたい。	5
子どもを預ける人がいなかったり、親の体調の悪い時に家事等を手伝ってもらえると助かる。	5
健康診断を増やしてほしい。	3
子どもが病気の時や外出困難時に宅配サービスがあれば助かる。	1
今も養育支援はありますが、４０時間は短すぎだと思うので、養育支援を充実させてほしい。	1

◆ 子どもの預かりについての支援の充実

内容	件数
気軽に預かってもらえるサポートがあれば嬉しい。	14
買い物や病院へ行く間の少しの時間でも子どもを気軽に見てもらえると助かる。	9
安価で利用できる一時保育サーズスがほしい。	8
急な時にも対応可能で子どもを預かってくれるところがあると助かる。	7
小学校就学後、どの校区にも学童保育があれば良いと思う。	6
土・日・祝でも預かってくれる場所があるとありがたい。	4
夜勤でも預かってくれる２４時間の保育所等。	4
気軽に子どもを預けたり、相談できる施設がほしい。	2
家庭の中で子どもの面倒を見てくれる支援があればうれしい。	2
自分が病気の時など病院に行く間だけでも無料で子どもを預かってもらえる施設があればいいと思う。	2
どこの校区でも心配なく学童保育が利用できるよう定員を増やしてほしい。	2
学童保育を小学６年までに延長してほしい。	2
長期の休みなどの際、親が安心して仕事ができるようなサポートがあればうれしい。	1
習い事などの送迎をしてほしい。	1

◆ 病児・病後児保育支援の充実

内容	件数
緊急（子どもの急な病気・ケガ・不幸事など）の場合に預かってもらえる所（人）が居ると安心して働ける。	24
親が病気の時や病児を病院に連れて行く間、病気でない子どもを預かってもらえると助かる。	5
子どもが急な病気の時、迎えに行ってくれるサポートがあれば助かる。	2

◆ 保育施設等の充実

内容	件数
保育施設への入園等がしやすい体制だと助かる。	4
保育施設・学童保育の時間を延長してほしい。	3
幼稚園教諭・保育士を増やし、施設を充実させ、内容について考えてもらえると良いと思う。	2
幼稚園と保育所では教育面で違いがあるようなので同じになるようなサポートがあればよい。	2
保育施設への入園人数を増やしてほしい。	2
休日にみてもらえる保育施設があればありがたい。	2
保育施設の数を増やしてほしい。	1
夜間保育サービスがほしい。	1
兄弟は同じ保育施設に通えるように配慮してほしい。	1
保育施設と老人ホームが併設された施設があれば、お互いにメリットがあり良いと思う。	1
市立の幼稚園を 3 年保育にしてほしい。	1
保育施設への入園前にふれあい会等をしてほしい。	1
遊具がきれいになると良い。	1

◆ 遊び場の充実

内容	件数
子どもが安心安全に遊べる公園等が近くにほしい。	5
室内で遊べる広場的な施設等がほしい。	5
乳幼児を安心して遊ばせることができる施設がほしい。	5
自由に遊びに行けるつどいの広場やそらまめ広場のような場所がとてもありがたかった。	1

◆ 地域環境の充実

内容	件数
声掛けや挨拶により見守りの体制ができれば地域はよくなると思う。	7
地区や地域での子どもが遊べる行事やイベントの開催があればうれしい。	6
色々な場所で定期的な交流の機会があることが望ましい。	5
親・友人のようなアットホームなサポート。	1
防犯カメラや防犯ブザーの設置で、少しでも子どもに対する犯罪抑止につなげてもらいたい。	1

◆ 職場環境の改善

内容	件数
行政は短時間勤務制度をとれる状況をサポートしてほしい。	3
早く帰宅できる体制、ノー残業デイなどを考えてほしい。	1
子育て中の母親が働きやすい勤務先を増やしてほしい。	1
休みが取りやすい環境、せめて週休２日になってほしい。	1

◆ その他

内容	件数
特になし。	5
子どもの能力に合わせた指導、放課後に勉強をみてもらえるようなサポート、環境があればよい。	4
近所に子どもがいない。行政担当者わからない。	2
いろんな子育て法を見てみたいが仕事をもつと行く事もできず、保育所の先生の話で安心したり不安に思ったりしている。	1
個々の家庭のやり方があるので、変に介入してこないで頂きたい。	1
保育所、学童を卒業した小４生からの放課後の過ごし方に不安がある。	1
休日に親子で楽しめる行事を催していただけるとうれしい。	1
子どもは、勇気や希望を与えてくれる一番の身近の存在だという事を忘れないで、これからもがんばりたい。	1
気軽に利用できる習い事。	1
家族の協力・行政の各事業を利用しながら、心の余裕をもって子育てを楽しみたい。	1
母親の感謝する気持ちやしつけ（教育）ができていない事が（人が）多いと感じるので、母親を教育できる場を作ればよいと思う。	1
しつけ面で悩む事が多いので、しつけ・マナー等、親子共々指導してもらえるようなサポートがあればいいなと思う。	1
本当に困っている人ほど利用できないケースばかり目立つように思うので、親のサポートも必要ではあるが、子ども自身が人とふれあえる機会を増やせれるような環境作りをしていければと思う。	1

◆ その他

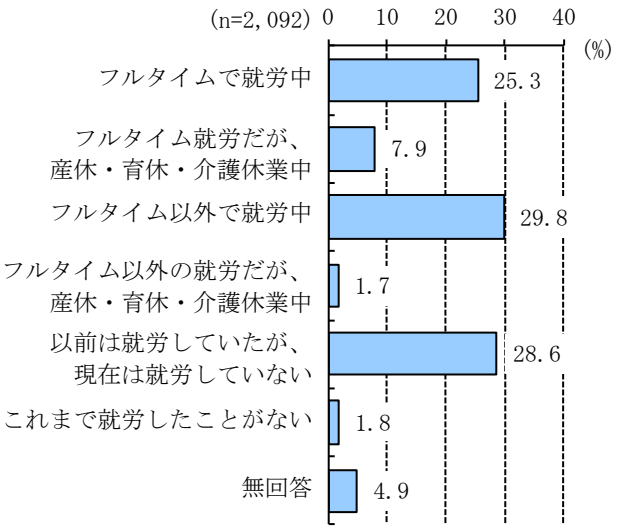
内容	件数
多動症ぎみの子どもを対象とした習い事ができる教室があれば良いと思う。	1
子どもを優先すべき所で周囲が同意し協力してもらえたら安心して子どもを見ることもできる。	1
実家に帰省する際、電車（バス）に親子連れ専用車両があれば電車に乗って帰れるのにと思う。	1
家庭内で父母が同じ程度の主体性を持ち育児に臨めるよう、マタニティ時に父親への何かがあるとうれしい。	1
笑顔で楽しく接してくれる、それだけで十分。	1
子どもが小さいので、ＰＴＡ等の役員をしなくてはいけない事もあるかと思うが、夜間に子どもをみてもらうのは祖父母の負担になるし、父親の帰宅時間も遅いので、少し配慮して頂ければ助かる。	1
産後すぐのサポート体制（出産前から)、高齢者分野のケアマネジメントの様な支援(相談・支援)があれば、どんなに心強いかと思った。	1
自分の体験からのアドバイス。	1

３．子どもの保護者の就労状況について

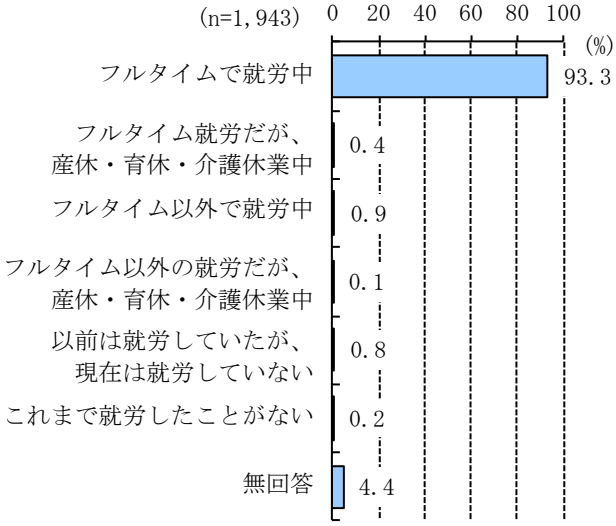
（１）両親の現在の就労状況

問１１　お子さんのご両親のそれぞれ現在の就労状況（自営業、家族従業者含む）について、該当する欄に○をつけてください。

【母親の就労形態】



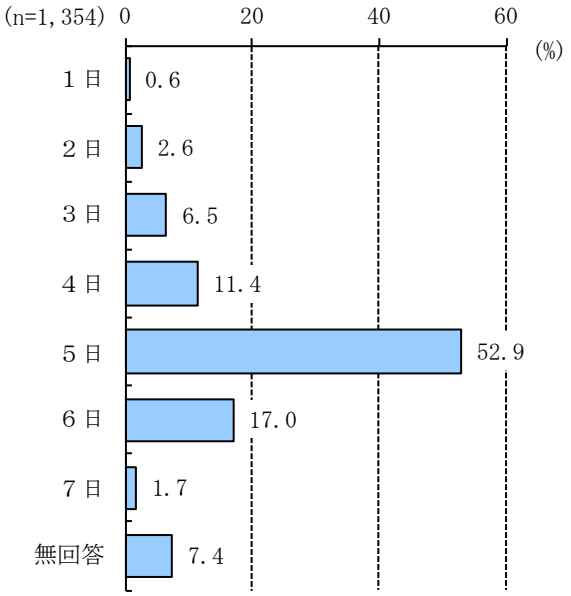
【父親の就労形態】



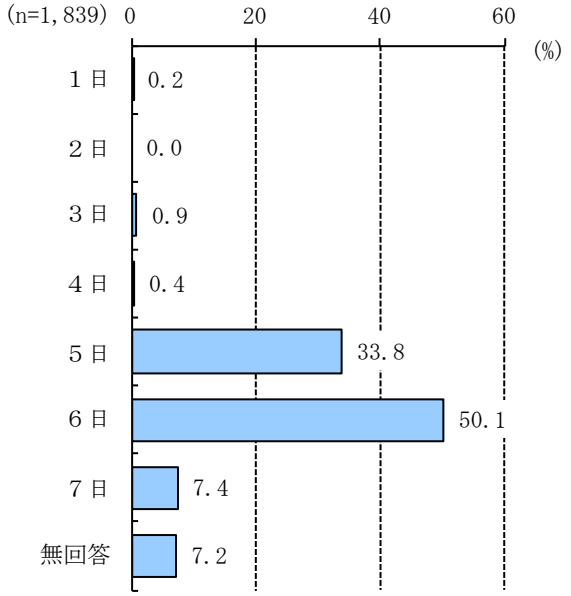
就労形態をみると、母親では「フルタイム以外で就労中」が 29.8%で最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 28.6%、「フルタイムで就労中」が 25.3%の順となっており、父親では「フルタイムで就労中」が 93.3%と大半を占め、その他の形態は 1%以下となっている。

問１１－１　就労されている場合は、就労日数や就労時間、家を出る時間と、帰宅時間について、最も多いパターンでお答え下さい。また、就労日数のうち、土曜日、日曜日の就労がある場合には、該当する番号に○を付けてください。なお、休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答え下さい。時間は（例）０９時～１８時のように、２４時間制でお答え下さい。

【母親の就労日数（週あたり）】

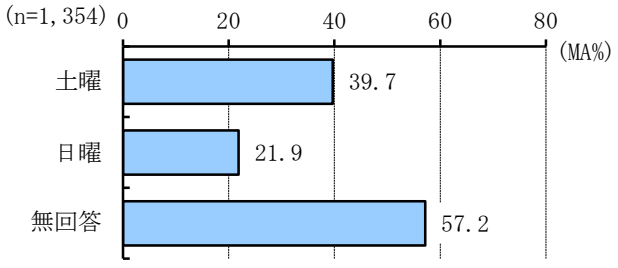


【父親の就労日数（週あたり）】

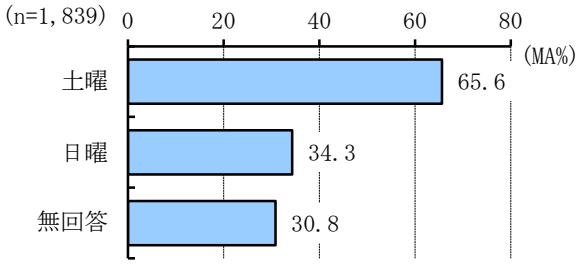


１週当たりの就労日数をみると、母親では「５日」が 52.9%で最も多く、次いで「６日」が 17.0%、「４日」が 11.4%の順となっており、父親では「６日」が 50.1%で最も多く、次いで「５日」が 33.8%、「７日」が 7.4%の順となっている。

【母親の土曜日・日曜日の就労状況】

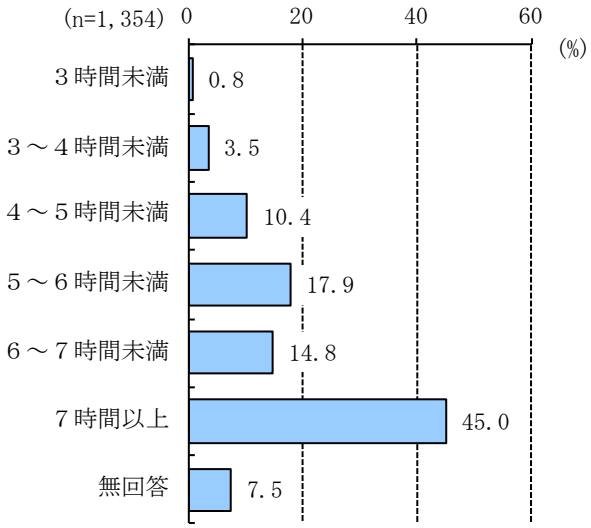


【父親の土曜日・日曜日の就労状況】

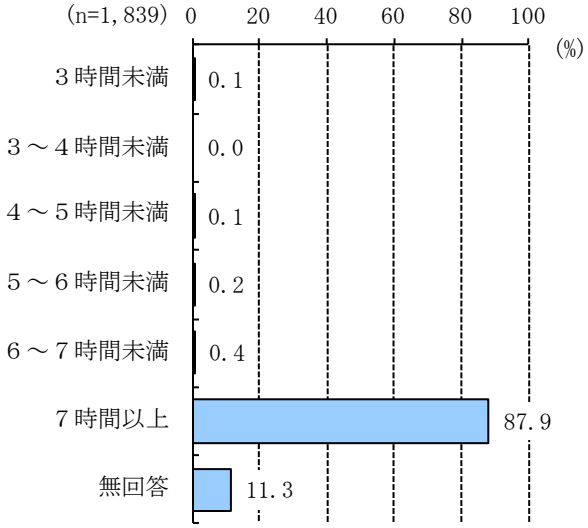


土曜日・日曜日の就労状況をみると、母親では「土曜」が 39.7%、「日曜」が 21.9%となっており、父親では「土曜」が 65.6%、「日曜」が 34.3%となっている。

【母親の就業時間（１日あたり）】

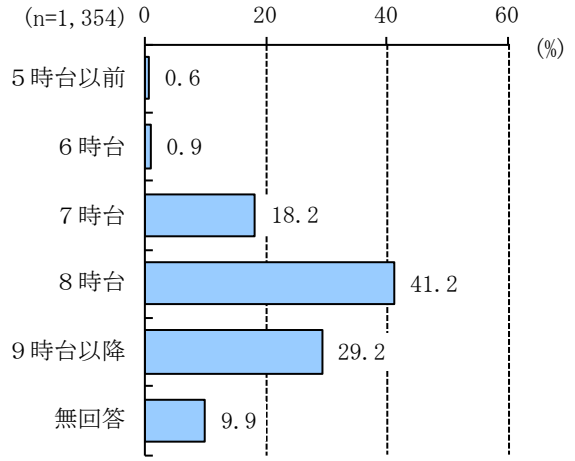


【父親の就業時間（１日あたり）】

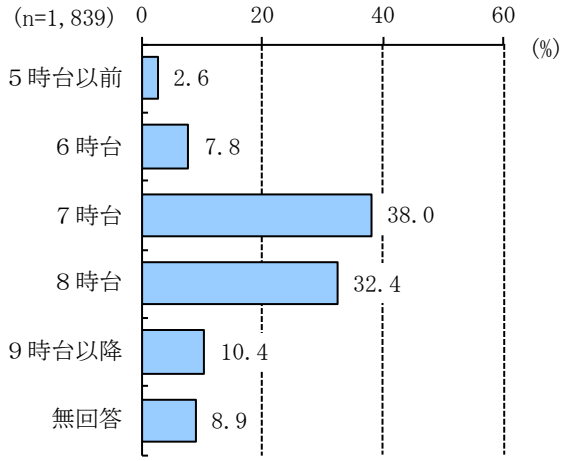


１日当たりの就業時間をみると、母親では「７時間以上」が 45.0％で最も多く、次いで「５～６時間未満」が 17.9％、「６～７時間未満が 14.8%の順となっており、父親では「７時間以上」が 87.9％で大半を占め、その他の時間は 1%以下となっている。

【母親の家を出る時間】

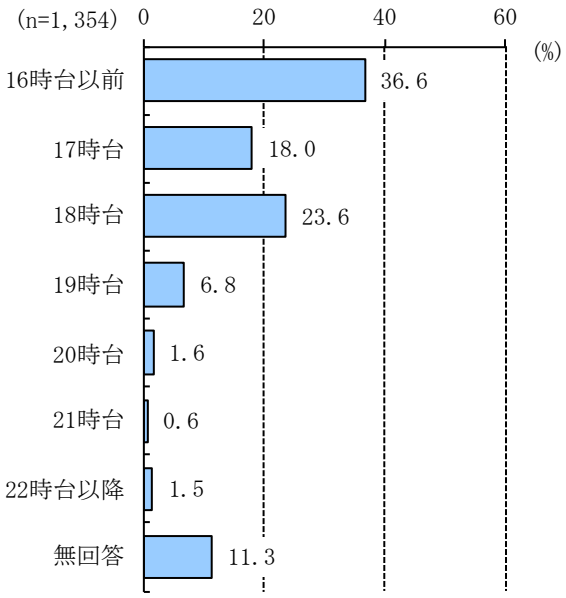


【父親の家を出る時間】

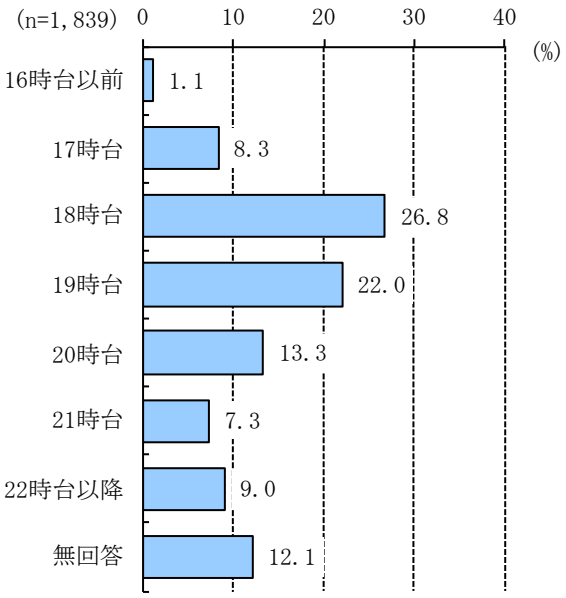


家を出る時間をみると、母親では「８時台」が 41.2％で最も多く、次いで「９時台以降」が 29.2％、「７時台」が 18.2％の順となっており、父親では「７時台」が 38.0％で最も多く、次いで「８時台」が 32.4％、「９時台以降」が 10.4％の順となっている。

【母親の帰宅時間】



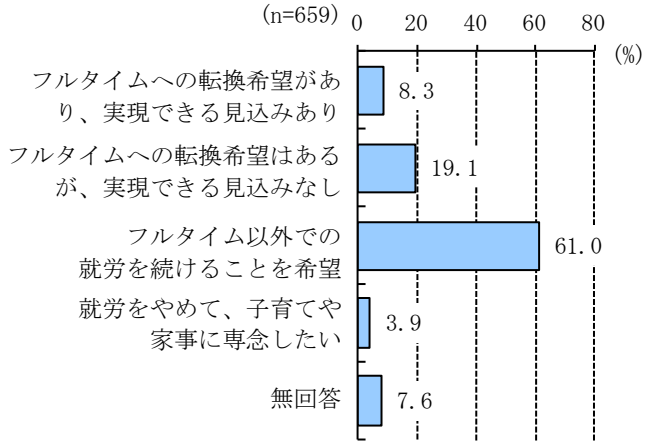
【父親の帰宅時間】



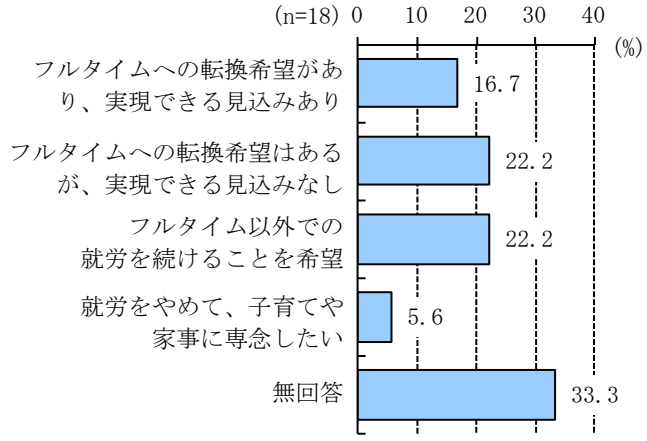
帰宅時間をみると、母親では「16 時台以前」が 36.6%で最も多く、次いで「18 時台」が 23.6%、「17 時台」が 18.0%の順となっており、父親では「18 時台」が 26.8%で最も多く、次いで「19 時台」が 22.0%、「20 時台」が 13.3%の順となっている。

問１１－２　フルタイム以外で就労されている場合（問１１で塗りつぶしの欄内に○がついた方）は、フルタイムへの転職希望等について、該当する欄に○を付けてください。

【母親のフルタイムへの転換希望】



【父親のフルタイムへの転換希望】

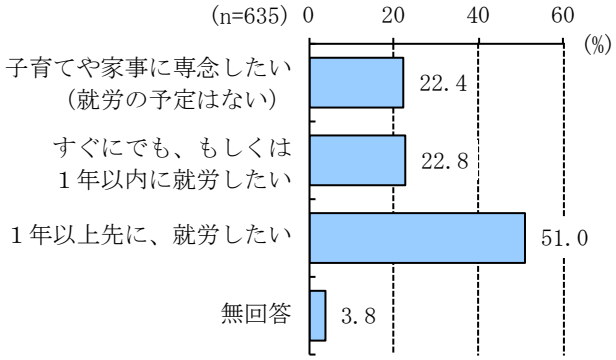


フルタイムへの転職希望等をみると、母親では「フルタイム以外での就労を続けることを希望」が 61.0%で最も多く、次いで「フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みなし」が 19.1%、「フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みあり」が 8.3%の順となっており、父親では「フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはなし」と「フルタイム以外での就労を続けることを希望」が同率の 22.2%で最も多く、次いで「フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みあり」が 16.7%の順となっている。

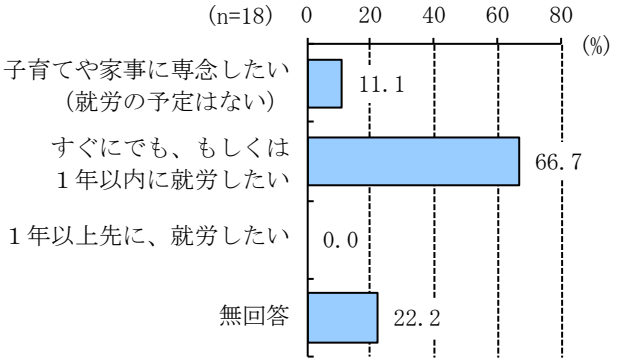
（２）両親の現在の就労状況

問１２　問１１で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○がついた方（太枠内に○がつかなかった方）についてうかがいます。

【母親の就労意向】



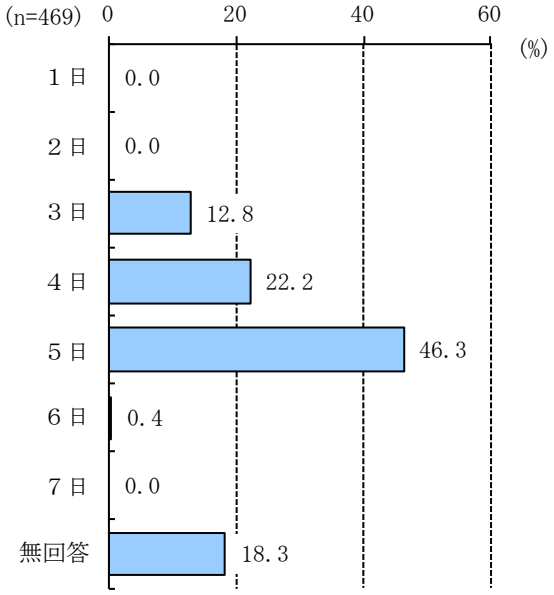
【父親の就労意向】



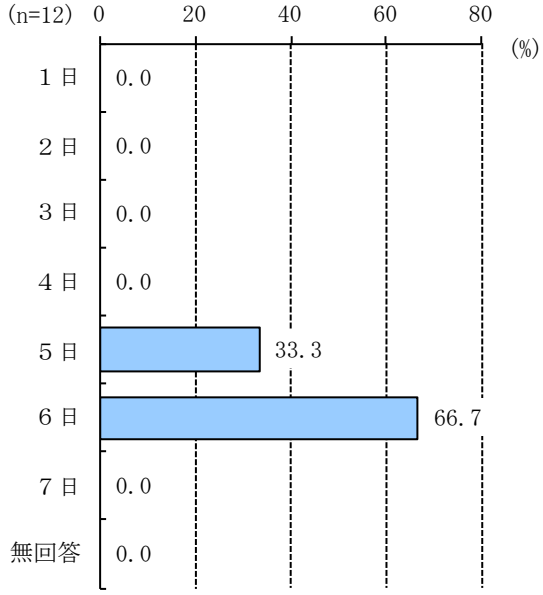
就労意向をみると、母親では「１年以上先に、就労したい」が 51.0%で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が 22.8%、「子育てや家事に専念したい（就労の予定はない)」が 22.4%の順となっており、父親では「すくにでも、もしくは１年以内に就労したい」が 66.7%で最も多く、次いで「子育てや家事に専念したい（就労の予定はない)」が 11.1%、「１年以上先に、就労したい」は 0%となっている。

問１２－１	問１２で太枠内に○がついた場合に、希望する就労日数や就労時間をお書き下さい。就労日数のうち、土曜日、日曜日の就労希望がある場合には、該当する番号に○を付けてください。※フルタイムは、１週５日程度、１日８時間程度とお考え下さい。

【母親の希望就労日数（週あたり）】

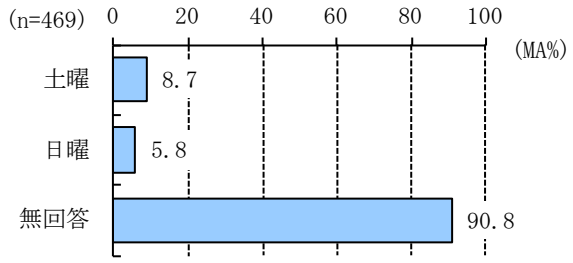


【父親の希望就労日数（週あたり）】

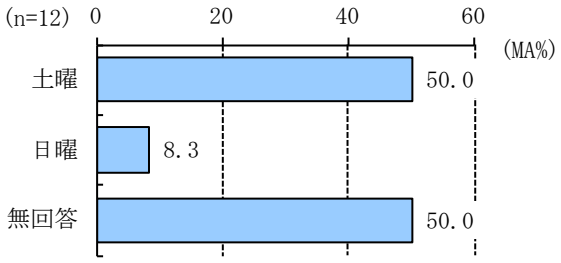


１週当たりの希望就労日数をみると、母親では「５日」が 46.3%で最も多く、次いで「４日」が 22.2%、「３日」が 12.8%の順となっており、父親では「６日」が 66.7%で最も多く、「５日」が 33.3%、その他の日数は 0%となっている。

【母親の土曜日・日曜日の就労希望】

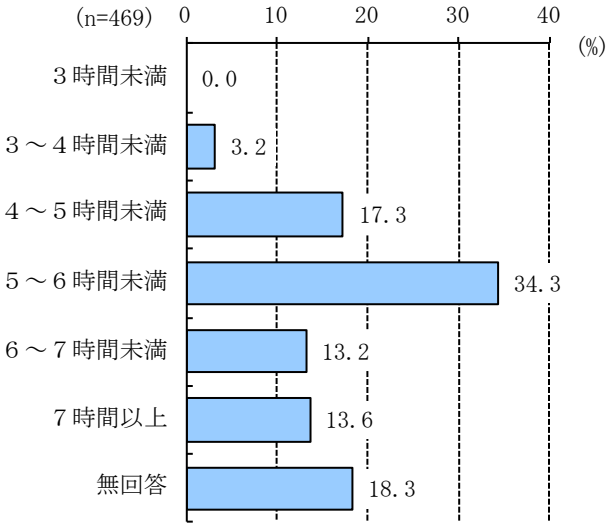


【父親の土曜日・日曜日の就労希望】

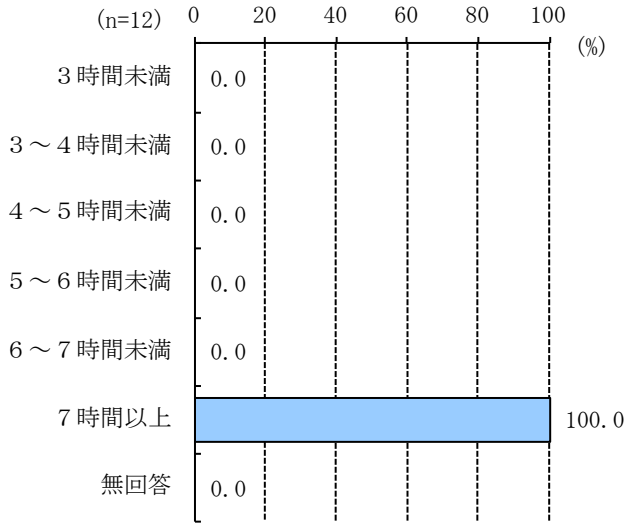


土曜日・日曜日の就労希望をみると、母親では「土曜」が 8.7%、「日曜」が 5.8%となっており、父親では「土曜」が 50.0%、「日曜」が 8.3%となっている。

【母親の希望就労時間（日あたり）】



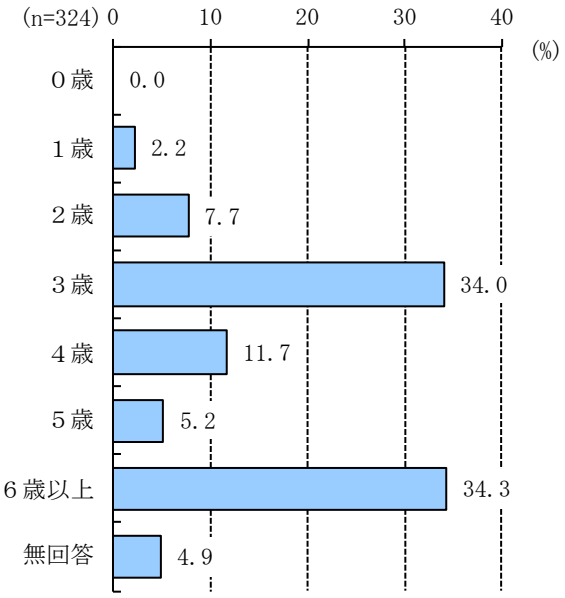
【父親の希望就労時間（日あたり）】



１日当たりの希望就労時間をみると、母親では「５～６時間未満」が 34.3％で最も多く、次いで「４～５時間未満」が 17.3％、「７時間以上」が 13.6％の順となっており、父親では「７時間以上」が 100％となっている。

問１２－２　問１２で「１年以上先に就労したい」に○がついた方にうかがいます。就労を始めるのは、一番小さい子どもが何歳になった頃をお考えですか。

【母親が就労を始めたい時期（一番小さい子どもの年齢）】



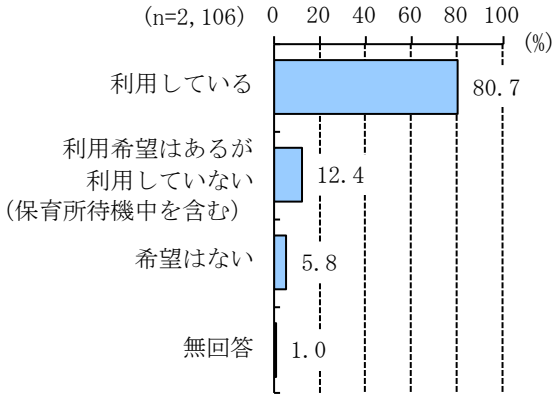
就労を始めたい時期をみると、母親では「６歳以上」が 34.3%で最も多く、次いで「３歳」が 34.0%、「４歳」が 11.7%の順となっている。（父親の対象者はなし。）

４．子どもの平日の幼稚園・保育所などの利用状況

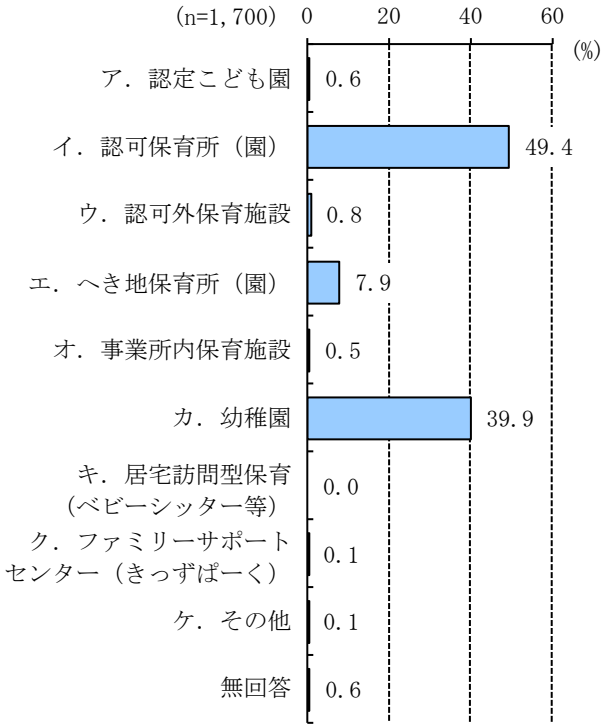
（１）平日の利用状況

問１３　お子さんは現在、幼稚園や保育所などを利用されていますか。
利用している方は、「現在の利用状況」、現状から変更希望がある場合は「今後の利用希望」を、利用者希望はあるが利用していない方は、「今後の利用希望」をお答えください。
利用希望については、既存施設の開所時間などを考慮せず、本来こうであれば良いと考える内容をお答えください。

【平日利用状況】



【平日に利用している事業】

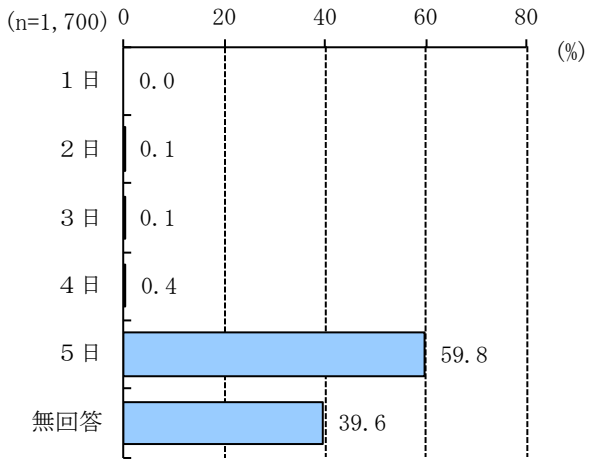


幼稚園や保育所の平日の利用状況をみると、「利用している」が 80.7%で最も多く、次いで「利用希望はあるが利用していない（保育所待機中を含む）」が 12.4%、「希望はない」が 5.8%の順となっている。

平日に利用している事業をみると、「認可保育所（園）」が 49.4%で最も多く、次いで「幼稚園」が 39.9%、「へき地保育所」が 7.9%の順となっている。

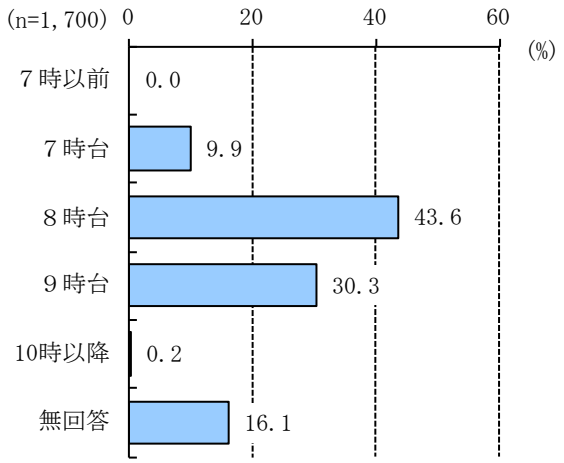
（２）現在の利用状況

【利用日数（週あたり）】

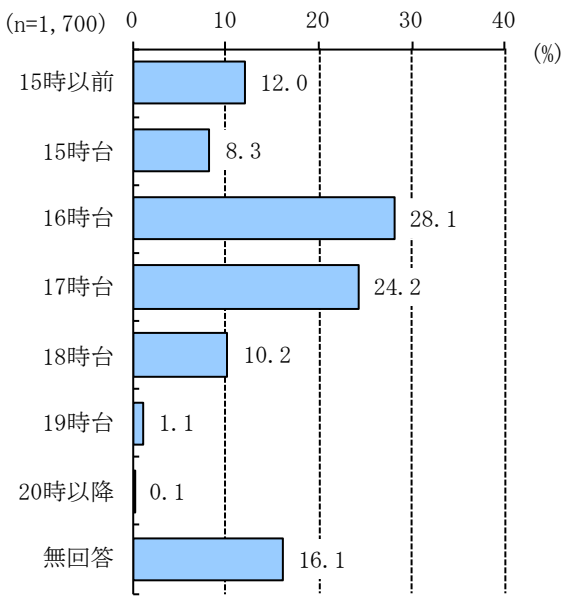


幼稚園や保育所の１週当たりの利用日数をみると、「５日」が 59.8%で最も多く、次いで「４日」が 0.4%、「３日」と「２日」が 0.1%、「１日」が 0%の順となっている。

【利用開始時間】



【利用終了時間】

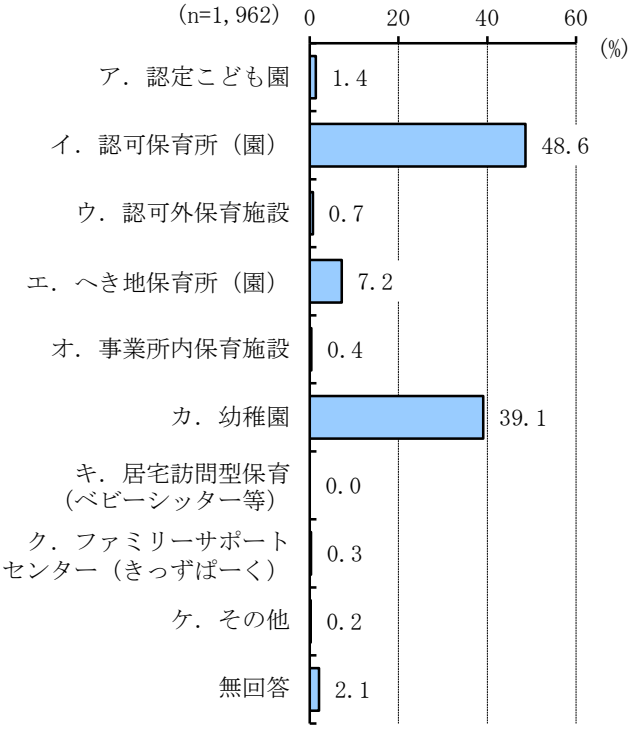


利用開始時間をみると、「８時台」が 43.6%で最も多く、次いで「９時台」が 30.3%、「７時台」が 9.9%の順となっている。

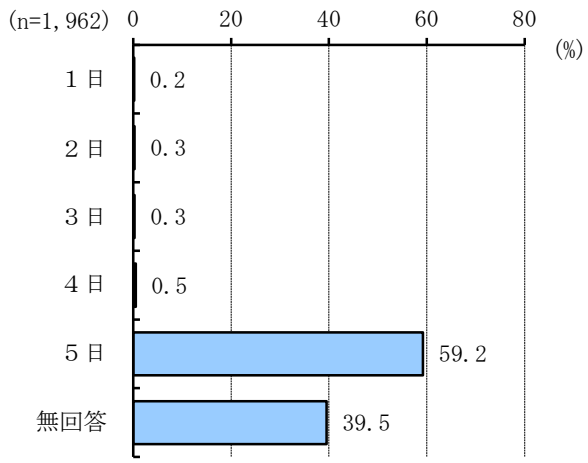
利用終了時間をみると、「16 時台」が 28.1%で最も多く、次いで「17 時台」が 24.2%、「15 時以前」が 12.0%の順となっている。

（３）今後の利用希望

【今後利用したい事業】



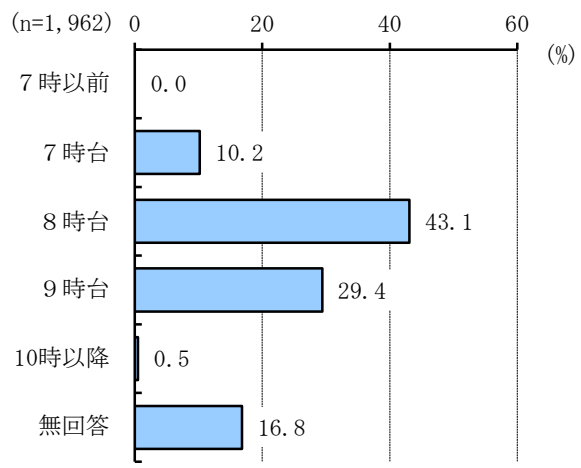
【利用希望日数（週あたり）】



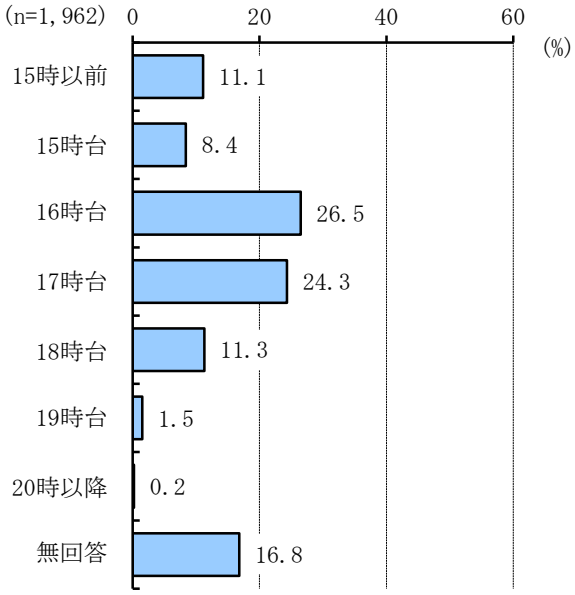
今後利用したい事業をみると、「認可保育所（園）」が 48.6％で最も多く、次いで「幼稚園」が 39.1％、「へき地保育」が 7.2％の順となっている。

１週当たりの利用希望日数をみると、「５日」が 59.2％で最も多く、次いで「４日」が 0.5％、「３日」「２日」が同率の 0.3％の順となっている。

【希望開始時間】



【希望終了時間】



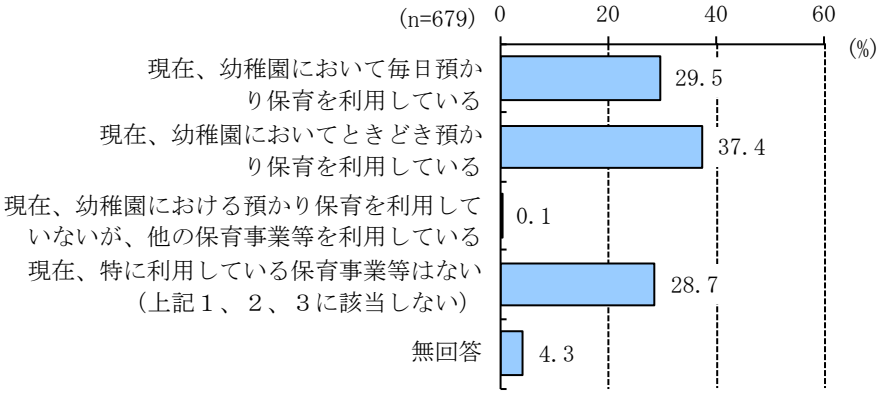
希望開始時間をみると、「８時台」が 43.1％で最も多く、次いで「９時台」が 29.4％、「７時台」が 10.2％の順となっている。

希望終了時間をみると、「16 時台」が 26.5％で最も多く、次いで「17 時台」が 24.3％、「18 時台」が 11.3％の順となっている。

（４）預かり保育の利用について

問１３－１（１）	問１３で「１.利用している」の「カ.幼稚園」に○をつけた方に、幼稚園における「預かり保育」（通常の就園時間を延長して預かる事業）の利用について、うかがいます。当てはまる番号に１つだけ○をつけてください。

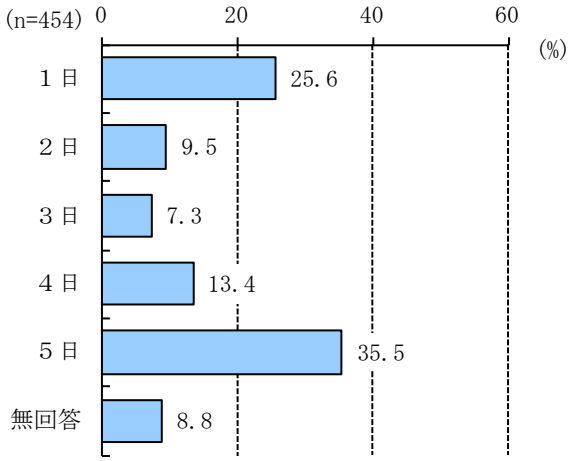
【預かり保育の利用状況】



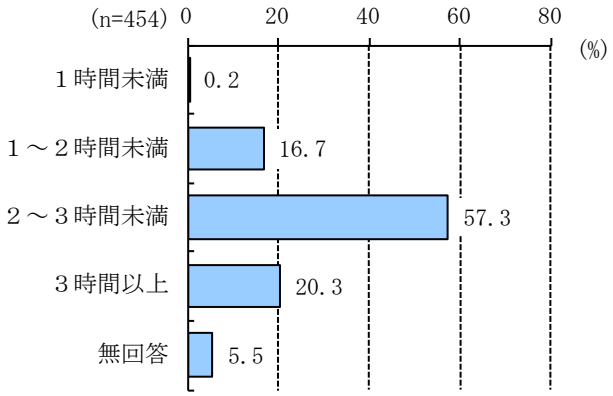
預かり保育の利用状況をみると、「現在、幼稚園においてときどき預かり保育を利用している」が 37.4%で最も多く、次いで「現在、幼稚園において毎日預かり保育を利用している」が 29.5%、「現在特に利用している保育事業はない（上記１、２、３に該当しない)」が 28.7%の順となっている。

問１３―１（２）	（１）で、「１.現在、幼稚園において毎日預かり保育を利用している。」または「２.現在、幼稚園においてときどき預かり保育を利用している。」に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「利用日数」、１日当たりの「利用時間」をお答えください。利用日数や利用時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

【預かり保育の利用日数（週あたり）】



【預かり保育の利用時間（日あたり）】



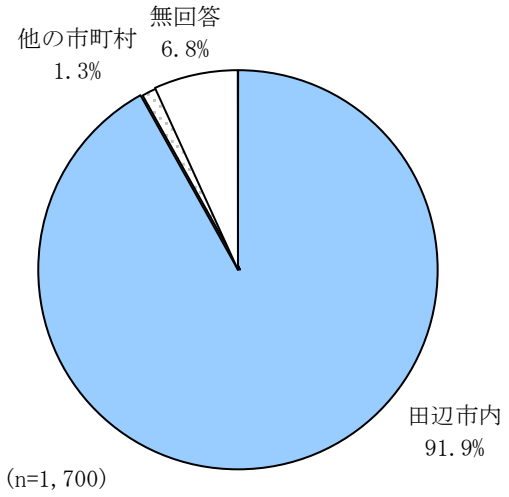
１週当たりの預かり保育の利用日数をみると、「５日」が 35.5%で最も多く、次いで「１日」が 25.6%、「４日」が 13.4%の順となっている。

１日当たりの利用時間をみると、「２～３時間未満」が 57.3%で最も多く、次いで「３時間以上」が 20.3%、「１～２時間未満」が 16.7%の順となっている。

（５）現在利用している幼稚園・保育所の場所について

問１３－２　現在、利用している幼稚園・保育所などの実施場所についてうかがいます。「１.田辺市内」「２.他の市町村」のいずれかに○をつけてください。

【現在利用している幼稚園・保育所の場所】

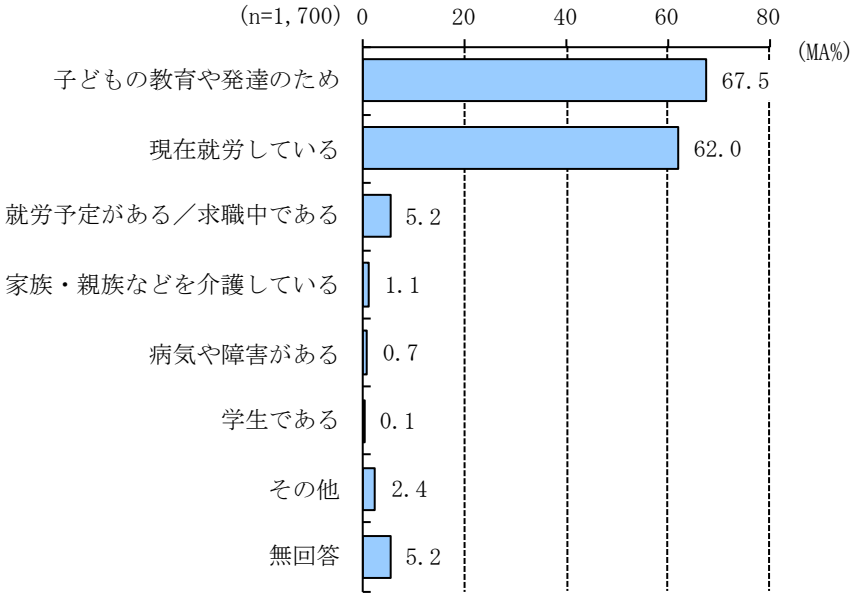


現在利用している幼稚園・保育所の場所をみると、「田辺市内」が 91.9%、「他の市町村」が 1.3%となっている。

（６）平日に定期的な教育・保育事業を利用している理由

問１３－３　平日に定期的に幼稚園・保育所などを利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【平日に定期的な教育・保育事業を利用している理由】

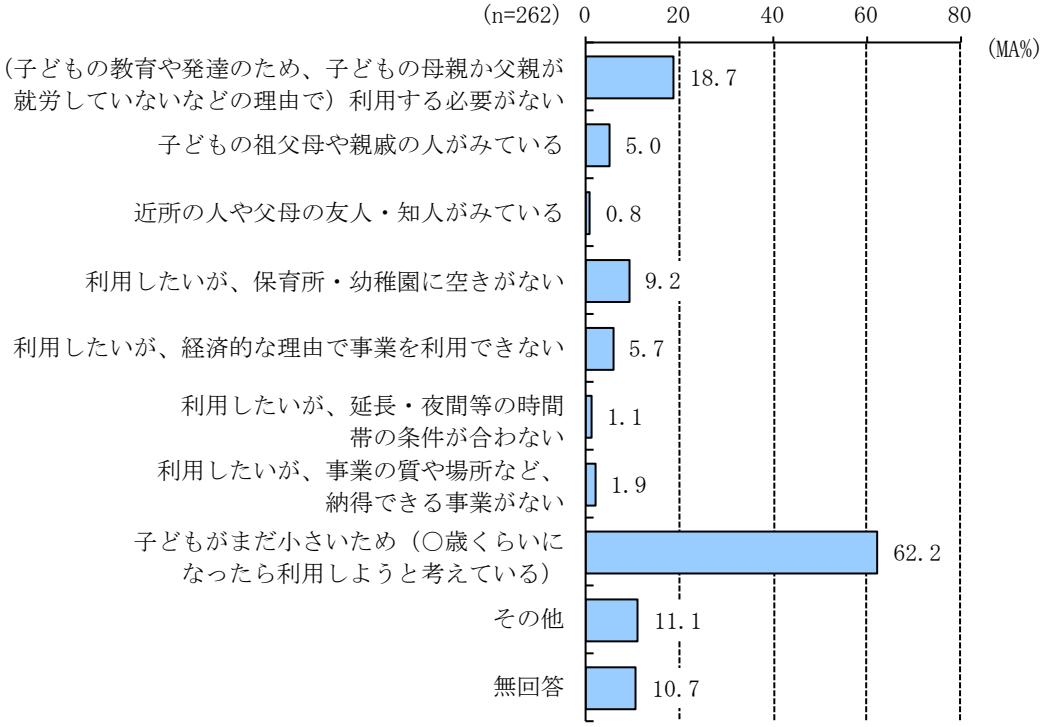


平日に定期的な教育・保育事業を利用している理由をみると、「子どもの教育や発達のため」が67.5%で最も多く、次いで「現在就労している」が 62.0%、「就労予定がある／求職中である」が5.2%の順となっている。

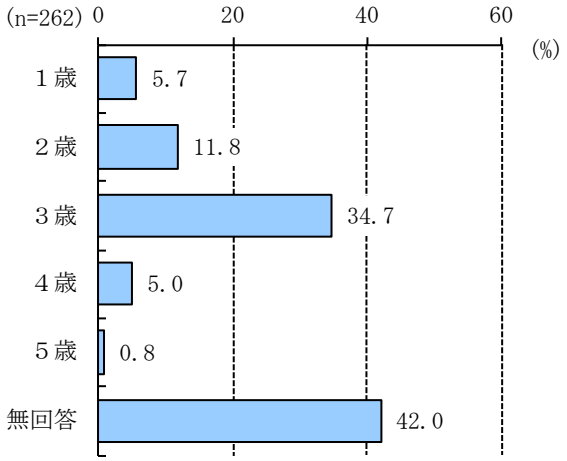
（７）平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由

問１３－４	問１３で「２.利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由】



【子どもが何歳になったら利用を考えるか】



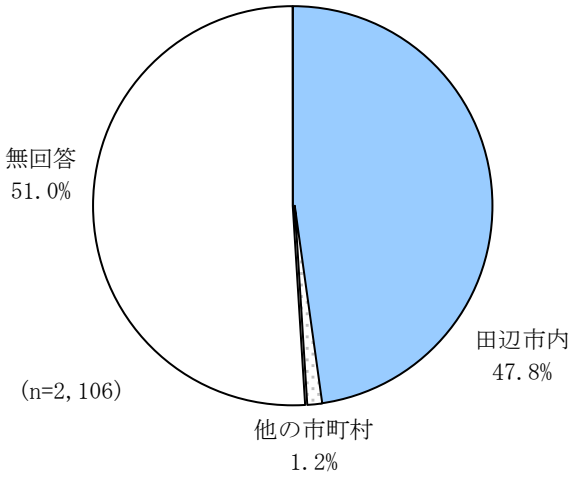
平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由をみると、「子どもがまだ小さいため（○歳くらいになったら利用しようと考えている）」が 62.2%で最も多く、次いで「（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない」が 18.7%、「その他」が 11.1%の順となっている。

「子どもがまだ小さいため」と回答した人が、子どもが何歳になったら利用を考えているかをみると、「３歳」が 34.7%で最も多く、次いで「２歳」が 11.8%、「１歳」が 5.7%の順となっている。

（８）希望する教育・保育事業の実施場所

問１３－５　幼稚園･保育所などを利用したい場所についてうかがいます。「１.田辺市内」「２.他の市町村」のいずれかに○をつけてください。

【希望する教育・保育事業の実施場所】



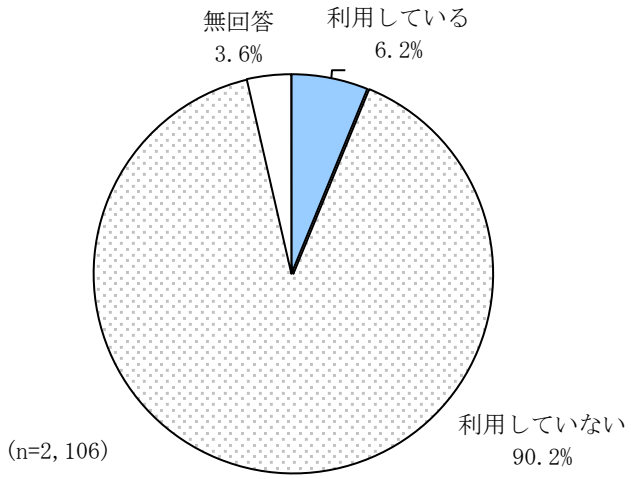
希望する教育・保育事業の実施場所をみると、「田辺市内」が 47.8%、「他の市町村」が 1.2%となっている。

５．子どもの地域の子育て支援事業の利用状況について

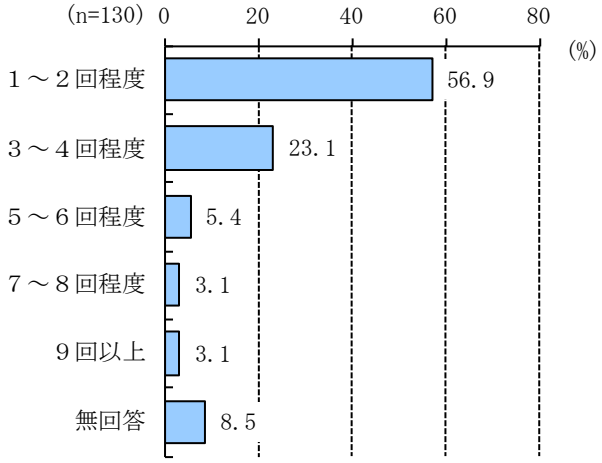
（１）地域子育て支援センターの利用状況

問１４　お子さんは、現在、地域子育て支援センター（「愛・あい」「ちかの」）の事業「青空広場」「つどいの広場」「つどいのおへや」「あいあい広場」などを利用していますか。利用されている場合、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

【地域子育て支援センターの利用状況】



【地域子育てセンターの利用頻度（月あたり）】



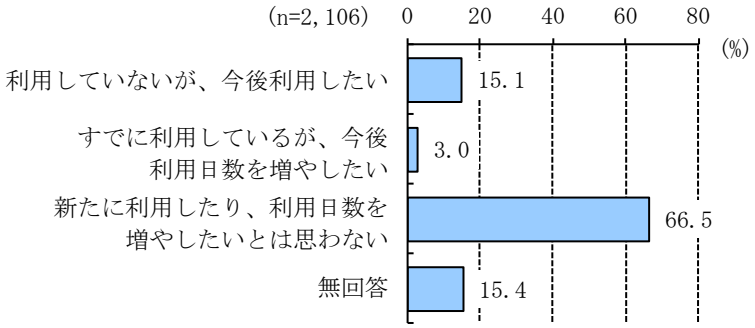
地域子育て支援センターの利用状況をみると、「利用している」が 6.2%、「利用していない」が 90.2%となっている。

１月当たりの地域子育て支援センターの利用頻度をみると、「１～２回程度」が 56.9%で最も多く、次いで「３～４回程度」が 23.1%、「５～６回程度」が 5.4%の順となっている。

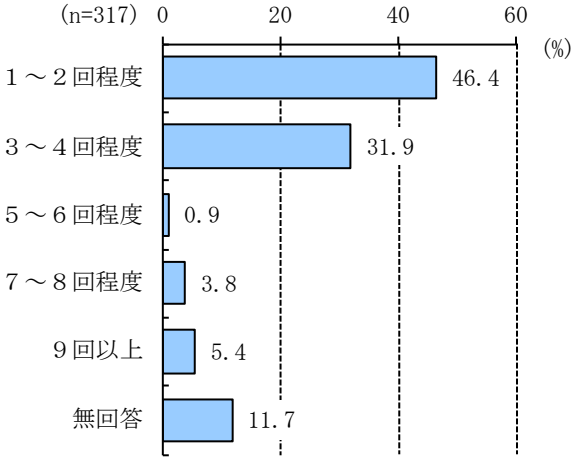
（２）地域子育て支援拠点事業の利用希望

問１５　問１４のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

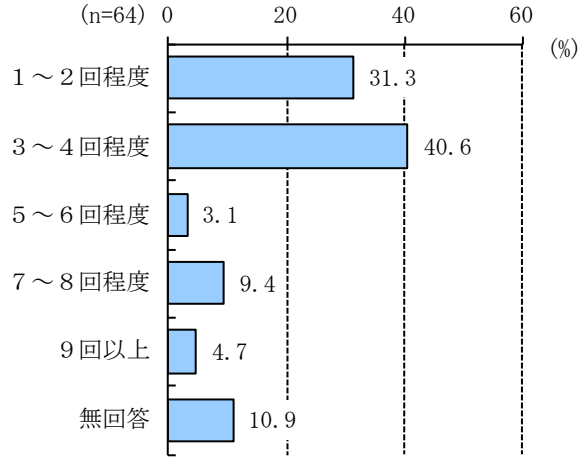
【地域子育て支援拠点事業の利用意向】



【地域子育て支援拠点事業の利用希望回数（月あたり）】
※現在利用なし、今後利用したい人



【地域子育て支援拠点事業の利用希望回数（月あたり・更に増やしたい回数）】
※現在利用あり、今後更に回数を増やしたい人



地域子育て支援拠点事業の利用意向をみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 66.5%で最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 15.1%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 3.0%の順となっている。

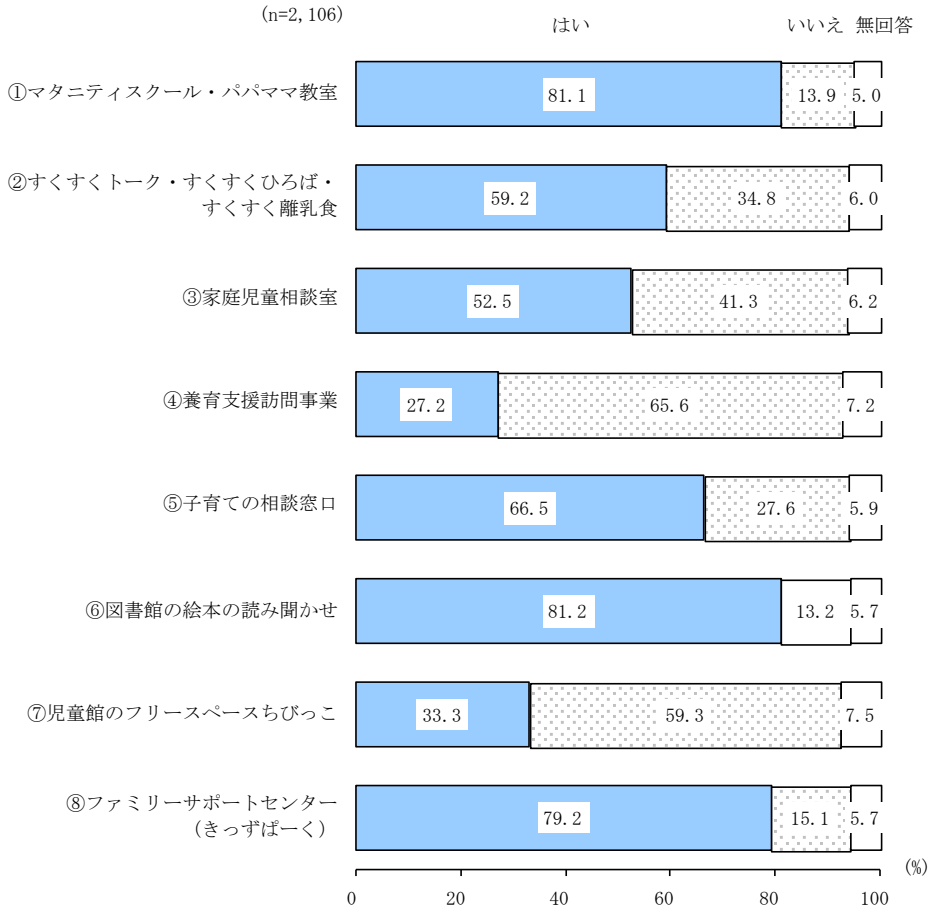
１月当たりの地域子育て支援拠点事業の利用希望回数をみると、「１～２回程度」が 46.4%で最も多く、次いで「３～４回程度」が 31.9%、「９回以上」が 5.4%の順となっている。

１月当たりの地域子育て支援拠点事業の利用増加希望回数をみると、「３～４回程度」が 40.6%で最も多く、次いで「１～２回程度」が 31.3%、「７～８回程度」が 9.4%の順となっている。

（３）子育て支援関連事業の認知度、利用経験・利用意向

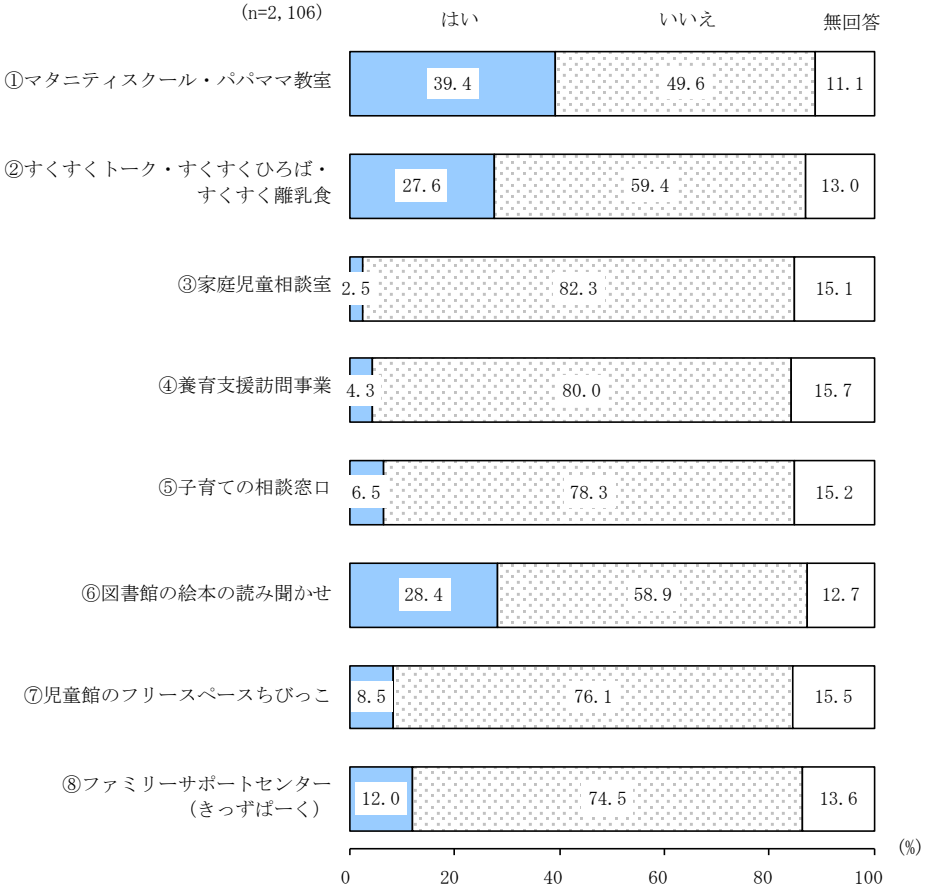
問１６　下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑧の事業ごとに、Ａ～Ｃのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

【事業の認知度】



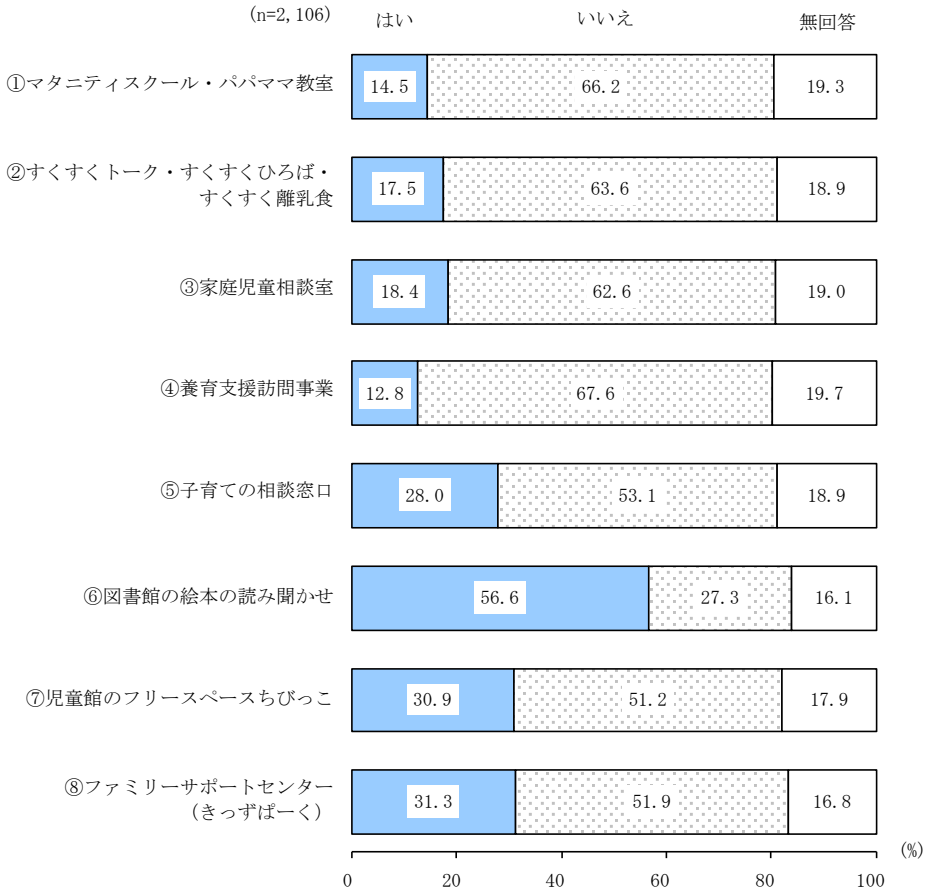
子育て支援関連事業の認知度をみると、「⑥図書館の絵本読み聞かせ」が 81.2%で最も高く、次いで「①マタニティスクール・パパママ教室」が 81.1%、「⑧ファミリーサポートセンター（きっずぱーく）」が 79.2%、「⑤子育て相談窓口」が 66.5%の順となっている。

【事業の利用経験】



子育て支援関連事業の利用経験をみると、「①マタニティスクール・パパママ教室」が 39.4%で最も高く、次いで「⑥図書館の絵本の読み聞かせ」が 28.4%、「②すくすくトーク・すくすくひろば・すくすく離乳食」が 27.6%の順となっている。

【事業の利用意向】



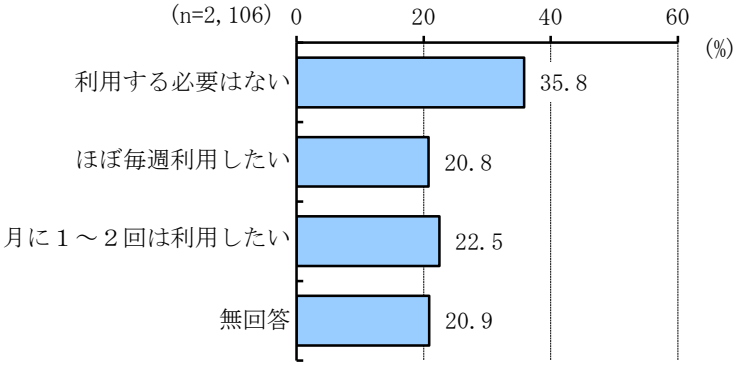
子育て支援関連事業の利用意向をみると、「⑥図書館の絵本の読み聞かせ」が 56.6%で最も高く、次いで「⑧ファミリーサポートセンター（きっずぱーく）」が 31.3%、「⑦児童館のフリースペースちびっこ」が 30.9%の順となっている。

６．子どもの土曜・休日や長期休暇中の幼稚園・保育所などの利用希望について

（１）土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

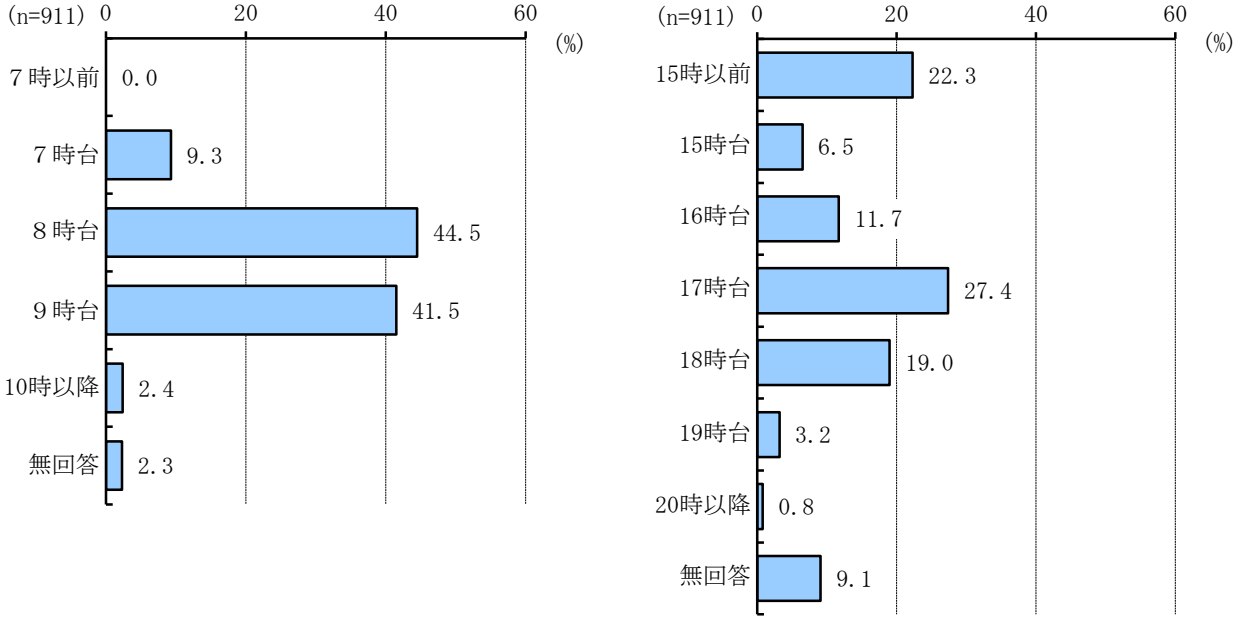
問１７　お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、幼稚園・保育所などの利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

【土曜日の利用希望】



【土曜日の希望開始時間】　　【土曜日の希望終了時間】

※土曜日に定期的な教育・保育事業を利用したい人

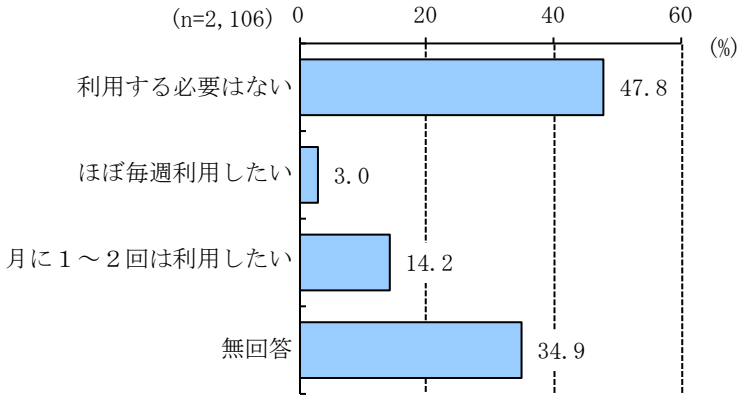


定期的な教育・保育の事業の土曜日の利用希望をみると、「利用する必要がない」が 35.8%、「ほぼ毎週利用したい」が 20.8%、「月に１～２回は利用したい」が 22.5%となっている。

土曜日に利用を希望する人の利用希望開始時間をみると、「８時台」と「９時台」が４割台と多く、「７時台」と「10 時以降」は１割未満となっている。

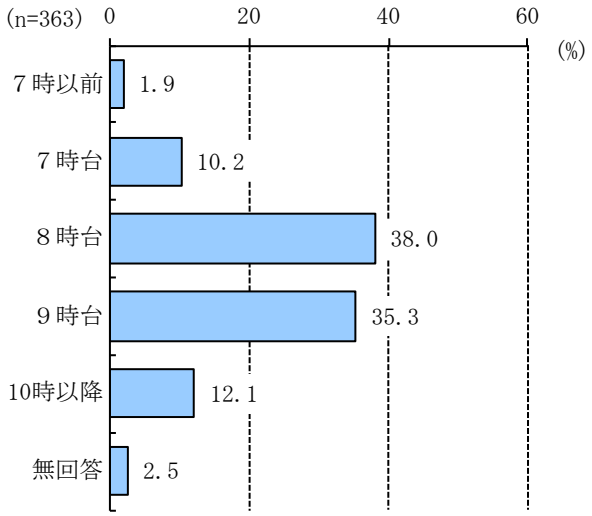
土曜日に利用を希望する人の利用希望終了時間をみると、「17 時台」が 27.4%で最も多く、次いで「15 時以前」が 22.3%、「18 時台」が 19.0%の順となっている。

【日曜・祝日の利用希望】

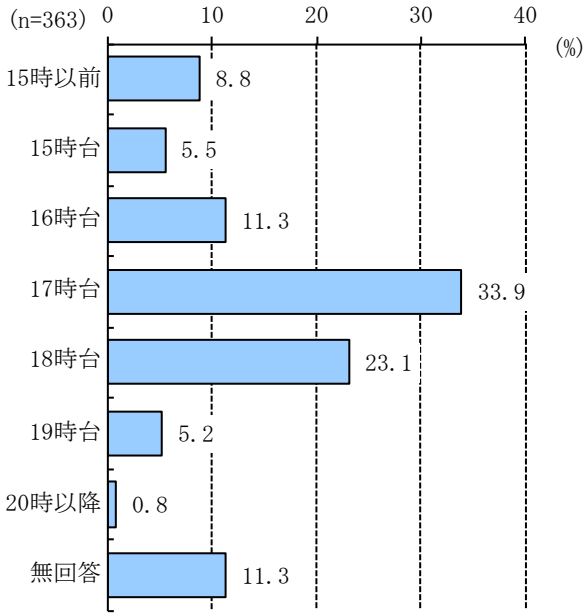


【日曜・祝日の希望開始時間】

※日曜・祝日に定期的な教育・保育事業を利用したい人



【日曜・祝日の希望終了時間】



定期的な教育・保育の事業の日曜・祝日の利用希望をみると、「利用する必要はない」が 47.8%で最も多く、次いで「月に１～２回は利用したい」が 14.2%、「ほぼ毎週利用したい」が 3.0%の順となっている。

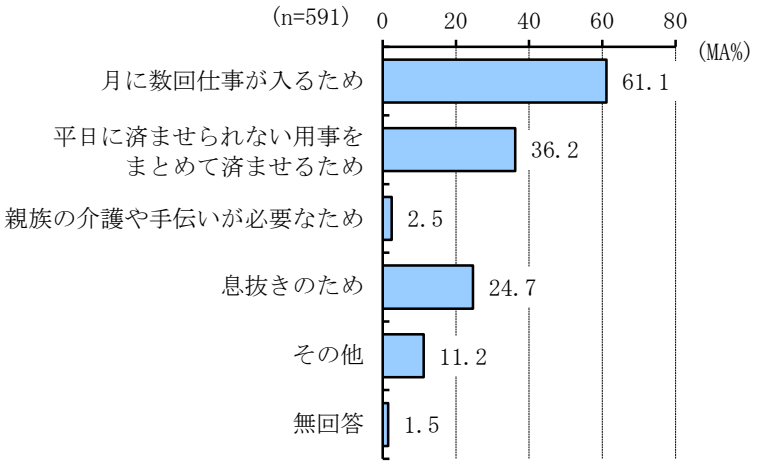
日曜・祝日に利用を希望する人の利用希望開始時間をみると、「８時台」が 38.0%で最も多く、次いで「９時台」が 35.3%、「10 時以降」が 12.1%の順となっている。

日曜・祝日に利用を希望する人の利用希望終了時間をみると、「17 時台」が 33.9%で最も多く、次いで「18 時台」が 23.1%、「16 時台」が 11.3%の順となっている。

（２）土曜日、日曜・祝日に事業をたまに利用したい理由

問１７－１	問１７で、「３．月に１～２回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【土曜日、日曜・祝日に事業をたまに利用したい理由】
※土曜日、日曜・祝日に定期的な教育・保育事業を月に１～２回利用したい人

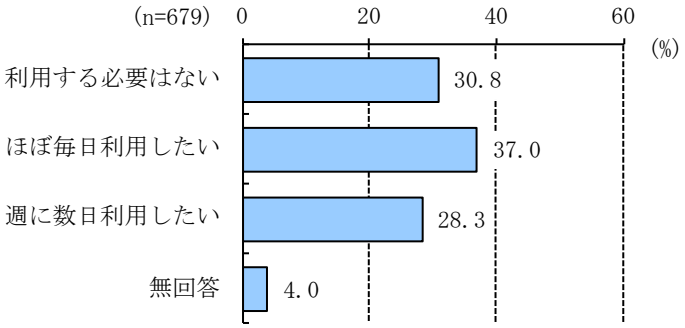


土曜日、日曜・祝日に定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由をみると、「月に数回仕事が入るため」が 61.1%で最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 36.2%、「息抜きのため」が 24.7%の順となっている。

（３）長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

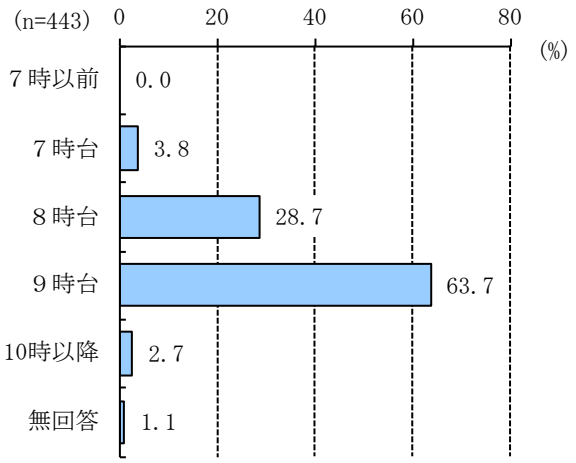
問１８　「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。なお、これらの 事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

【長期休暇中の利用希望】

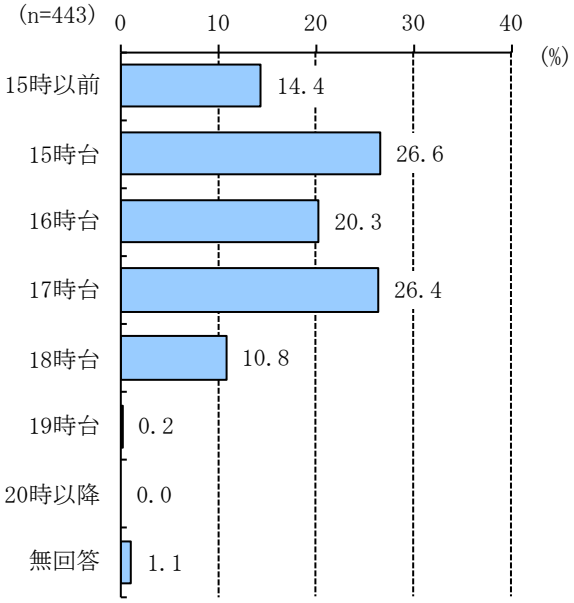


【長期休暇中の希望開始時間】

※長期休暇中に教育・保育事業を利用したい人



【長期休暇中の希望終了時間】



定期的な教育・保育の事業の長期休暇中の利用希望をみると、「ほぼ毎日利用したい」が 37.0%で最も多く、次いで「利用する必要はない」が 30.8%、「週に数日利用したい」が 28.3%の順となっている。

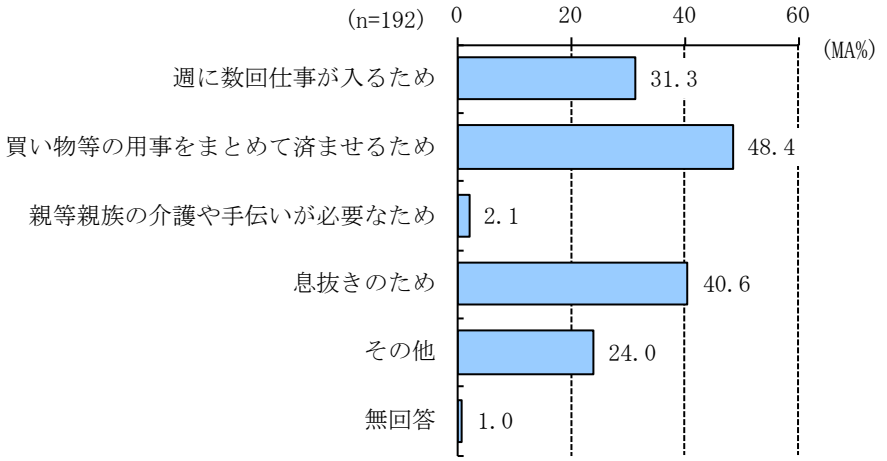
長期休暇中に利用を希望する人の利用希望開始時間をみると、「９時台」が 63.7%で最も多く、次いで「８時台」が 28.7%、「７時台」が 3.8%の順となっている。

長期休暇中に利用を希望する人の利用希望終了時間をみると、「15 時台」が 26.6%で最も多く、次いで「17 時台」が 26.4%、「16 時台」が 20.3%の順となっている。

（４）長期休暇中に事業をたまに利用したい理由

問１８－１	問１８で、「３.週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【長期休暇中に事業をたまに利用したい理由】
※長期休暇中に教育・保育事業を週に数日利用したい人



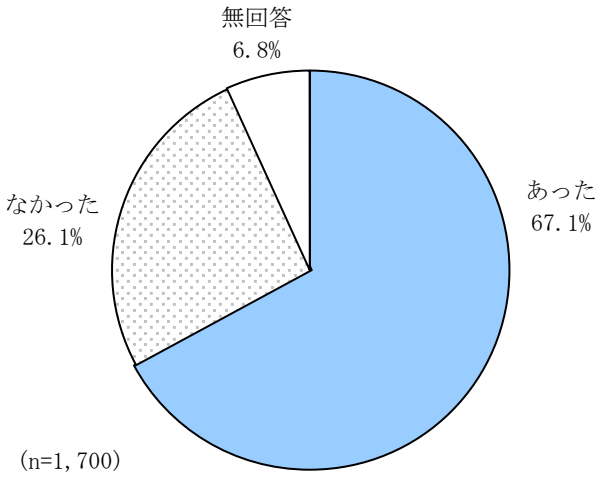
長期休暇中に定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由をみると、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 48.4%で最も多く、次いで「息抜きのため」が 40.6%、「週に数回仕事が入るため」が 31.3%の順となっている。

７．子どもの病気の際の対応について（平日の幼稚園・保育所を利用する方のみ）

（１）子どもが病気やケガで休んだ経験の有無

問１９	平日の幼稚園・保育所などの事業を利用していると答えた保護者の方（問１３で「１．利用している」に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問２０にお進みください。この１年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

【子どもが病気やケガで休んだ経験の有無】



子どもが病気やケガで休んだ経験の有無をみると、「あった」が 67.1%、「なかった」が 26.1%となっている。

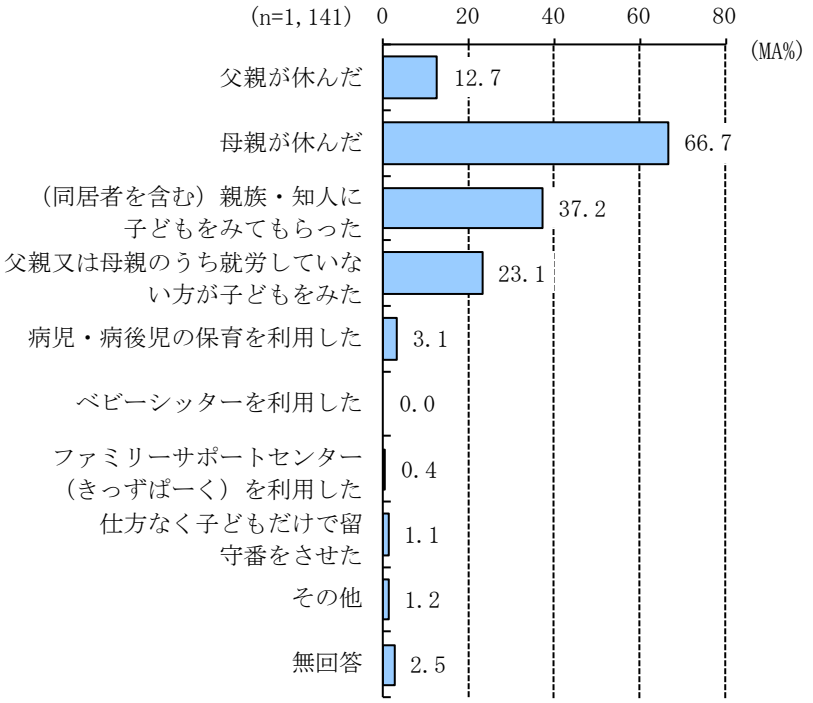
（２）子どもが病気やケガで休んだ場合の対応

問１９－１　お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数もご記入ください。

（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。）

【子どもが病気やケガで休んだ場合の対応】

※ここ１年、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかった人



子どもが病気やケガで休んだ場合の対応をみると、「母親が休んだ」が 66.7%で最も多く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が 37.2%の順となっている。

【対処に費やした日数（年間)】

※ここ１年、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかった人

	全体	５日未満	５～９日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答
１．父親が休んだ	145 100.0	107 73.8	14 9.7	14 9.7	3 2.1	4 2.8	3 2.1
２．母親が休んだ	761 100.0	278 36.5	160 21.0	164 21.6	34 4.5	42 5.5	83 10.9
３．（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	425 100.0	171 40.2	89 20.9	89 20.9	12 2.8	13 3.1	51 12.0
４．父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	264 100.0	77 29.2	58 22.0	54 20.5	13 4.9	12 4.5	50 18.9
５．病児・病後児の保育を利用した	35 100.0	25 71.4	6 17.1	2 5.7	2 5.7	－ －	－ －
６．ベビーシッターを利用した	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
７．ファミリーサポートセンターを利用した	4 100.0	2 50.0	1 25.0	－ －	－ －	－ －	1 25.0
８．仕方なく子どもだけで留守番させた	12 100.0	8 66.7	3 25.0	－ －	－ －	－ －	1 8.3
９．その他	14 100.0	4 28.6	2 14.3	2 14.3	－ －	－ －	6 42.9

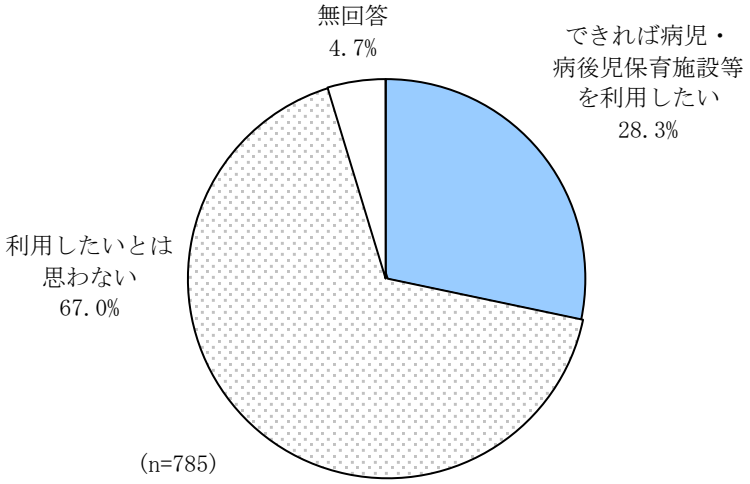
上段：実数、下段：%

（３）病児・病後児保育事業の利用希望

問１９－２	問１９－１で「1.父親が休んだ」「2.母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号１つに○をつけ、日数についてもご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

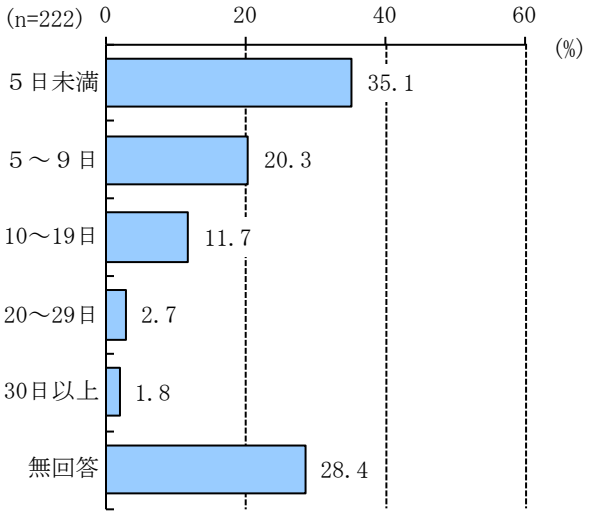
【病児・病後児保育事業の利用意向】

※父親もしくは母親が休んだ人



【病児・病後児保育事業の利用希望日数（年間）】

※病児・病後児保育施設を利用したいと思った人



病児・病後児保育事業の利用希望をみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 28.3%、「利用したいとは思わない」が 67.0%となっている。

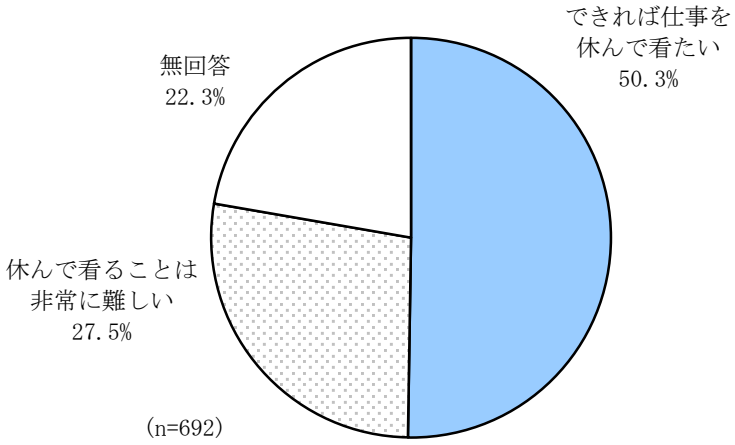
病児・病後児保育事業の年間利用希望日数をみると、「５日未満」が 35.1%で最も多く、次いで「５～９日」が 20.3%、「10～19 日」が 11.7%の順となっている。

（４）子どもが病気やケガで休んだ場合、父母のいずれかが休んで看たいと思ったか

問１９－３	問１９－１で「３.（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」から「９.その他」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号１つに○をつけ、「３.（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」から「９.その他」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数をご記入ください。

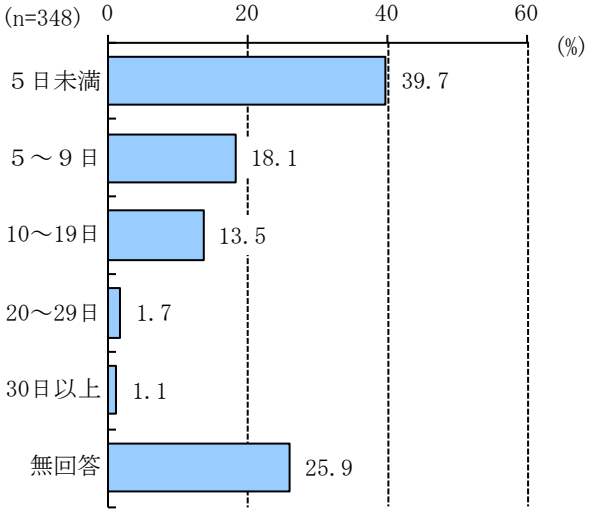
【父母のいずれかが休んで看たいと思ったか】

※父母以外が子どもを看た人



【休んで看たかった日数（年間）】

※父母のいずれかが休んで看たいと思った人



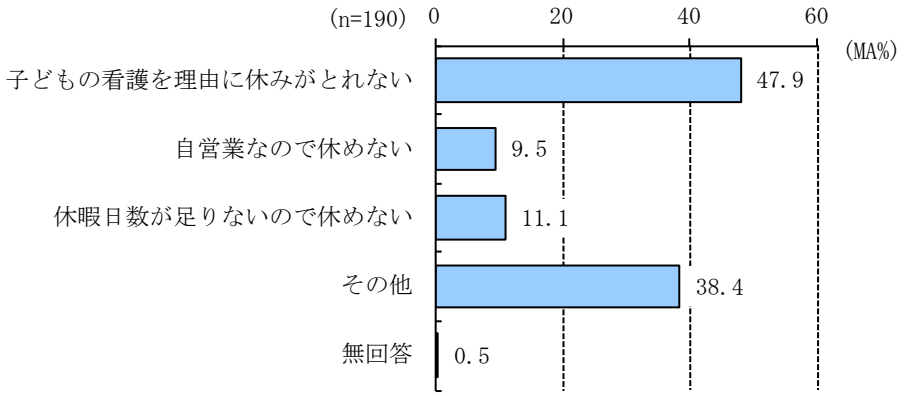
子どもが病気やケガで休んだ場合、父母のいずれかが休んで看たいと思ったかをみると、「できれば仕事を休んで看たい」が 50.3%、「休んで看ることは非常に難しい」が 27.5%となっている。

仕事を休んで看たかった日数をみると、「５日未満」が 39.7%で最も多く、次いで「５～９日」が 18.1%、「10～19 日」が 13.5%の順となっている。

（５）子どもが病気やケガで休んだ場合、父母が休んで看ることが難しい理由

問１９－４	問１９－３で「２.休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【子どもが病気やケガで休んだ場合、父母が休んで看ることが難しい理由】
※父母のいずれかが休んで看ることは非常に難しい人



子どもが病気やケガで休んだ場合、父母が休んで看ることが難しい理由をみると、「子どもの看病を理由に休みがとれない」が 47.9%で最も多く、次いで「その他」が 38.4%、「休暇日数が足りないので休めない」が 11.1%の順となっている。

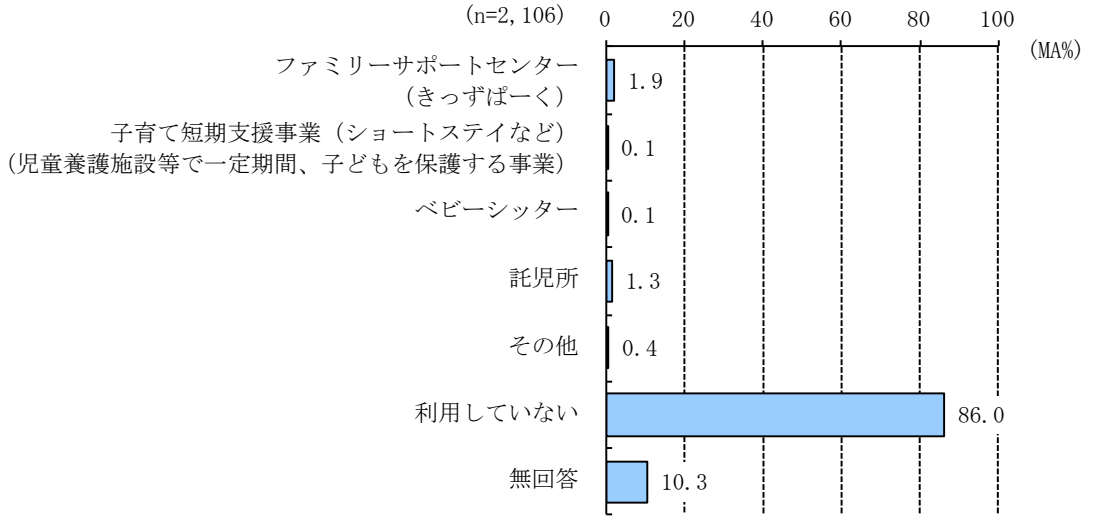
８．子どもの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

（平日の幼稚園・保育所を利用する方のみ）

（１）不定期の教育・保育事業の利用状況（ここ１年間）

問２０　お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、１年間の利用日数（おおよそ）をご記入ください。

【不定期の教育・保育事業の利用状況】



不定期の教育・保育事業の年間利用状況をみると、「利用していない」が 86.0%と大半を占め、「ファミリーサポートセンター（きっずぱーく）」が 1.9%、「託児所」が 1.3%となっている。

【不定期の教育・保育事業の利用日数（年間）】

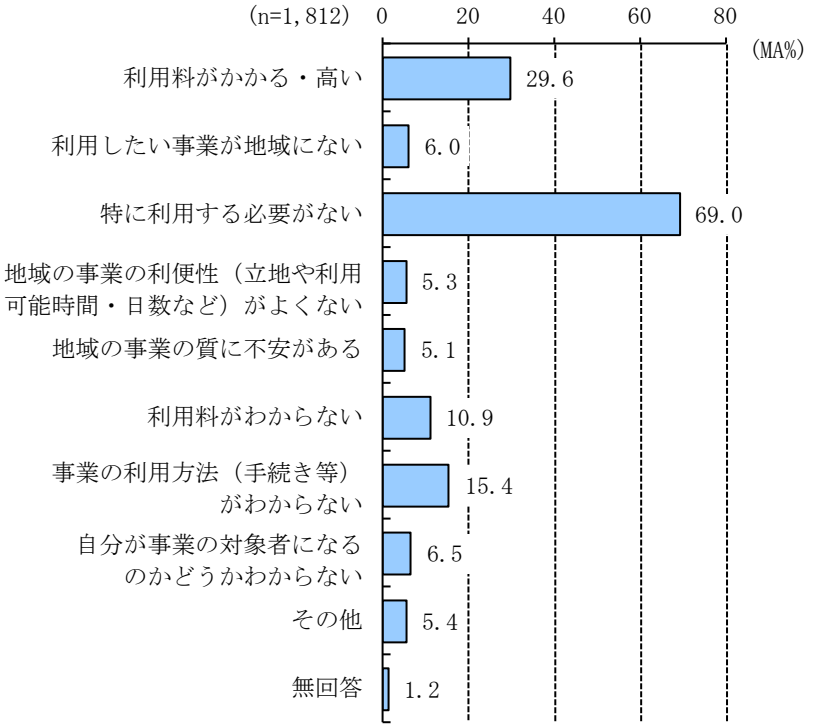
	全体	５日未満	５～９日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答
１．ファミリーサポートセンター（きっずぱーく）	40 100.0	19 47.5	5 12.5	7 17.5	1 2.5	－ －	8 20.0
２．子育て短期支援事業（ショートステイなど）	2 100.0	－ －	2 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －
３．ベビーシッター	3 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	2 66.7	1 33.3
４．託児所	28 100.0	8 28.6	8 28.6	3 10.7	2 7.1	3 10.7	4 14.3
５．その他	8 100.0	－ －	－ －	－ －	1 12.5	1 12.5	6 75.0

上段：実数、下段：%

（２）不定期な教育・保育事業を利用していない理由

問２０－１　問２０で「６.利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【不定期な教育・保育事業を利用していない理由】
※子どもを一時的に預ける事業を利用していない人

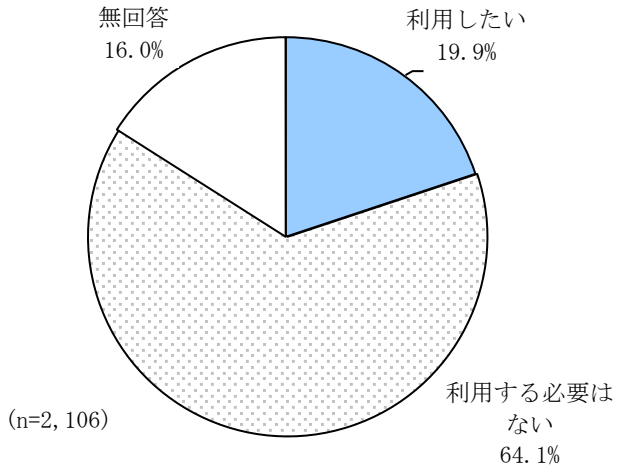


不定期な教育・保育事業を利用していない理由をみると、「特に利用する必要がない」が 69.0%で最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」が 29.6%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 15.4%の順となっている。

（３）不定期な教育・保育事業の利用希望、利用の目的

問２１　お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数をご記入ください。）なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

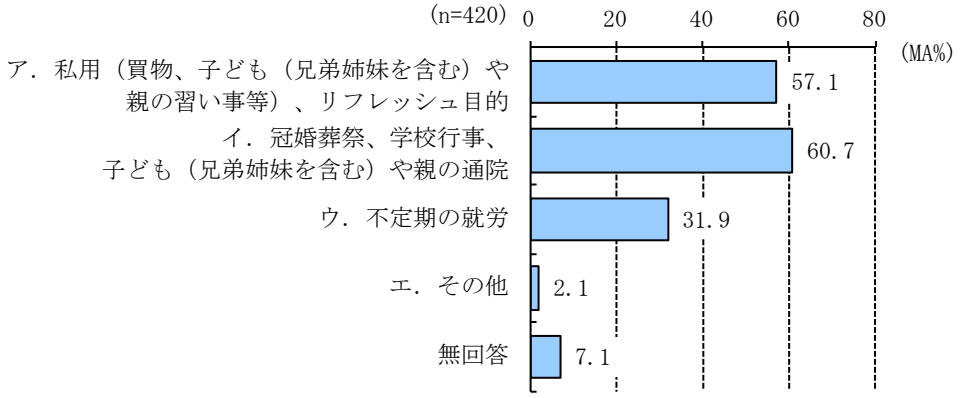
【不定期な教育・保育事業の利用意向】



不定期な教育・保育事業の利用希望をみると、「利用したい」が 19.9%、「利用する必要はない」が 64.1%となっている。

【不定期な教育・保育事業の利用の目的】

※子どもを一時的に預ける事業を利用したい人



不定期な教育・保育事業の利用の目的をみると、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 60.7%で最も多く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が 57.1%、「不定期の就労」が 31.9%の順となっている。

【目的ごとの利用希望日数（年間)】

※子どもを一時的に預ける事業を利用したい人

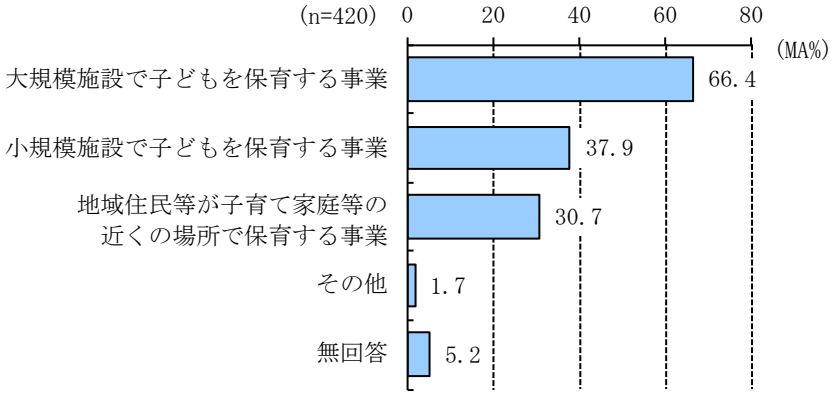
	全体	5日未満	5～9日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答
ア．私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	240 100.0	57 23.8	48 20.0	88 36.7	16 6.7	16 6.7	15 6.3
イ．冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院	255 100.0	78 30.6	75 29.4	61 23.9	10 3.9	8 3.1	23 9.0
ウ．不定期の就労	134 100.0	24 17.9	30 22.4	18 13.4	16 11.9	24 17.9	22 16.4
エ．その他	9 100.0	2 22.2	3 33.3	1 11.1	1 11.1	－ －	2 22.2

上段：実数、下段：%

（４）不定期な教育・保育事業として希望する形態

問２１－１	問２１で「１.利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問２１の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【不定期な教育・保育事業として希望する形態】
※子どもを一時的に預ける事業を利用したい人



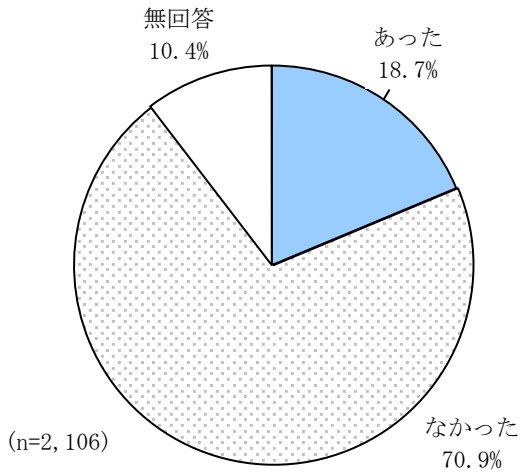
不定期な教育・保育事業として希望する形態をみると、「大規模施設で子どもを保有する事業」が 66.4%で最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保有する事業」が 37.9%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保有する事業」が 30.7%の順となっている。

９．宿泊を伴う預かり事業の利用状況

（１）泊まりがけで子どもを預けた経験の有無（ここ１年間）

問２２　この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数をご記入ください。

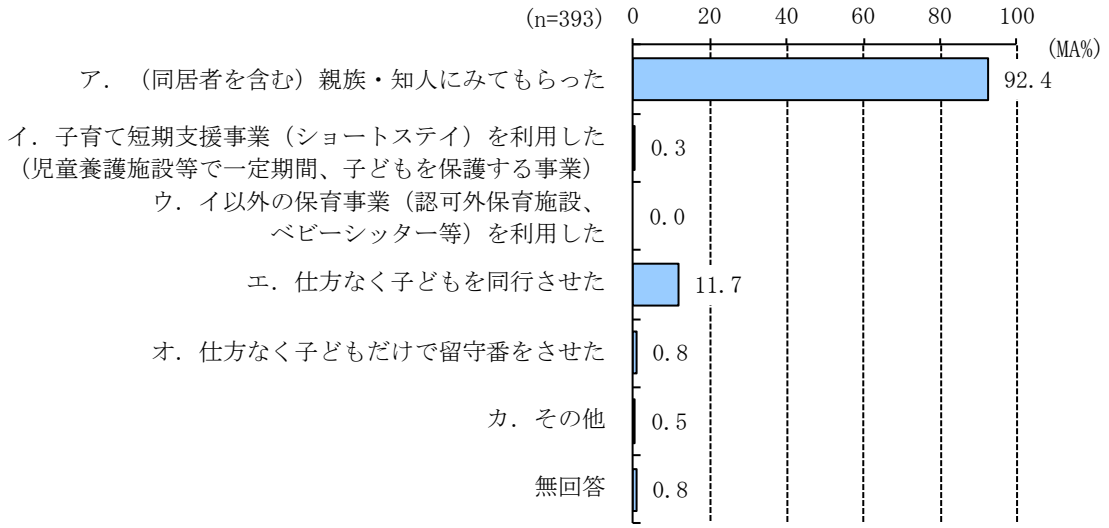
【泊まりがけで子どもを預けた経験の有無】



この１年間に泊まりがけで子どもを預けた経験の有無をみると、「あった」が 18.7%、「なかった」が 70.9%となっている。

【泊まりがけで子どもを預けた場所】

※ここ１年、子どもを泊りがけで預けた人



泊まりがけで子どもを預けた場所をみると、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が92.4%と大半を占め、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が 11.7%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が 0.8%の順となっている。

【預けた場所ごとの泊数（年間)】

※ここ１年、子どもを泊りがけで預けた人

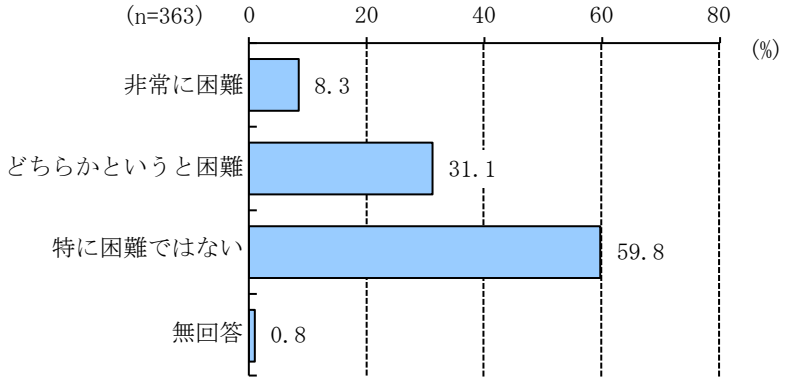
	全体	５泊未満	５～９泊	10～19泊	20～29泊	30泊以上	無回答
ア．（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	363 100.0	187 51.5	63 17.4	33 9.1	7 1.9	15 4.1	58 16.0
イ．子育て短期支援事業（ショートステイ）を利用した	1 100.0	－ －	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －
ウ．イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
エ．仕方なく子どもを同行させた	46 100.0	22 47.8	2 4.3	3 6.5	1 2.2	1 2.2	17 37.0
オ．仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3 100.0	－ －	1 33.3	－ －	－ －	－ －	2 66.7
カ．その他	2 100.0	2 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

上段：実数、下段：%

（２）泊まりがけで親族・知人に子どもを預けたときの困難度

問２２－１	問２２で「１.あった　ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号<u>１つに</u>○をつけてください。

【泊まりがけで親族・知人に子どもを預けたときの困難度】
※ここ１年、子どもを泊りがけで預けた人



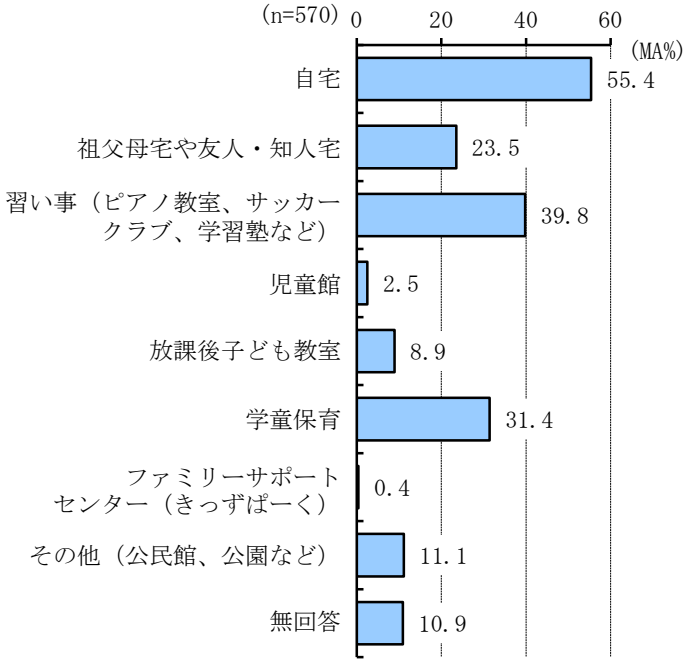
泊まりがけで親族・知人に子どもを預けたときの困難度をみると、「特に困難ではない」が59.8%で最も多く、次いで「どちらかというと困難」が31.1%、「非常に困難」が8.3%の順となっている。

10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について（お子さんが５歳以上で平日の幼稚園・保育所を利用する方のみ）

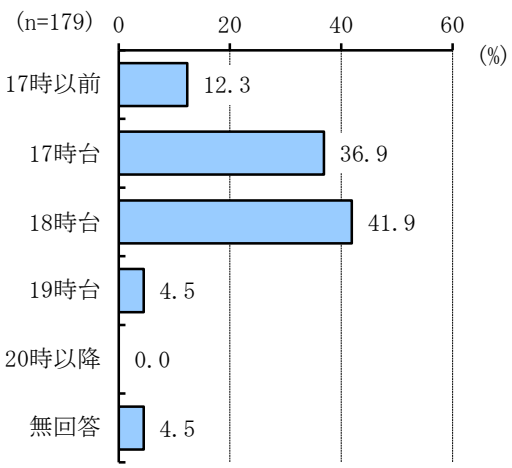
（１）低学年の放課後の過ごし方の希望

問２３　お子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数をご記入ください。また、「６．学童保育」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。時間は、（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

【希望する放課後の過ごし方（低学年）】



【学童保育希望終了時間（低学年）】
※低学年の放課後の過ごし方として学童保育を希望する人のみ



低学年で希望する放課後の過ごし方をみると、「自宅」が 55.4%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室・サッカークラブ、学習塾など）」が 39.8%、「学童保育」が 31.4%の順となっている。

学童保育を希望する人の利用希望終了時間をみると、「18 時台」が 41.9%で最も多く、次いで「17 時台」が 36.9%、「17 時以前」が 12.3%の順となっている。

【放課後の過ごし方ごとの希望日数（低学年）】

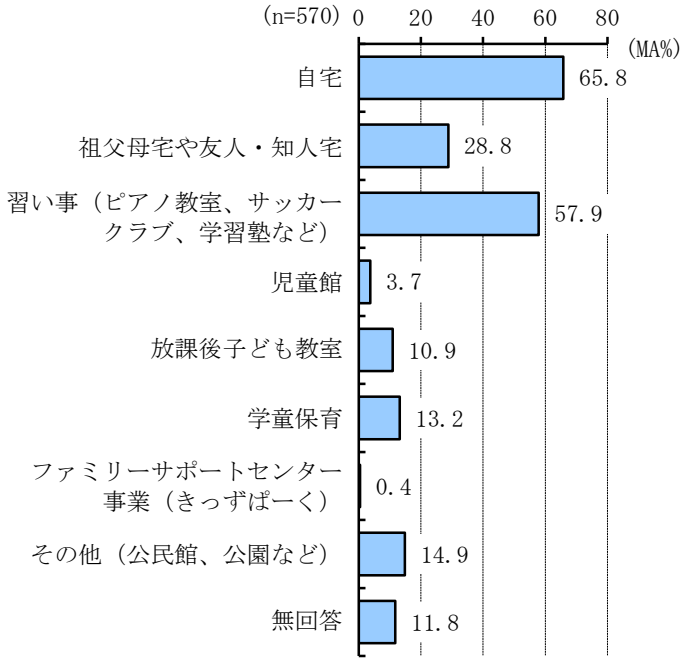
	全体	１日	２日	３日	４日	５日	無回答
１．自宅	534 100.0	44 8.2	82 15.4	92 17.2	59 11.0	139 26.0	118 22.1
２．祖父母宅や友人・知人宅	231 100.0	61 26.4	59 25.5	29 12.6	12 5.2	36 15.6	34 14.7
３．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	379 100.0	127 33.5	156 41.2	65 17.2	8 2.1	4 1.1	19 5.0
４．児童館	25 100.0	11 44.0	3 12.0	1 4.0	1 4.0	1 4.0	8 32.0
５．放課後子ども教室	103 100.0	47 45.6	18 17.5	11 10.7	2 1.9	8 7.8	17 16.5
６．学童保育	303 100.0	5 1.7	9 3.0	37 12.2	28 9.2	188 62.0	36 11.9
７．ファミリーサポートセンター（きっずぱーく）	2 100.0	1 50.0	－ －	1 50.0	－ －	－ －	－ －
８．その他（公民館、公園など）	104 100.0	32 30.8	30 28.8	14 13.5	1 1.0	8 7.7	19 18.3

上段：実数、下段：％

（２）高学年の放課後の過ごし方の希望

問２４　お子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数をご記入ください。また、「６.学童保育」の場合には利用を希望する時間もご記入ください。時間は、(例)０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

【希望する放課後の過ごし方（高学年）】



高学年で希望する放課後の過ごし方をみると、「自宅」が 65.8%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室・サッカークラブ、学習塾など)」が 57.9%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 28.8%の順となっている。

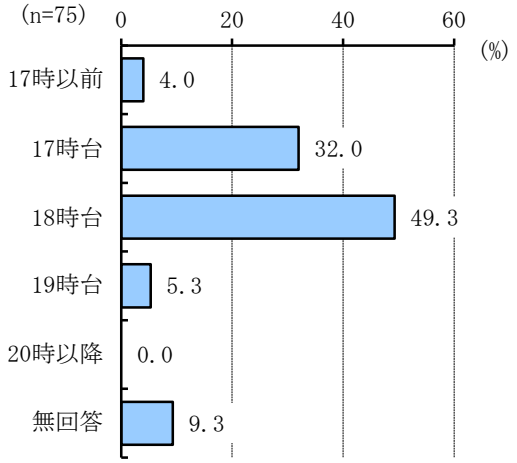
【放課後の過ごし方ごとの希望日数（高学年）】

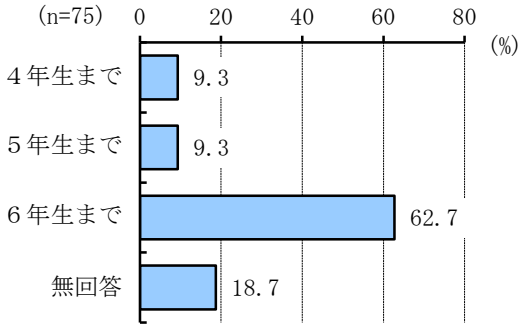
	全体	１日	２日	３日	４日	５日	無回答
１．自宅	626 100.0	68 10.9	120 19.2	113 18.1	49 7.8	145 23.2	131 20.9
２．祖父母宅や友人・知人宅	261 100.0	72 27.6	71 27.2	28 10.7	6 2.3	38 14.6	46 17.6
３．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	537 100.0	102 19.0	211 39.3	142 26.4	29 5.4	15 2.8	38 7.1
４．児童館	27 100.0	10 37.0	6 22.2	2 7.4	－ －	2 7.4	7 25.9
５．放課後子ども教室	112 100.0	44 39.3	27 24.1	13 11.6	1 0.9	9 8.0	18 16.1
６．学童保育	148 100.0	－ －	18 12.2	19 12.8	12 8.1	75 50.7	24 16.2
７．ファミリーサポートセンター事業（きっずぱーく）	2 100.0	－ －	－ －	1 50.0	－ －	－ －	1 50.0
８．その他（公民館、公園など）	137 100.0	38 27.7	39 28.5	20 14.6	3 2.2	13 9.5	24 17.5

上段：実数、下段：%

【学童保育の希望終了時間（高学年）】　　【学童保育の希望利用期間】

※高学年の放課後の過ごし方として学童保育を希望する人のみ





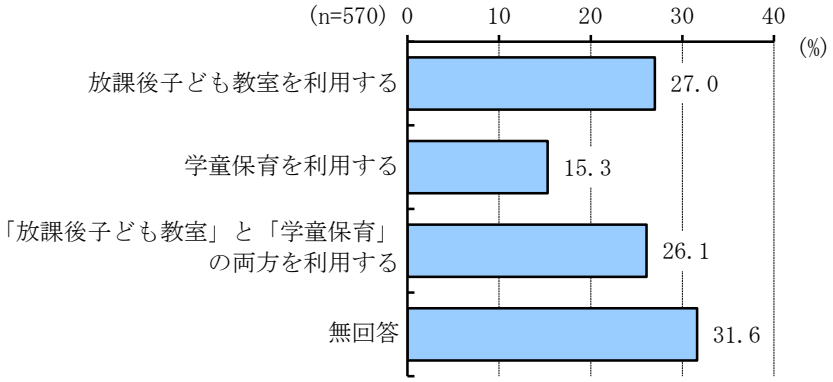
学童保育を希望する人の希望終了時間をみると、「18 時台」が 49.3%で最も多く、次いで「17 時台」が 32.0.%、「19 時台」が 5.3%の順となっている。

学童保育を希望する人の希望利用期間をみると、「６年生まで」が 62.7%で最も多く、次いで「４年生まで」と「５年生まで」が同率の 9.3%の順となっている。

（３）放課後子ども教室・学童保育の利用希望

問２５　お子さんの学校に「放課後子ども教室」と「学童保育」があれば利用しますか。

【放課後子ども教室・学童保育の利用希望】

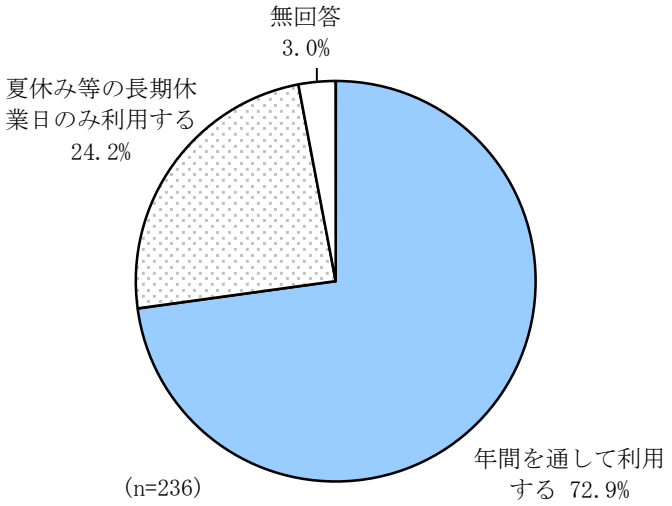


放課後子ども教室・学童保育の利用希望をみると、「放課後子ども教室を利用する」が 27.0%で最も多く、次いで「「放課後子ども教室」と「学童保育」の両方を利用する」が 26.1%、「学童保育を利用する」が 15.3%の順となっている。

（４）学童保育を利用したい時期

問２６	問２５で「２.学童保育を利用する。」と「３.「放課後子ども教室」と「学童保育」の両方を利用する。」に○をつけた方のみ回答してください。学童保育を利用する時期はいつですか。

【学童保育を利用する時期】
※「放課後子ども教室」と「学童保育」の両方を利用する人

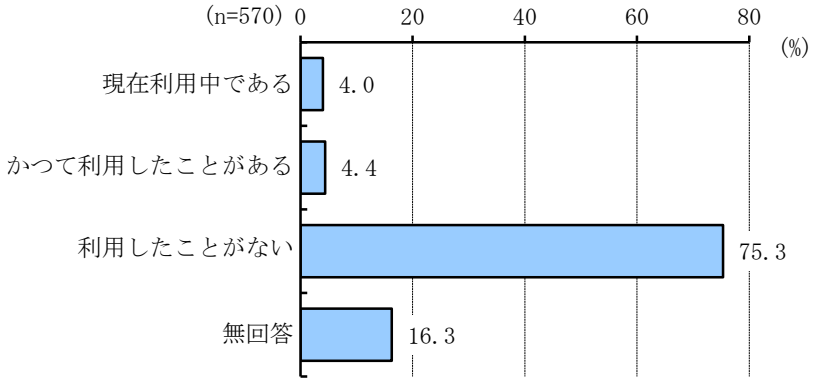


学童保育を利用する時期をみると、「年間を通して利用する」が 72.9%、「夏休み等の長期休業日のみ利用する」が 24.2%となっている。

（５）学童保育の利用経験

問２７　お子さんについて、学童保育を利用した事がありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

【学童保育の利用経験】



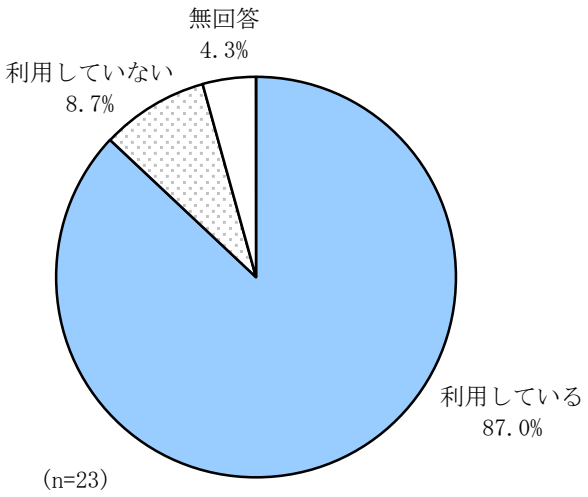
学童保育の利用経験をみると、「利用したことがない」が 75.3%で最も多く、次いで「かつて利用したことがある」が 4.4%、「現在利用中である」が 4.0%の順となっている。

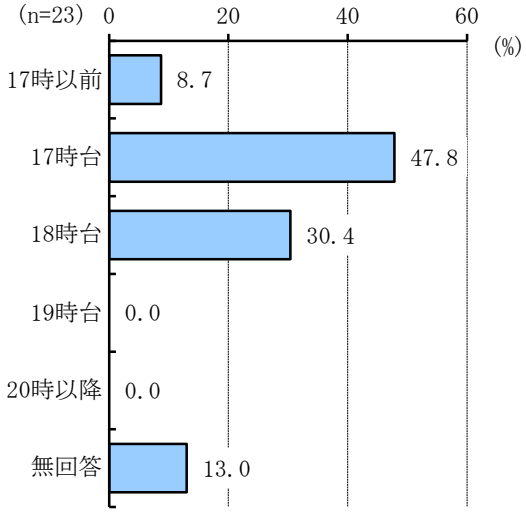
（６）学童保育の利用状況

問２８	問２７で「１.現在利用中である」に○をつけた方にうかがいます。利用時間について、（１）平日の放課後、（２）土曜日、（３）長期休暇中それぞれ当てはまる番号１つに○をつけてください。また利用している時間帯を、（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

【学童保育の利用状況】　　【学童保育終了時間】

※現在利用中の方・平日の放課後



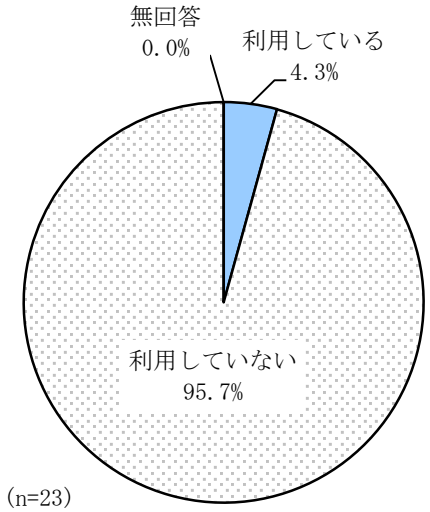


学童保育の平日の放課後の利用状況をみると、「利用している」が 87.0%、「利用していない」が 8.7%となっている。

学童保育の平日の終了時間をみると、「17 時台」が 47.8%で最も多く、次いで「18 時台」が 30.4%、「17 時以前」が 8.7%の順となっている。

【学童保育の利用状況】

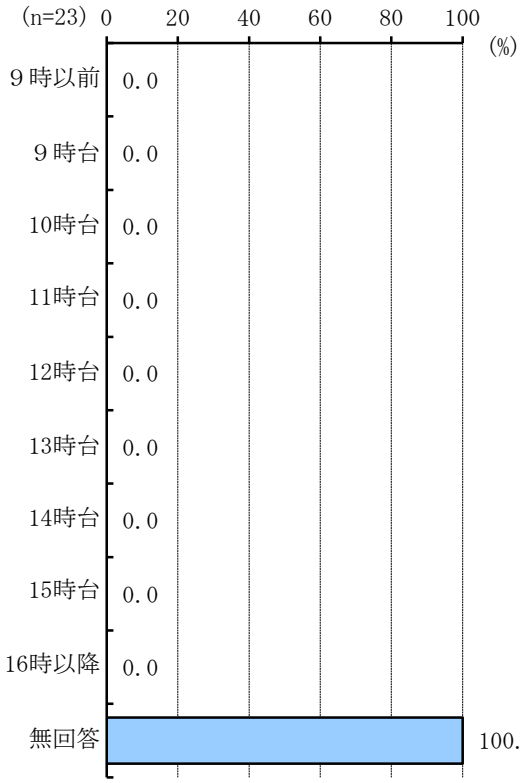
※現在利用中の方・土曜日

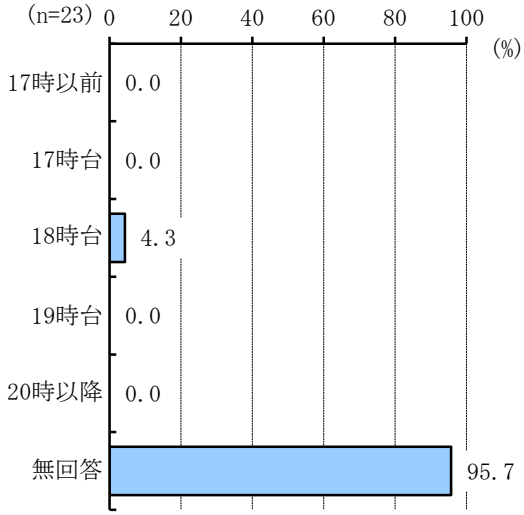


【学童保育の開始時間】

【学童保育の終了時間】

※現在利用中の方・土曜日





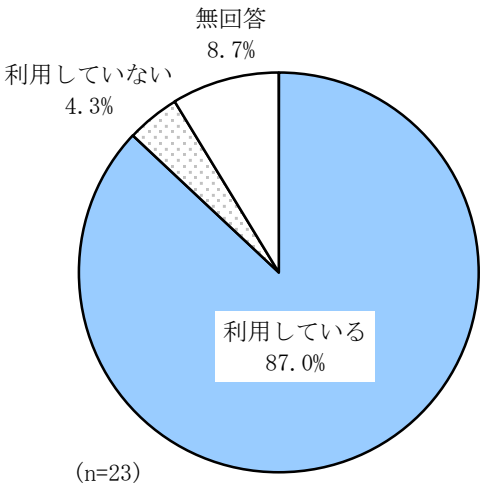
学童保育の土曜日の利用状況をみると、「利用している」が 4.3%、「利用していない」が 95.7%となっている。

学童保育の土曜日の開始時間をみると、無回答となっている。

学童保育の土曜日の終了時間をみると、「18 時以前」が 4.3%で最も多く、その他の時間は 0%となっている。

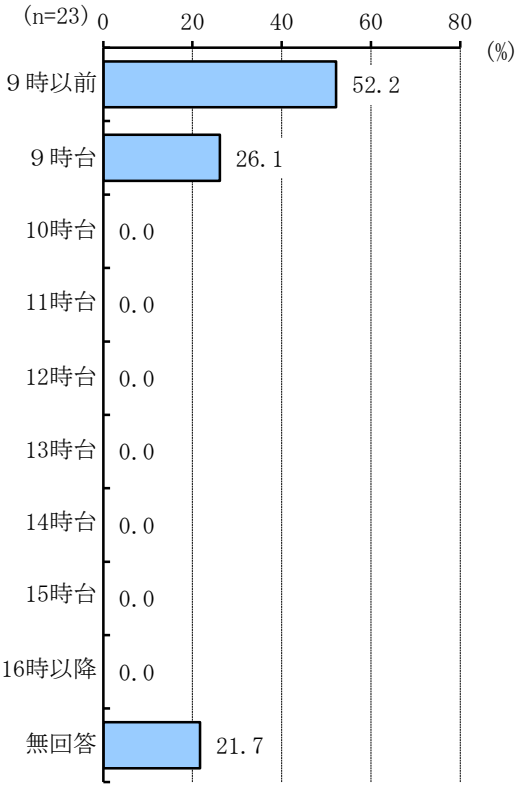
【学童保育の利用状況】

※現在利用中の方・長期休暇中

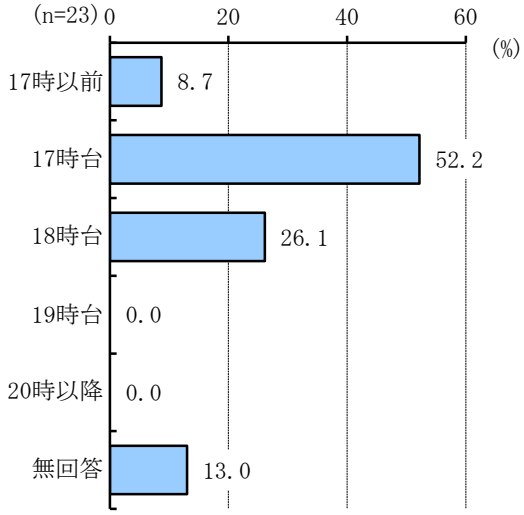


【学童保育の開始時間】

※現在利用中の方・長期休暇中



【学童保育の終了時間】



学童保育の長期休暇中の利用状況をみると、「利用している」が 87.0%、「利用していない」が 4.3%となっている。

学童保育の長期休暇中の開始時間をみると、「９時以前」が 52.2%で最も多く、次いで「９時台」が 26.1%、その他は 0%となっている。

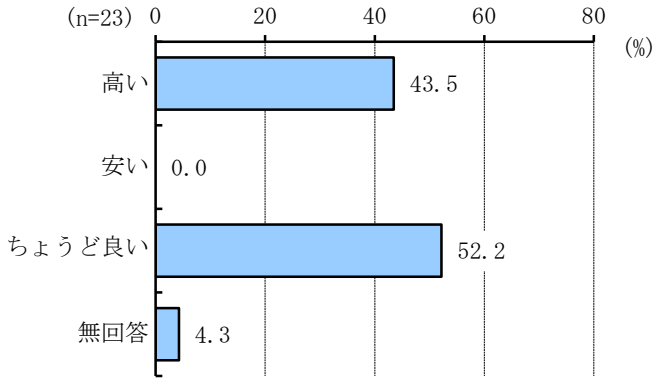
学童保育の長期休暇中の終了時間をみると、「17 時台」が 52.2%で最も多く、次いで「18 時台」が 26.1%、「17.時以前」が 8.7%の順となっている。

（７）学童保育の保育料について

問２９　問２７で「１.現在利用中である」に○をつけた方にうかがいます。利用している学童保育の保育料について当てはまる番号に○をつけてください。

【学童保育の保育料について】

※現在利用中の方



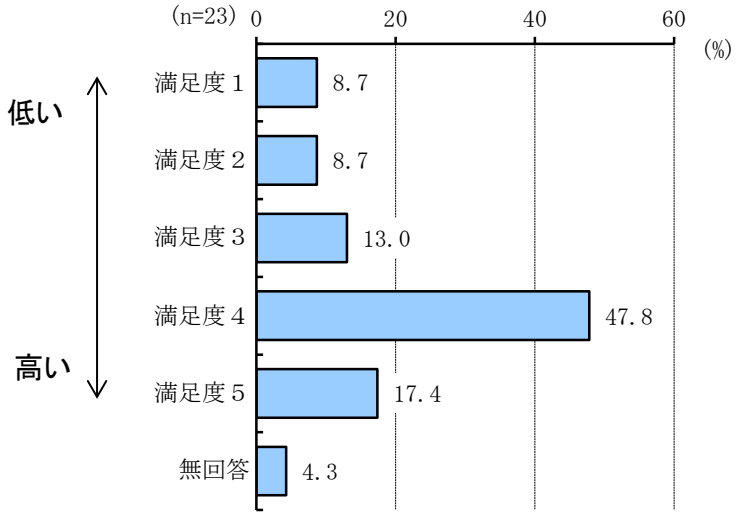
学童保育の保育料についてみると、「ちょうど良い」が 52.2%で最も高く、次いで「高い」が 43.5%、「安い」は 0%となっている。

（８）学童保育の満足度

問３０　問２７で「１.現在利用中である」に○をつけた方にうかがいます。利用している学童保育の満足度について当てはまる番号に○をつけてください。

【学童保育の満足度】

※現在利用中の方

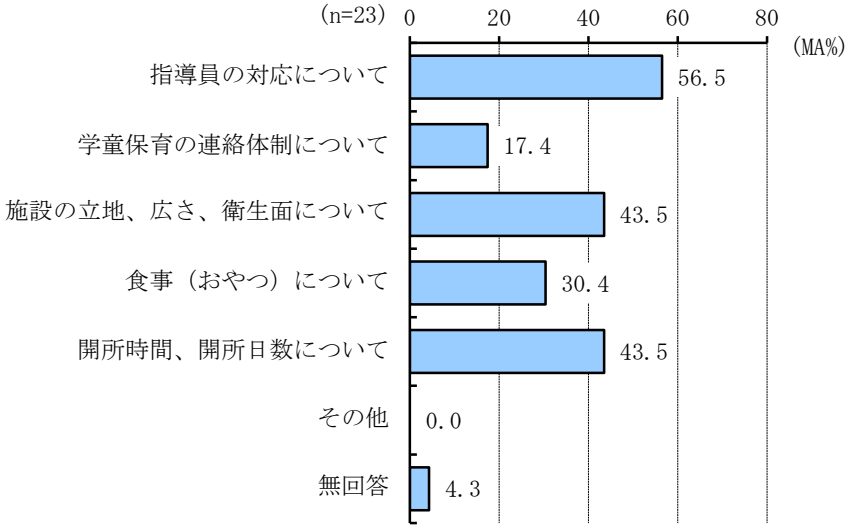


学童保育の満足度をみると、「満足度４」が 47.8%で最も多く、次いで「満足度５」が 17.4%、「満足度３」が 13.0%の順となっている。

（９）学童保育について良いと感じているところ

問３１　問２７で「１.現在利用中である」に○をつけた方にうかがいます。利用している学童保育について良いと感じている点があれば該当するものに○をつけてください。（いくつでも可）

【学童保育について良いと感じているところ】
※現在利用中の方

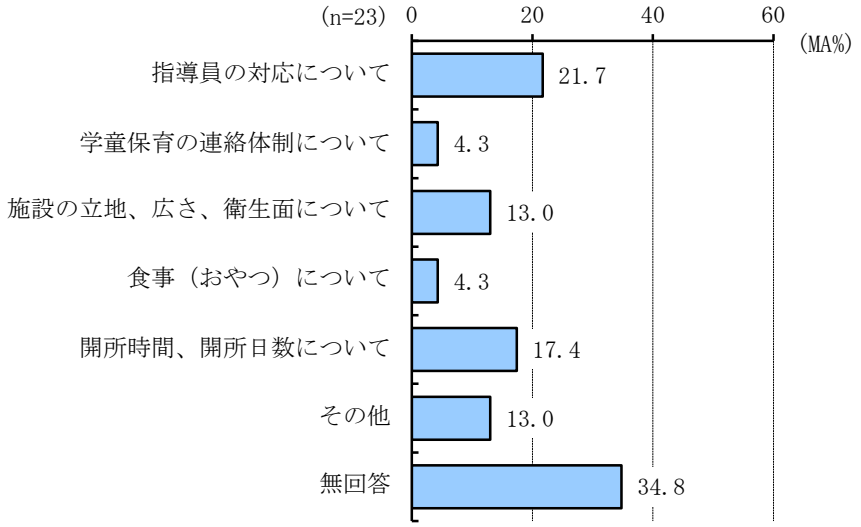


学童保育について良いと感じているところをみると、「指導員の対応について」が 56.5%で最も多く、次いで「施設の立地、広さ、衛生面について」と「開所時間、開所日数について」が同率の 43.5%、「食事（おやつ）について」が 30.4%の順となっている。

(10) 学童保育について不満に思うところ

問３２	問２７で「１.現在利用中である」に○をつけた方にうかがいます。利用している学童保育について不満に思う点があれば該当するものに○をつけてください（いくつでも可）

【学童保育について不満に思うところ】
※現在利用中の方

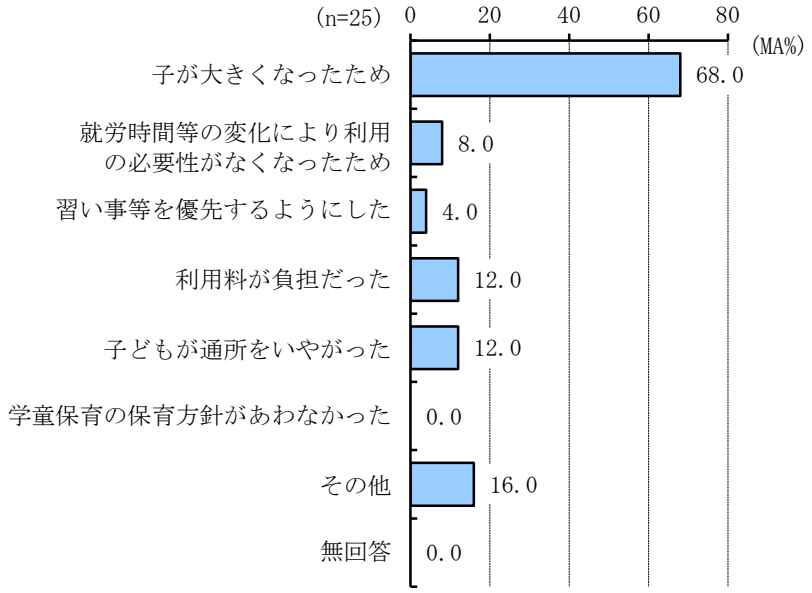


学童保育について不満に思うところをみると、「指導員の対応について」が 21.7%で最も多く、次いで「開所時間、開所日数について」が 17.4%、「施設の立地、広さ、衛生面について」と「その他」が同率で 3.0%の順となっている。

(11) 学童保育の利用をやめた理由

問３３　問２７で「２.かつて利用したことがある」に○をつけた方にうかがいます。利用をやめた理由について当てはまる番号に○をつけてください。

【学童保育の利用をやめた理由】
※かつて利用したことがある方

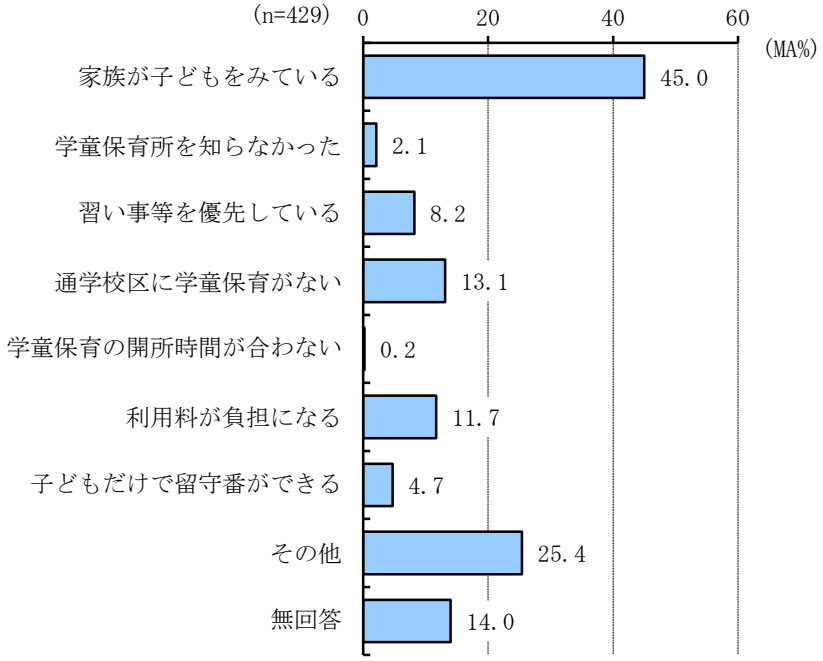


学童保育の利用をやめた理由をみると、「子が大きくなったため」が 68.0%で最も多く、次いで「その他」が 16.0%、「利用料が負担だった」と「子どもが通所をいやがった」が同率で 12.0%の順となっている。

(12) 学童保育の利用をしていない理由

問３４	問２７で「３.利用したことがない」に○をつけた方にうかがいます。学童保育を利用していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【学童保育の利用をしていない理由】
※利用したことがない方

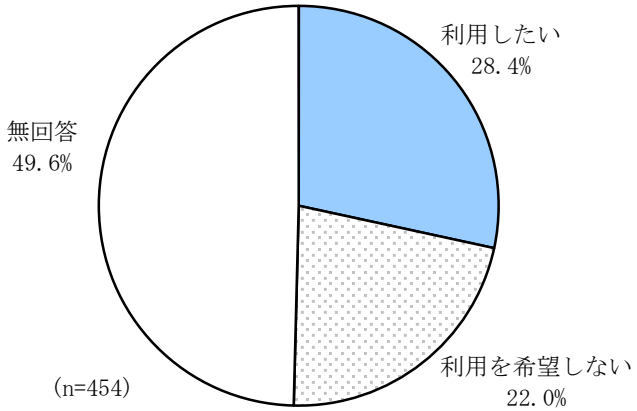


学童保育を利用していない理由をみると、「家族が子どもをみている」が 45.0%で最も多く、次いで「その他」が 25.4%、「通学校区に学童保育がない」が 13.1%の順となっている。

(13) 学童保育の利用希望

問３５	問２７で「２.かつて利用したことがある」または「３.利用したことがない」に○をつけた方にうかがいます。今後、学童保育を利用したいとお考えですか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

【学童保育の利用希望】
※かつて利用したことがある方・利用したことがない方

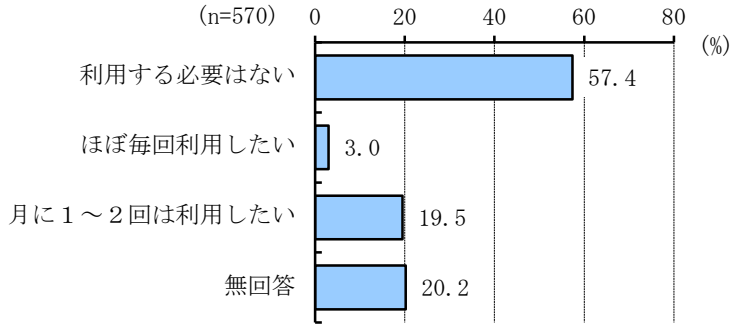


学童保育の利用希望をみると、「利用したい」が 28.4%、「利用を希望しない」が 22.0%となっている。

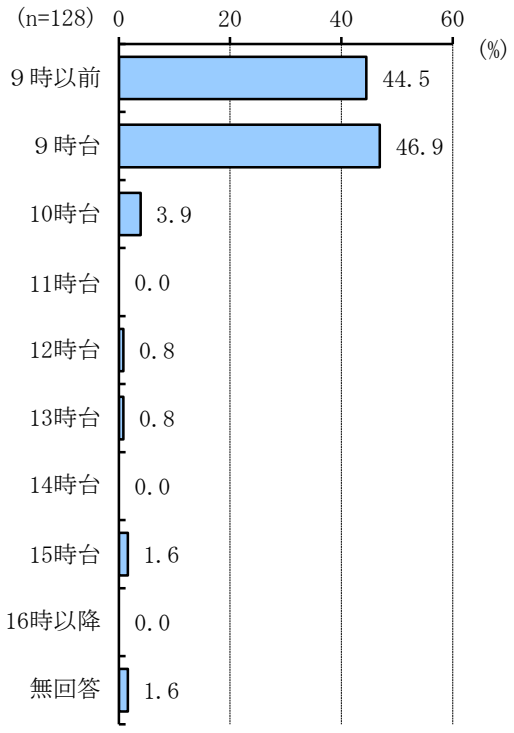
(14) 学童保育の日曜日・祝日の利用希望

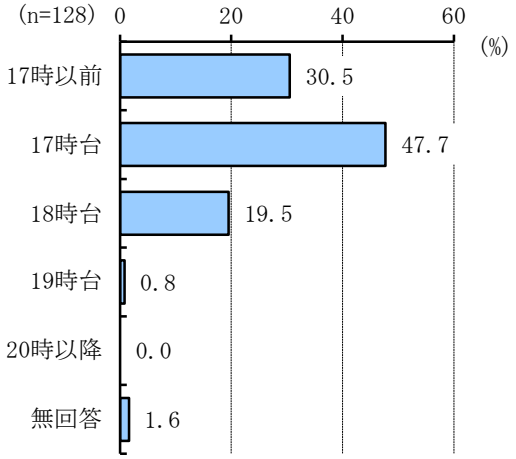
問３６　すべての方にうかがいます。お子さんについて、もし学童保育が日曜日・祝日にも通所が可能となった場合、日曜日・祝日の利用希望はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)　０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

【学童保育の日曜日・祝日の利用希望】



【学童保育の日曜日・祝日の利用希望開始時間】【学童保育の日曜日・祝日の利用希望終了時間】





学童保育の日曜日・祝日の利用希望をみると、「利用する必要はない」が 57.4%で最も多く、次いで「月に１～２回は利用したい」が 19.5%、「ほぼ毎回利用したい」が 3.0%の順となっている。

学童保育の日曜日・祝日の利用希望開始時間をみると、「９時台」が 46.9%で最も多く、次いで「９時以前」が 44.5%、「10 時台」が 3.9%の順となっている。

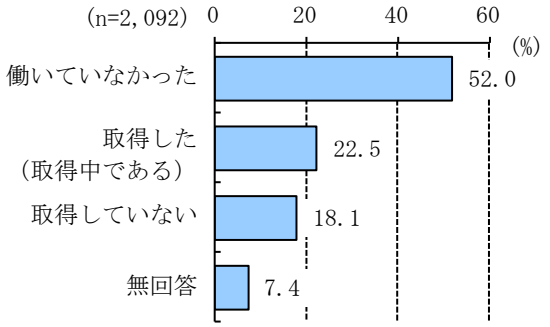
学童保育の日曜日・祝日の利用希望終了時間をみると、「17 時台」が 47.7%で最も多く、次いで「17 時以前」が 30.5%、「18 時台」が 19.5%の順となっている。

11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について（平日の幼稚園・保育所を利用する方のみ）

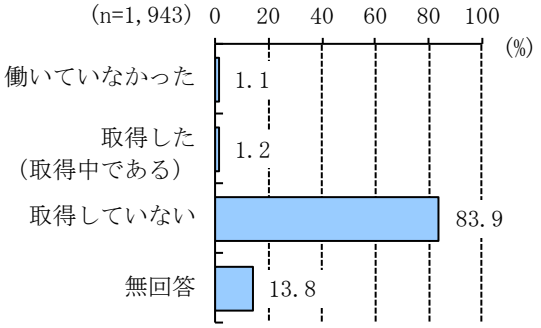
（１）両親の育児休業取得状況

問３７　お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけてください。また「３．取得していない」方はその理由をご記入ください。

【母親の育児休業取得状況】

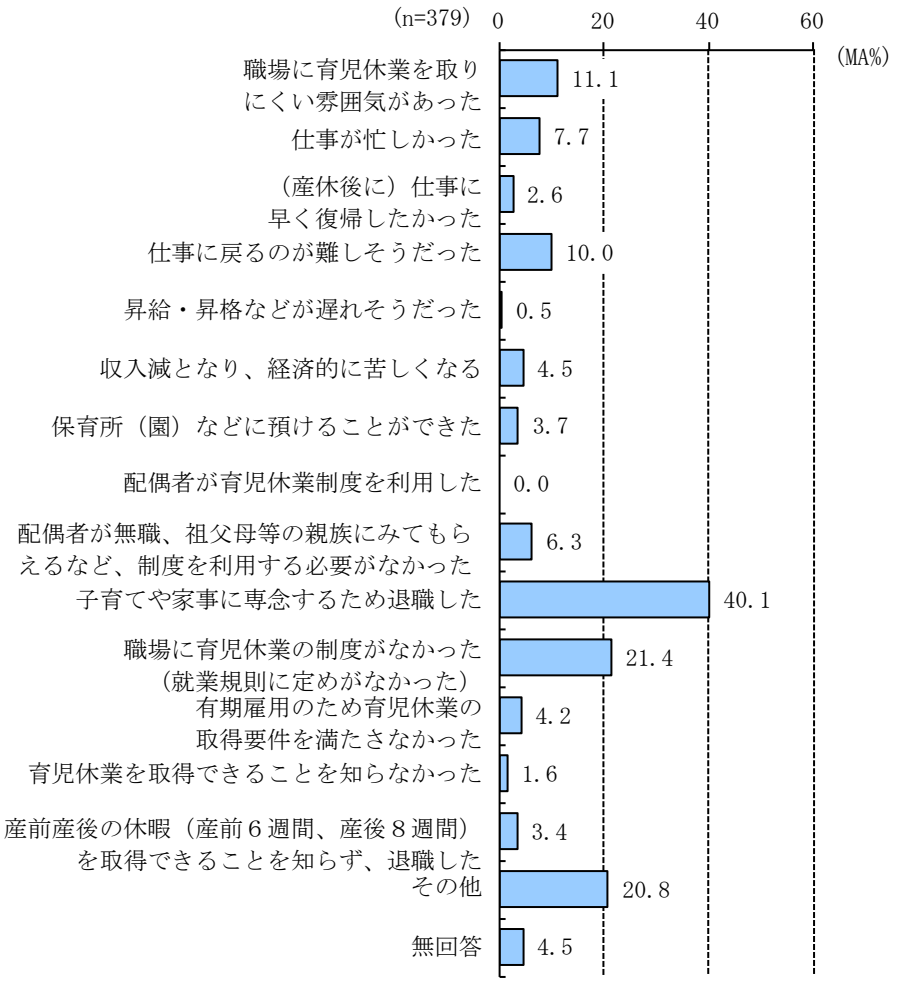


【父親の育児休業取得状況】



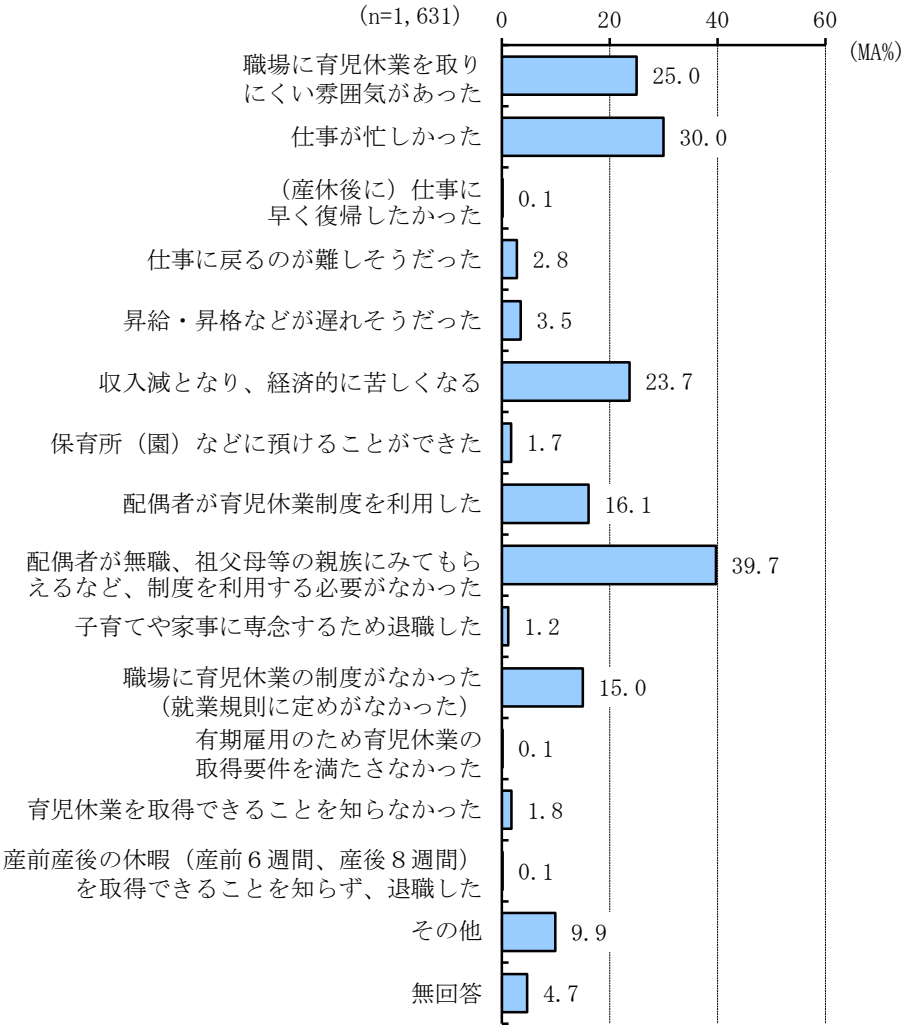
育児取得状況をみると、母親では「働いていなかった」が 52.0%で最も多く、次いで「取得した（取得中である）」が 22.5%、「取得していない」が 18.1%の順となっており、父親では「取得していない」が 83.9%と大半を占めており、「取得した（取得中である）」が 1.2%、「働いていなかった」が 1.1%の順となっている。

【母親が育児休業を取得しなかった理由】



母親の育児休業を取得しなかった理由をみると、「子育てや家事に専念するため退職した」が40.1%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が21.4%、「その他」が20.8%の順となっている。

【父親が育児休業を取得しなかった理由】

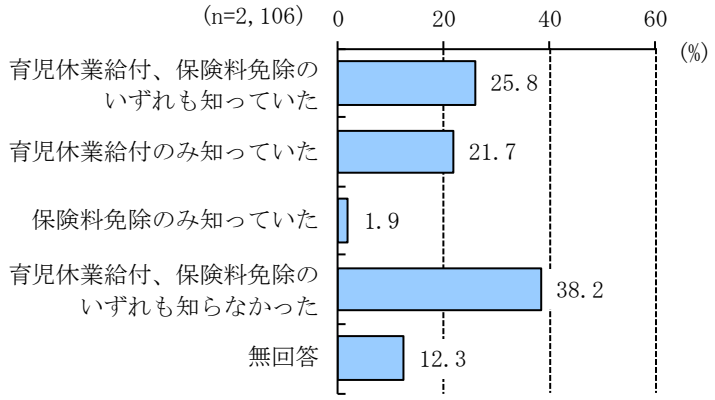


父親の育児休業を取得しなかった理由をみると、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が 39.7%で最も多く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 23.7%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が 16.1%の順となっている。

（２）育児休業中の育児休業給付、保険料免除に対する認知度

問３７－１	子どもが原則１歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は１歳６月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満３歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

【育児休業中の育児休業給付、保険料免除に対する認知度】

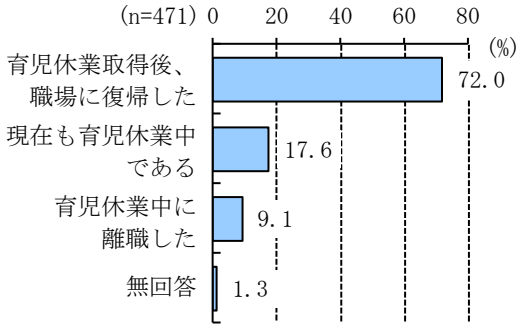


育児休業中の育児休業給付、保険料免除に対する認知度をみると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 38.2％で最も多く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 25.8％、「育児休業給付のみ知っていた」が 21.7％の順となっている。

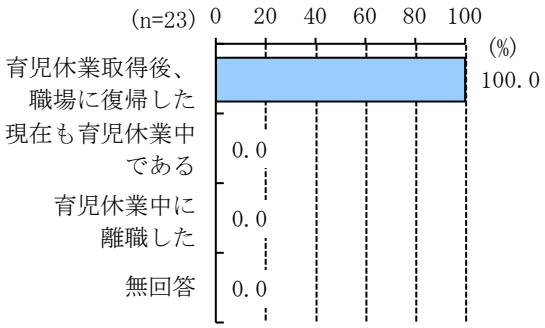
（３）両親の職場復帰状況

問３７－２　問３７で「２．取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

【母親の職場復帰状況】



【父親の職場復帰状況】



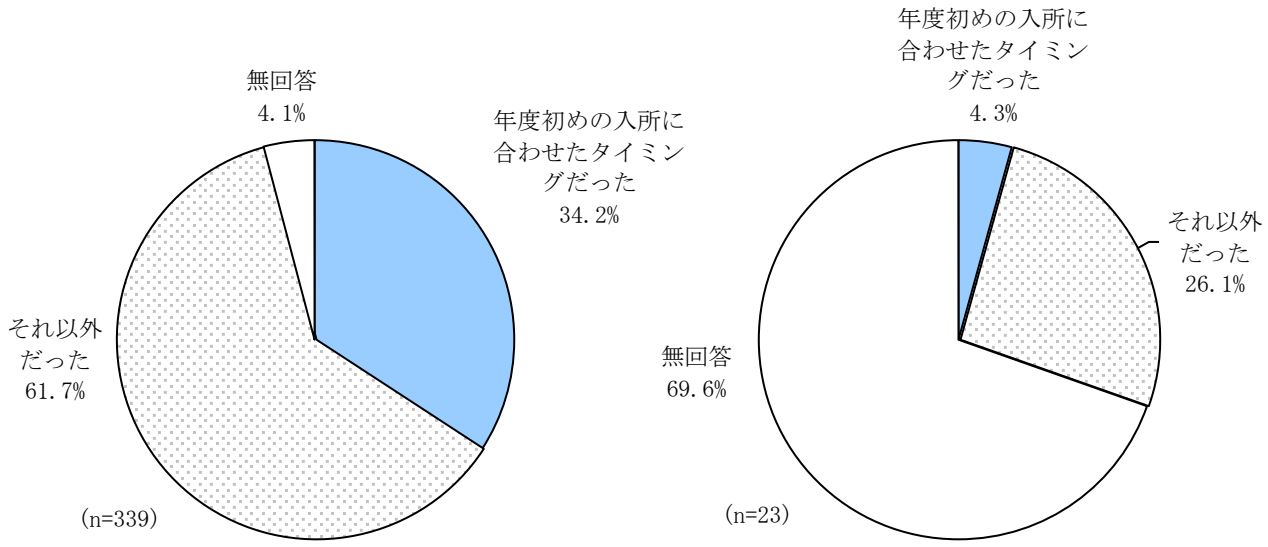
※育児休業を取得した（取得中である）人

職場復帰状況をみると、母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が 72.0％で最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が 17.6％、「育児休業中に離職した」が 9.1％の順となっており、父親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が 100％となっている。

問３７－３	問３７－２で「１.育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか１つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、１月～２月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「１.育児糾合取得後、職場に復帰した」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「１.育児休業取得後、職場に復帰した」を選択してください。

【母親の職場復帰のタイミング】　　**【父親の職場復帰のタイミング】**

※育児休業取得後に職場復帰した人



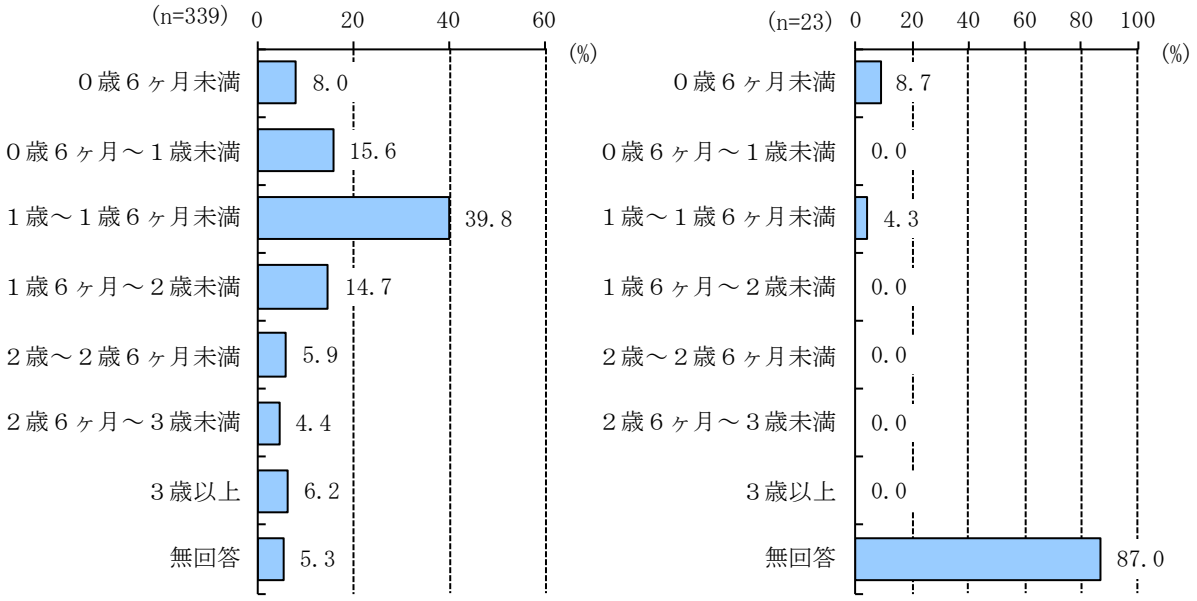
職場復帰のタイミングをみると、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 34.2%、「それ以外だった」が 61.7%となっており、父親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 4.3%、「それ以外だった」が 26.1%となっている。

（４）育児休業取得期間（実際と希望）

問３７－４	育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

【母親の実際の育児休業取得期間】　　【父親の実際の育児休業取得期間】

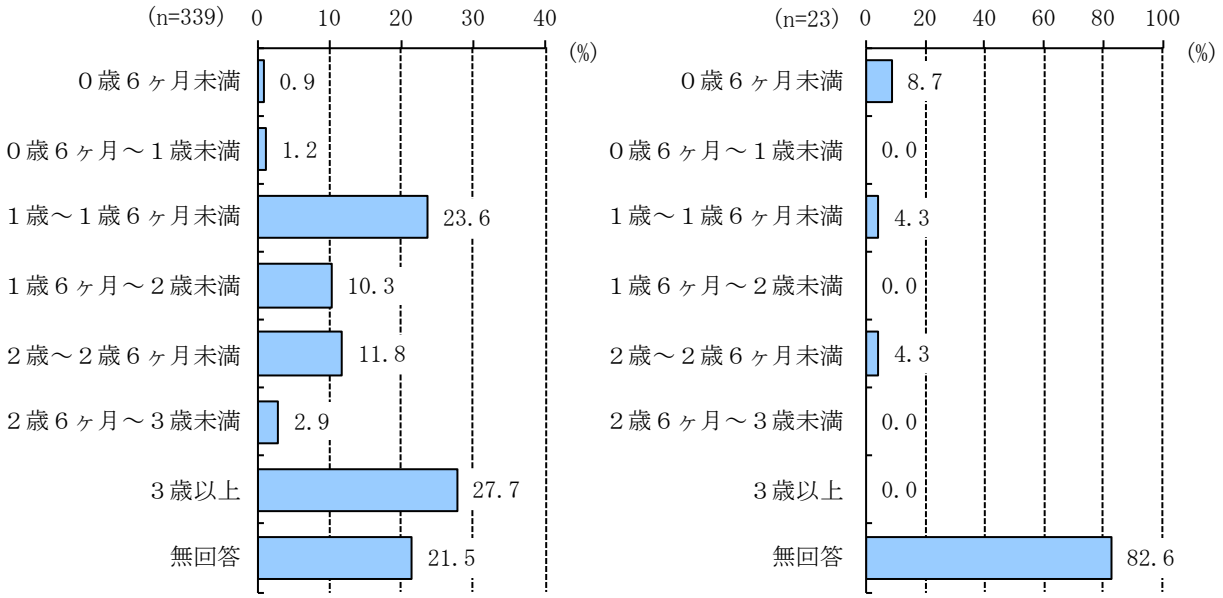
※育児休業取得後に職場復帰した人



実際の育児休業取得期間をみると、母親では「１歳～１歳６ヶ月未満」が 39.8%で最も多く、次いで「０歳６ヶ月～１歳未満」が 15.6.％、「１歳６ヶ月～２歳未満」が 14.7%の順となっており、父親では、「０歳６ヶ月未満」が 8.7%、次いで「１歳～１歳６ヶ月未満」が 4.3%、その他は 0%となっている。

【母親の希望の育児休業取得期間】　　【父親の希望の育児休業取得期間】

※育児休業取得後に職場復帰した人



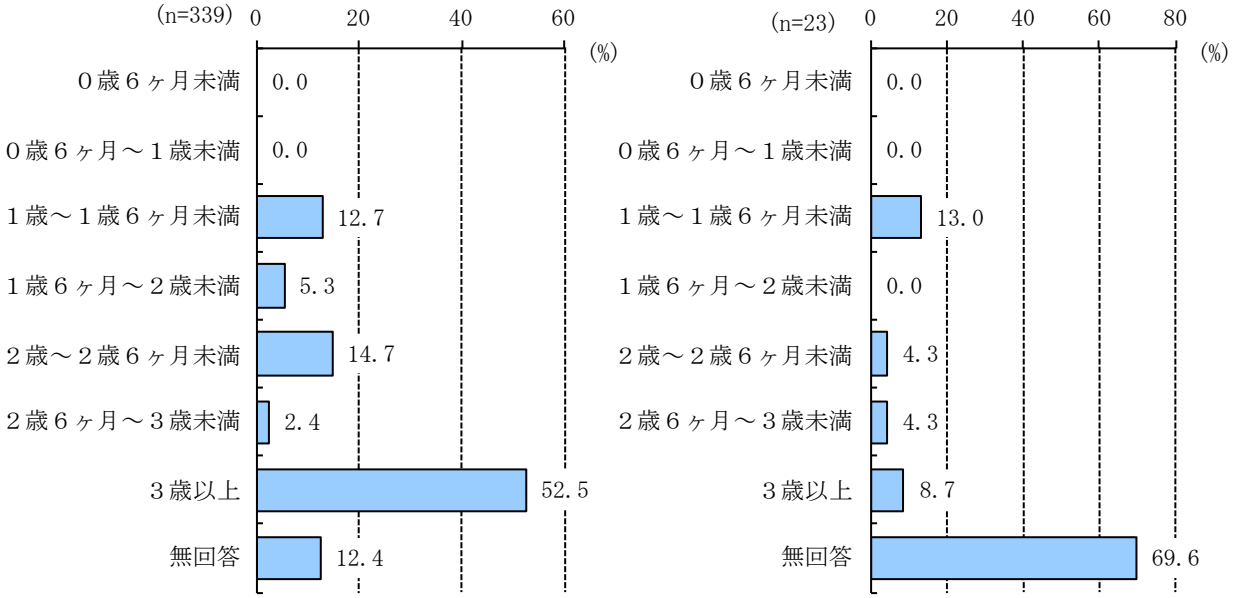
希望の育児休業取得期間をみると、母親では「３歳以上」が 27.7%で最も多く、次いで「１歳～１歳６ヶ月未満」が 23.6%、「２歳～２歳６ヶ月未満」が 11.8%の順となっており、父親では、「０歳６ヶ月未満」が 8.7%で最も多く、次いで「１歳～１歳６ヶ月未満」と「２歳～２歳６ヶ月未満」が同率の 4.3%となっている。

（５）３歳まで育児休業が取得できる場合、いつまで取得したいか

問３７－５　お勤め先に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

【母親が希望する育児休業取得期間】　　【父親が希望する育児休業取得期間】

※育児休業取得後に職場復帰した人



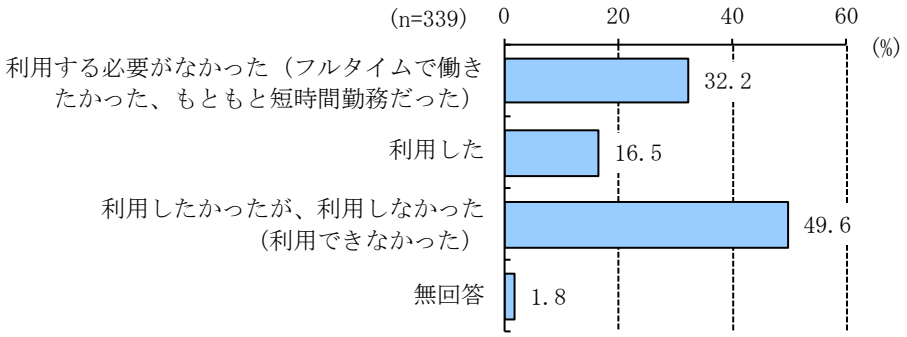
３歳まで育児休業が取得できる場合の希望する育児休業取得期間をみると、母親では「３歳以上」が 52.5%で最も多く、次いで「２歳～２歳６ヶ月未満」が 14.7%、「１歳～１歳６ヶ月未満」が 12.7%の順となっており、父親では「１歳～１歳６ヶ月未満」が 13.0%で最も多く、次いで「３歳以上」が 8.7%、「２歳～２歳６ヶ月未満」と「２歳６ヶ月～３歳未満」が同率で 4.3%の順となっている。

（６）短時間勤務制度の利用状況

問３７－６　育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

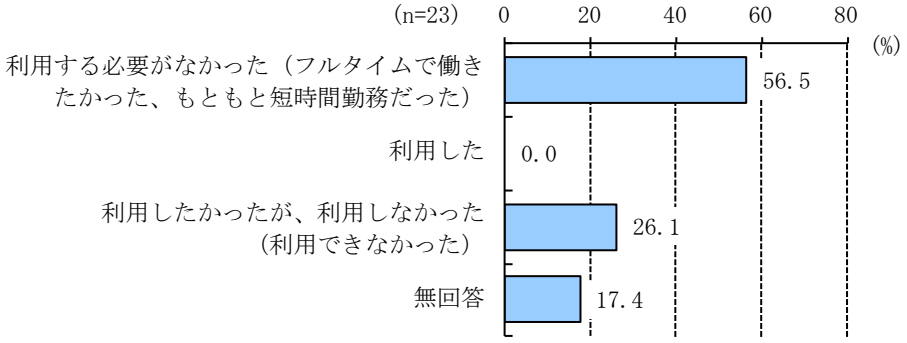
【母親の短時間勤務制度の利用状況】

※育児休業取得後に職場復帰した人



【父親の短時間勤務制度の利用状況】

※育児休業取得後に職場復帰した人

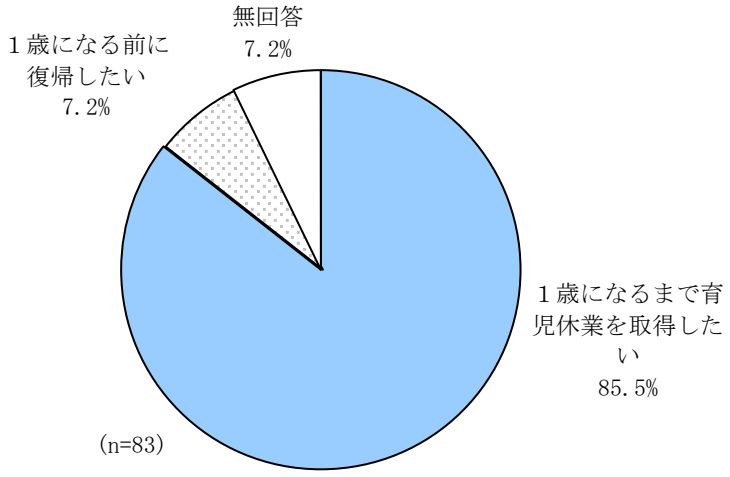


短時間勤務制度の利用状況をみると、母親では「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が 49.6%で最も多く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が 32.2%、「利用した」が 16.5%の順となっており、父親では「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が 56.5%で最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が 26.1%、「利用した」が 0%の順となっている。

（７） １歳で必ず事業が利用できる場合の育児休業取得希望

問３７－７	問３７－２で「２.現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。お子さんが１歳になるまでに必ず利用できる事業があれば、１歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても１歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

【１歳で必ず事業が利用できる場合の母親の育児休業取得希望】
※現在も育児休業中の人

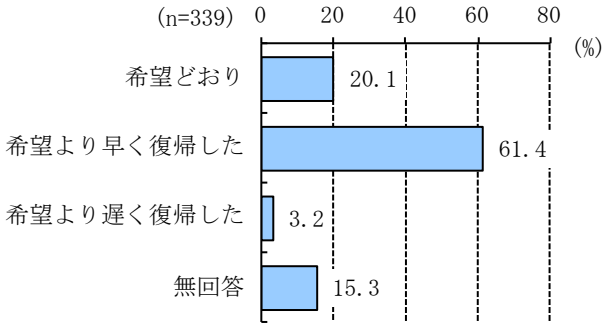


１歳で必ず事業が利用できる場合の育児休業取得希望をみると、母親では「１歳になるまで育児休業を取得したい」が 85.5%と大半を占め、「１歳になる前に復帰したい」が 7.2%となっている。（父親は、回答者なし。）

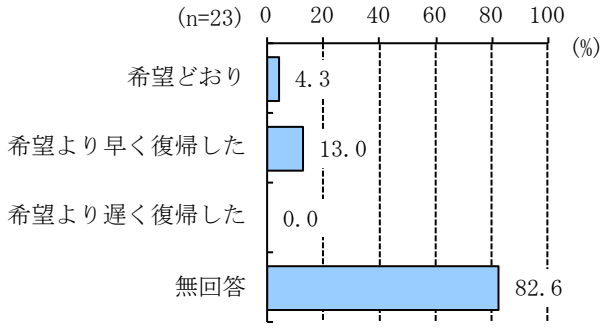
（８）育児休業後、希望の時期に職場復帰しなかった理由

問３７－８	問３７－４で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

【母親は育児休業を希望通りに取得できたか】



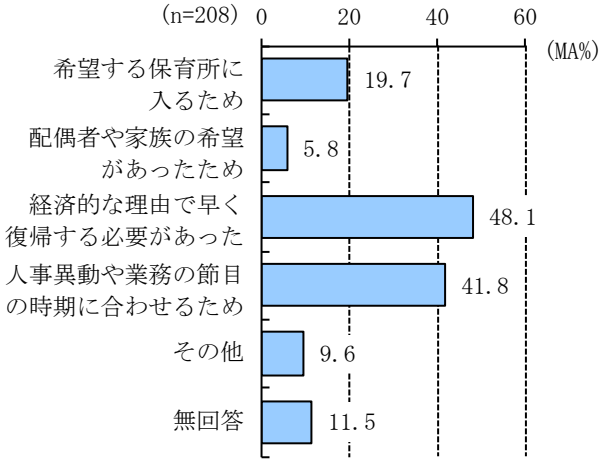
【父親は育児休業を希望通りに取得できたか】



育児休業を希望通りに取得できたかをみると、母親では「希望より早く復帰した」が 61.4%で最も多く、次いで「希望どおり」が 20.1%、「希望より遅く復帰した」が 3.2%の順となっており、父親では「希望より早く復帰した」が 13.0%で最も多く、次いで「希望どおり」が 4.3%、「希望より遅く復帰した」が 0%の順となっている。

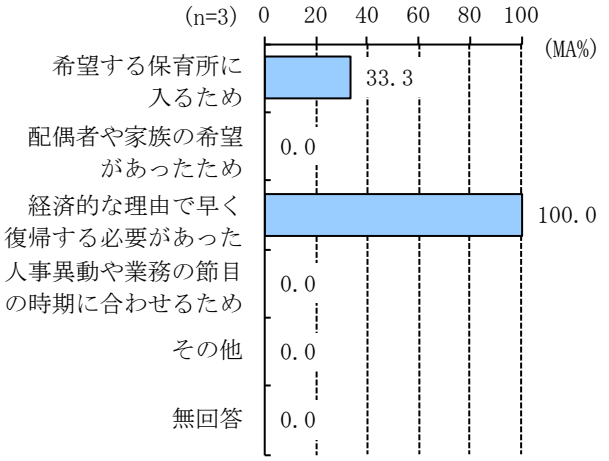
【母親が希望より早く職場復帰した理由】

※希望より早く職場復帰した人



【父親が希望より早く職場復帰した理由】

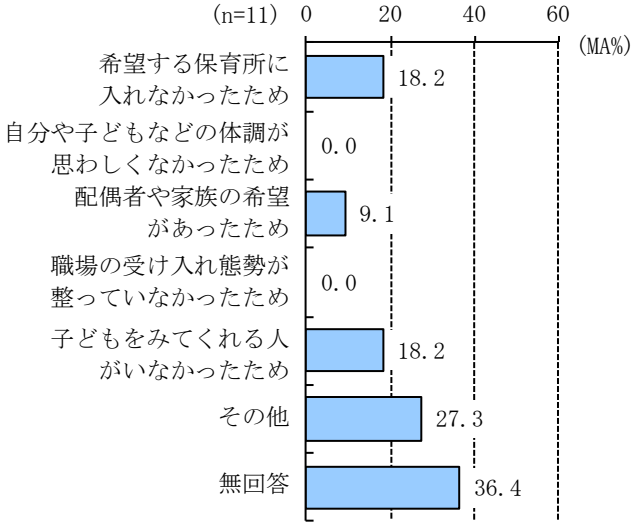
※希望より早く職場復帰した人



希望より早く職場復帰した理由をみると、母親では「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 48.1%で最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 41.8%、「希望する保育所に入るため」が 19.7%の順となっており、父親では「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 100%で最も多く、次いで「希望する保育所に入るため」が 33.3%となっている。

【母親が希望より遅く復帰した理由】

※希望より遅く復帰した人

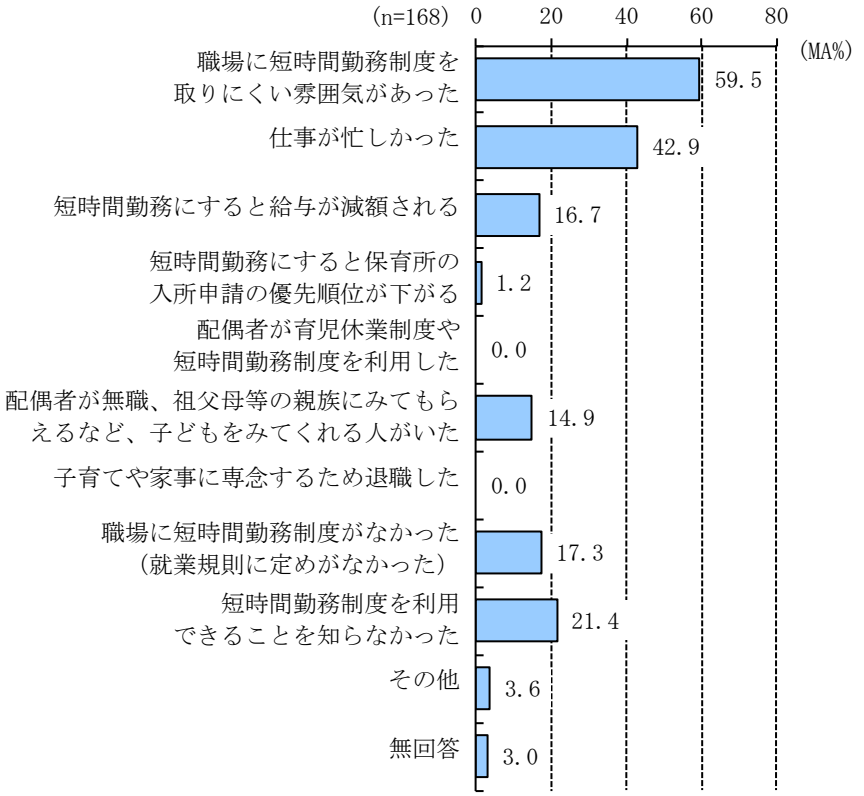


希望より遅く職場復帰した理由をみると、母親では「その他」が 27.3%で最も多く、次いで「希望する保育所に入れなかったため」と「子どもをみてくれる人がいなかったため」が同率の 18.2%、「配偶者や家族の希望があったため」が 9.1%の順となっている。(父親の対象者はなし。)

（９）短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由

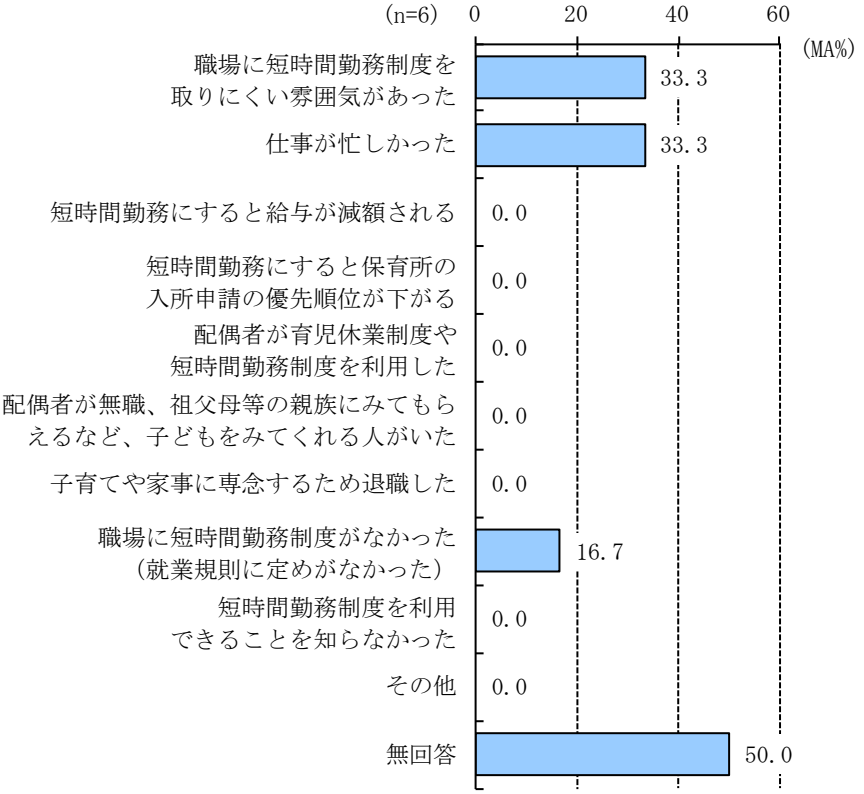
問３７－９　問３７-６で「３.利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった)」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

【母親が短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由】
※短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）人



母親の短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由をみると、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 59.5%で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が 42.9%、「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」が 21.4%の順となっている。

【父親が短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由】
※短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）人

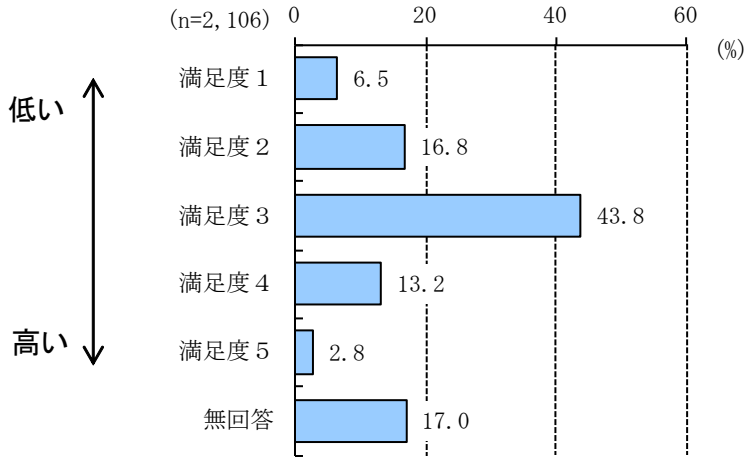


父親の短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由をみると、「職場に短時間勤務制を取りにくい雰囲気があった」と「仕事が忙しかった」が同率の 33.3%で最も多く、次いで、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が 16.7%の順となっている。

(10) 地域の子育て環境に対する満足度

問３８　お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に１つに○をつけてください。

【地域の子育て環境に対する満足度】



地域の子育て環境に対する満足度をみると、「満足度３」が 43.8%で最も多く、次いで「満足度２」が 16.8%、「満足度４」が 13.2%の順となっている。

(11) 自由記述

問３９　最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

◆ 行政への要望について

内容	件数
支援内容や利用の仕方がわからないのでパンフレットを配布するなど情報提供、積極的な利用案内をしてほしい。	14
アンケート内容がわかりづらい。	4
アンケート内容に必要性を感じない、費用がもったいない。	4
こういったアンケートは定期的に実施し、結果を活用してほしい。	3
田辺市には感謝しています。これからも田辺市全体の環境が計画的に整備されることを望む。	3
親にアンケートを出すのであれば、保育士にもアンケートをするべきだ。	2
検診時に指摘をされたが、その後のケアがない。	2
育児休業給付や保険料免除について等を知る機会をもっと設けてもらえるといいのかなと思う。	1
市民総合センターを利用するのに、駐車料金がかかるのは変だと思う。	1
子どもを育てやすい環境でないと若い人が町へ出ていってしまい過疎化が進んでしまうと思うので改善してほしい。	1
発達障害を持っている子どもへの世間の理解と、そういった子が通えるスポーツ教室のようなものがほしい。	1
保育所への入所によって生活が変わるということを理解した上で、うわべだけでない真剣な入所審査をしてほしい。	1
幼稚園等に通わすことで安心して任せることができているので、“子育て支援”は入園前の子ども達に重点をおいて行ったほうがよいと思う。	1
土日祝日勤務についている。行政は全てにおいて「平日」が基本なのでなんとかしてほしい。	1

◆ 子育て支援について

内容	件数
病児・病後児保育のできる施設を増やす、時間を延長するなど利用しやすい状況を作ってもらえると助かる。	14
土日祝日も親は仕事の場合が多いので、子どもを預けられる施設を充実させてほしい。	10
同じ年頃の子を持つ親の交流は、いろいろな情報がもらえ、意見交換もできる。ただ話をするだけでもリフレッシュでき、子育てには大切ものである。	6

◆ 子育て支援について

内容	件数
支援に頼りきってばかりの親が増え、親としての意識が少なくなっているような気がする。支援は本当に必要な人が利用できるようにしないといけないと思う。	5
近くに毎日開放していて好きな時に利用できる支援センターがほしい。	4
いろいろな支援を利用したいが、料金が高いので利用できない。	4
預かり保育を１日単位からの申し込みにしてほしい。	3
急な子どもの預かりが可能な施設があれば助かる。	2
子どもを預けるのにかかる手続きが大変で使いにくい。	2
親の仕事中に安心して預けられる施設がほしい。	2
気軽に利用できる支援センターがあり、職員の方の助けや同じ年頃の子を持つ親同士の交流がもて、子育ての不安が減り助かった。	2
子どもが通える習い事やイベント事がほしい。	2
家事のお手伝いをお願いできる支援があると助かる。	2
子育て支援を充実させて、親が安心して働ける環境づくりを期待している。	2
就学前後の子どもを一緒にあずかって頂けるととてもありがたい。	1
子どもにアトピーアレルギーがあったので自宅で見て頂ける事業がいくつかあったら良かったと思う。	1
障害のある子でも気軽に預けられるところがあれば助かる。	1
長期間の夏休みなど、子ども達が集まって遊べる場所があると嬉しい。	1
学校の参観日など、下の子を見てくれるところがあればと思う。	1
働いているので、できるだけ長い時間みていただけると助かる。	1
図書館での読み聞かせなどありがたい。	1

◆ 保育施設について

内容	件数
保育施設の定員を増やすなどして待機児のないようにしてほしい。	8
認定こども園があれば助かる。	8
０歳～２歳児を預けられる施設、定員の数を増やしてほしい。	7
土日祝日も子どもを預かってくれる保育施設があると助かる。	6
市立幼稚園を３年保育に延長してほしい。	6
兄弟姉妹は同じ保育施設に通えるように配慮してほしい。	6
子どもの預かり時間を延長してほしい。	5
保育施設に保育士、幼稚園教諭等を増員、質の向上を図ってほしい。	5
就労中でなくても仕事を探す、復帰するために保育所の入所を認めてほしい。	5
保育料を安くしてほしい。	4
保育料を無料にしてほしい。	4

◆ 保育施設について

内容	件数
収入により保育料が決まるのはおかしい。	4
食物アレルギーで保育施設の給食が食べられないため弁当を持参しているのに、給食代を含んだ保育料を支払うのには納得しがたい。	2
私立幼稚園補助制度は助かっているので、今後も継続してもらえるとありがたい。	2
同じ保育施設で病児保育ができるようにしてほしい。	2
保育施設の保育士の異動等入れ替わりが激しいので長くいてもらいたい。	2
保育士、幼稚園教諭は、子どもを平等に扱い丁寧な言葉使いで接してほしい。	2
どこまで望めるかだが、子どもの成長は一人一人違うので個々に応じた支援や保育をお願いしたい。	2
１時間 500 円くらいで預かってくれる夜間の保育所があれば良いと思う。	1
保育所もバスの送迎があればいいと思う。	1
保育所も幼稚園に劣らないぐらい教育に力を入れてもらいたい。	1
保育施設の遊具をプラスチック性のものに替えていってもらうことはできないか。	1
紫外線が小さな子どもの目や皮膚に与えるダメージについて、もう少し周知させる運動があればと思う。	1
親の都合で保育施設を決めるのではなく、子どもに聞いてあげる環境になればもっと楽しく過ごせるのではと思う。	1
保育園と幼稚園の特長の違いを知る機会があってほしいと思う。	1
幼稚園や保育所の一般開放を増やしてほしい。	1
仕事の形態が複雑化する中で多様な保育環境が整うと良いと思う。	1
もっと保育園の数を増やしてほしい。	1
保育所での一時預かりを実施して頂きたい。	1
３歳までは母親のもとでと考えるので、各家庭の事情もあると思うが、保育入所基準を見直すべきだと思う。教育・保育の環境の充実は良いことだと思うが、保護者が子育ての第一義的責任があることを前提というのを厳しくし、３歳までは家庭で育児しやすい環境作りを支援すべきだと思う。	1
通っていた保育園では、細かく気を付けていただけたので、相談したいことがある時はお世話になった保育士に相談したいと思っている。	1
保育所も一律にしてほしい。	1
保育園での食べ物に関して、米は地元の生産者のものだが、おかずの野菜についてはどこのものかわからない。子どもの放射能汚染についてはできる限りさけたいし、地産地消の面でも地元の食材を使って頂きたい。また、近年では“牛乳の害”が注目され始めているので、できれば牛乳を飲ませるか否かは自由に選択させてほしいため、田辺市で検討して頂ければと思う。	1

◆ 小学校・中学校について

内容	件数
給食ではない地区や行事等で給食がなくなったり、アレルギーにも対応してもらえるよう学校給食を充実させてほしい。	3
休日が多すぎるし、平日の詰め込み授業だと集中力もなくなると思うので土曜日の授業の復活を望む。	2
放課後に、子ども教室や民間に学校を解放していろいろな習い事を学べるようにしてほしい。	2
子どもの数が減少していく中で学校の統合等も視野にいれ、学力の向上、人にもまれ成長できる心の教育を図ってほしい。	2
小学校のトイレにもっと洋式を増やしてほしい。	1
少人数制にして先生も低学年のクラスには２人体制にしてほしい。	1
校区内ギリギリの地域や通学路の安全の為にどちらの学校に行くか選ぶことができれば良いと思う。	1
小学校のカウンセリングで疑問を持った。他校との交流等により広い知識で対応してほしい。	1
「いじめ」が心配なので、学校に警察官みたいな人を配置して監視してもらいたい。	1
教室にクーラーは無理でも扇風機くらいは設置していただきたい。	1
英会話を本格的に習わせたいので、アメリカンスクールみたいな所がほしい。	1
小学校低学年のうちは学校を終えてから学校でみてもらえると、仕事が終わってから迎えに行く事もでき安心なので考えてほしい。	1
学校まで遠いのでスクールバスの送迎があればありがたい。	1

◆ 学童保育について

内容	件数
学童保育の希望者は皆通えるよう充実させてほしい。	10
学童保育をもっと利用しやすい料金にしてほしい。	6
学童保育を地域に作ってほしい。	4
夏休み等長期休み期間だけでも利用できる学童保育にしてほしい。	4
学童保育の利用年齢を延長してほしい。	3
学童保育の利用時間を延長してほしい。	2

◆ 経済的支援について

内容	件数
医療費補助制度、医療費無料化を小学校卒業までにしてほしい。	17
医療費補助制度、医療費無料化を中学卒業までにしてほしい。	11
サービスを利用したいが高くて利用できないので、負担を減らせるよう補助をしてほしい。	6

◆ 経済的支援について

内容	件数
予防接種の補助をお願いしたい。	5
乳幼児医療費受給、医療費無料化を延長してほしい。	3
妊娠中も子育て中とみなし、資金的援助をしてほしい。	2
扶養手当が少しの所得制限オーバーでなくなるのは大変苦しい。	1
第３子における子育て支援の年間 15,000 円までのでは補助は不十分。	1

◆ 遊び場について

内容	件数
近くに子どもが遊べる公園等がない。	15
天候に左右されず遊べる室内の施設が少ない。	14
子どもが安心して遊べる遊具等を設置してほしい。	4

◆ 地域環境について

内容	件数
地域での交流を深め、お互いが助け合える環境になれば安心。	2
登下校の際など、挨拶や見守り体制ががあれば良いと思う。	2

◆ 地域整備について

内容	件数
歩道が少ないので、通学路など整備をしてほしい。	5
公園のごみやペットの糞があり安心して遊ばすことができない。	2
駅前に子どもに役立つ施設を誘致してほしい。	1
街灯がなく暗いところが多いように思う。	1

◆ 職場環境について

内容	件数
子どもを持つ親の働き方を理解してもらえる環境制度への支援をお願いしたい。	6
親が仕事を休んで子どもをみれるような環境になってほしい。	5
父親が子育てに参加できる環境を作ってほしい。	2
事業所保育施設がある勤務先で働きたいので、そういう施設を会社が導入しやすくなったらうれしい。	1

◆ その他

内容	件数
特になし。	5
アレルギー性鼻炎や喘息のある子どもがいるので、たき火の煙に迷惑している。	2

◆ その他

内容	件数
子どもが将来偏見を持たないよう学級内に障害を持つ子がいる・いないに関わらず、皆に教えてほしい。障害児支援についても、一般の幼・保育園に在籍しつつ通所支援が受けられる…など、療育＝コミュニティとの分離にならないようになんとか出来ないだろうか。	1
子どもとの時間の持ち方は人それぞれであるし、祖父母の生活も多様化して孫の面倒をみたいと思う方も少ないのではないかと思う。母、父になる事ができた人の希望に近い子育てができると良いなと思う。	1
幼稚園以外の子どもを見て頂けるサービスを利用していることを知られたら、周りからどういう目で見られるのだろうか？という心配がある。	1
子ども達を安心してのびのびと育てられる社会。	1
第二子が３歳になった時に復帰を考えているが、夜勤もあり、家事・育児と仕事が両立できるか不安。復帰までに保育事業について調べておきたいと思う。	1
不満だらけで、書ききれない。	1
自転車でしか移動手段がなく、場所や天候で参加できないので、参加する事を予定に入れなくなっている。	1

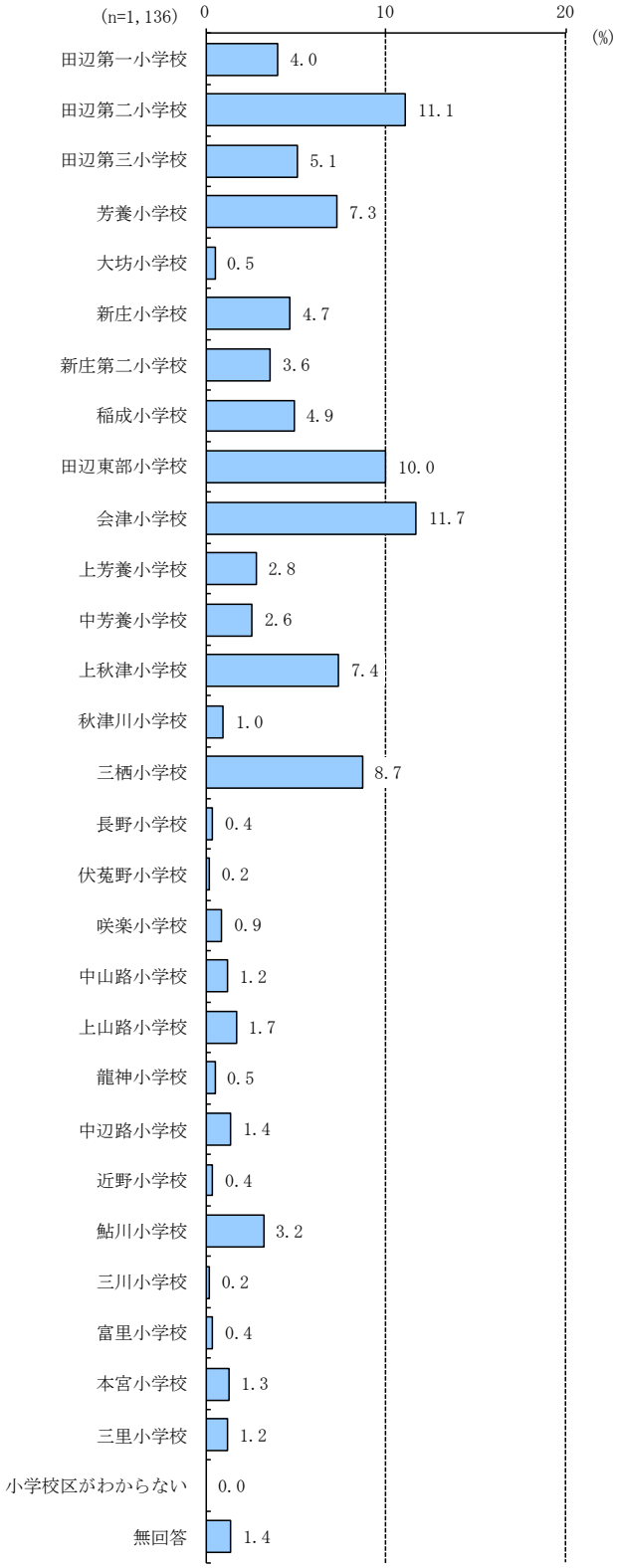
Ⅲ　調査結果・小学生児童

Ⅲ　調査結果・小学生児童

１．世帯及び子どもの基本属性

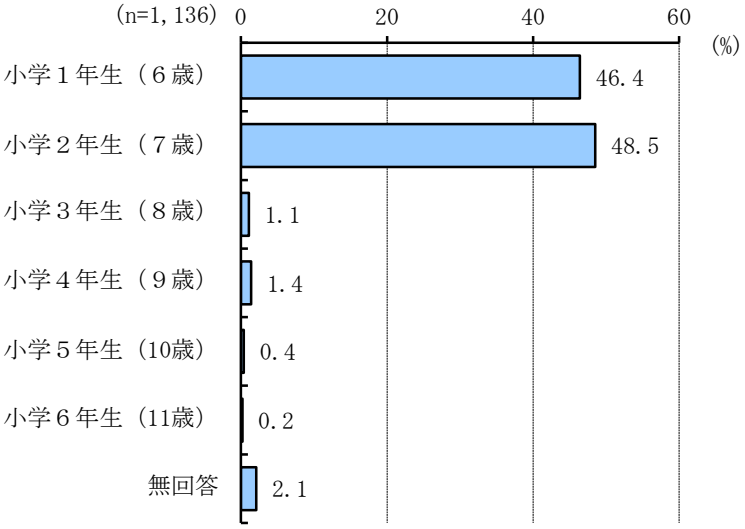
（１）居住地域（小学校区）

【居住地域（小学校区）】



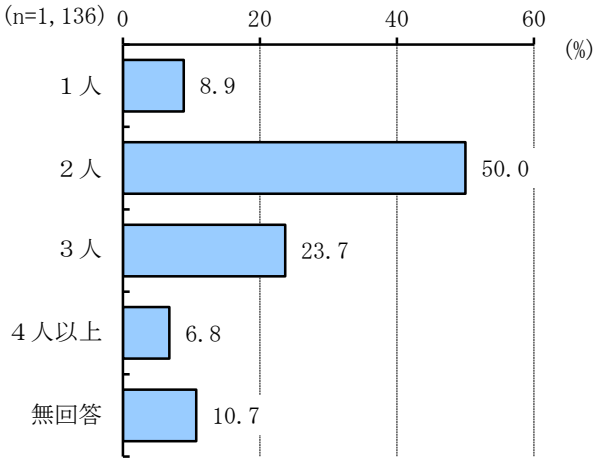
（２）子どもの年齢

【子どもの学年】

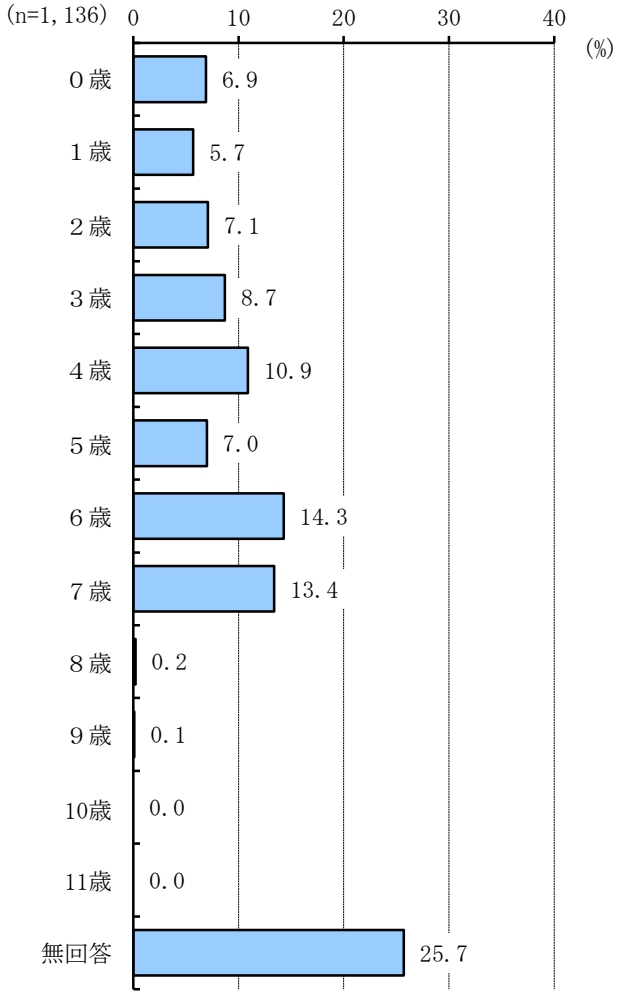


（３）子どもの数、末子の年齢

【子どもの数】

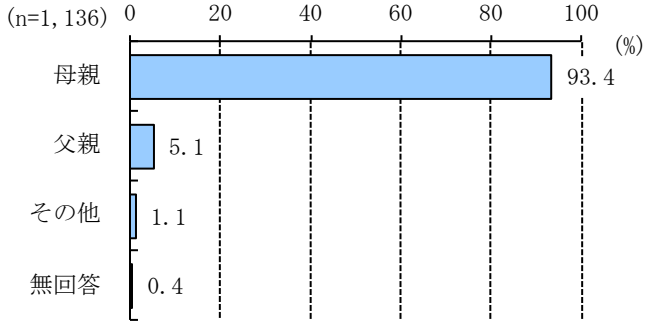


【末子の年齢】



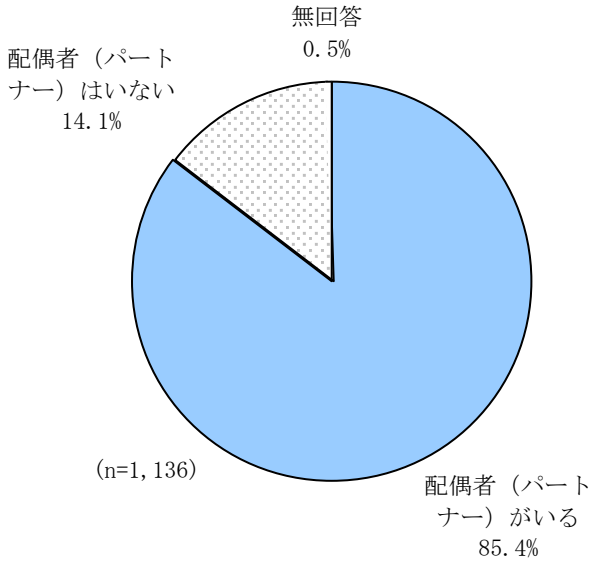
（４）調査回答者

【調査回答者】



（５）記入者の配偶者（パートナー）の有無

【記入者の配偶者（パートナー）の有無】

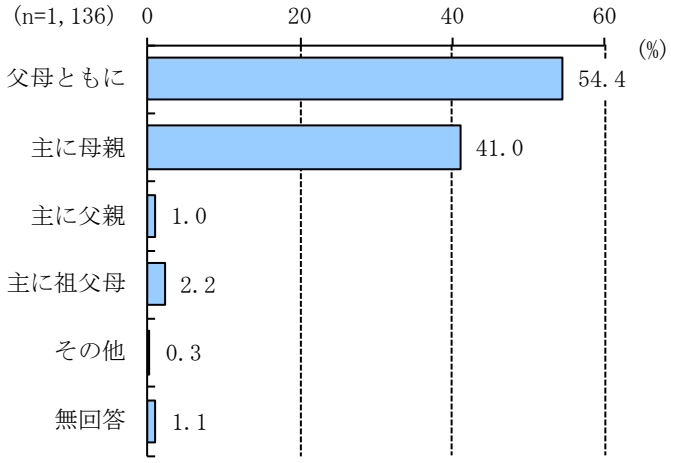


２．子どもの育ちをめぐる環境について

（１）子育てを主に行っている人

問６　お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号１つに○をつけてください。

【子育てを主に行っている人】

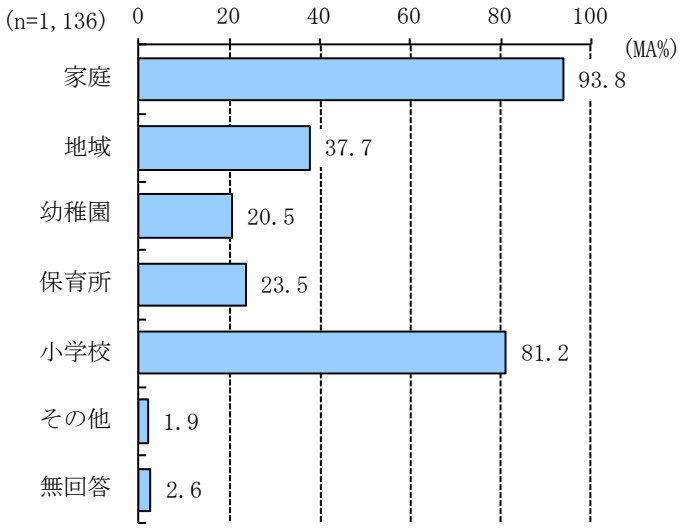


子育てを主に行っている人をみると、「父母ともに」が 54.4%で最も多く、次いで「主に母親」が 41.0%、「主に祖父母」が 2.2%、「主に父親」が 1.0%の順となっている。

（２）子育てに影響すると思う環境

問７　お子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

【子育てに影響すると思う環境】

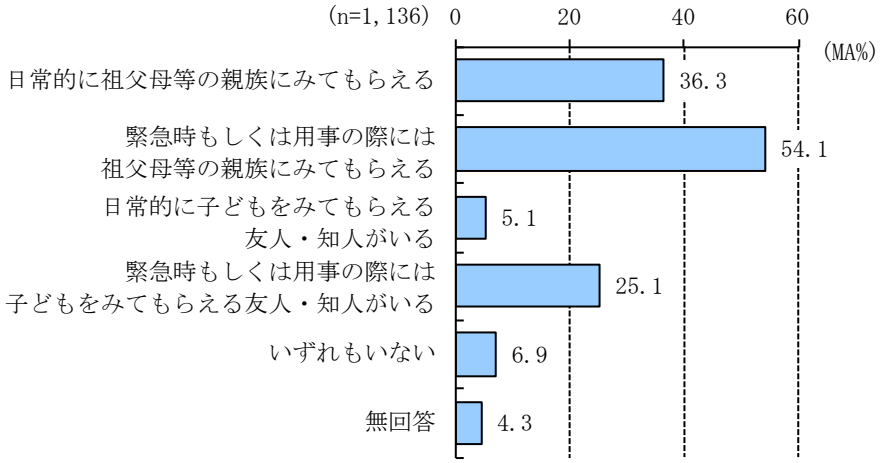


子育てに影響すると思う環境をみると、「家庭」が 93.8%で最も多く、次いで「小学校」が 81.2%、「地域」が 37.7%の順となっている。

（３）子どもを預かってもらえる親族、友人・知人の有無

問８　日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

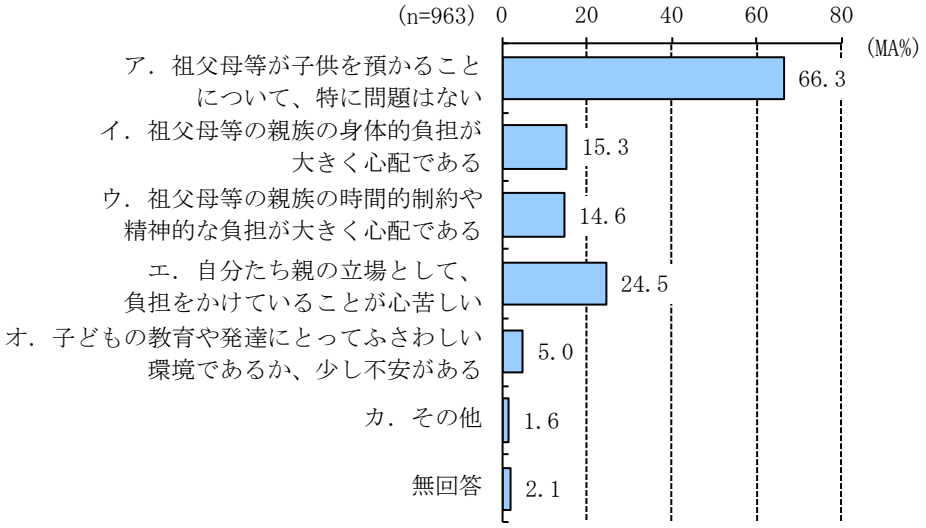
【子どもを預かってもらえる親族、友人・知人の有無】



子どもを預かってもらえる親族、友人・知人の有無をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 54.1％で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 36.3％、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 25.1％の順となっている。

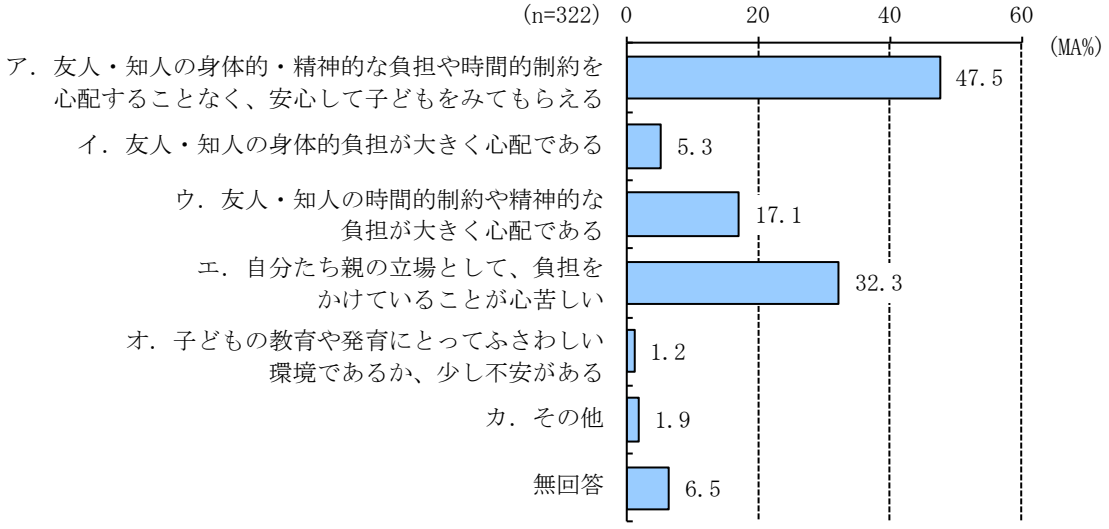
（４）子どもを預かってもらうことに関する状況

【親族に子ども預かってもらうことに関する状況】



親族に子どもを預かってもらうことに関する状況をみると､「祖父母等が子供を預かることについて、特に問題はない」が 66.3%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 24.5%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が 15.3%の順となっている。

【友人・知人に子ども預かってもらうことに関する状況】

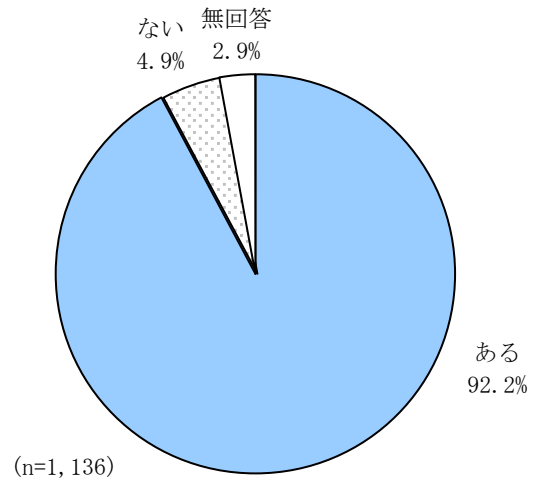


友人・知人に子どもを預かってもらうことに関する状況をみると、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 47.5%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 32.3%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 17.1%の順となっている。

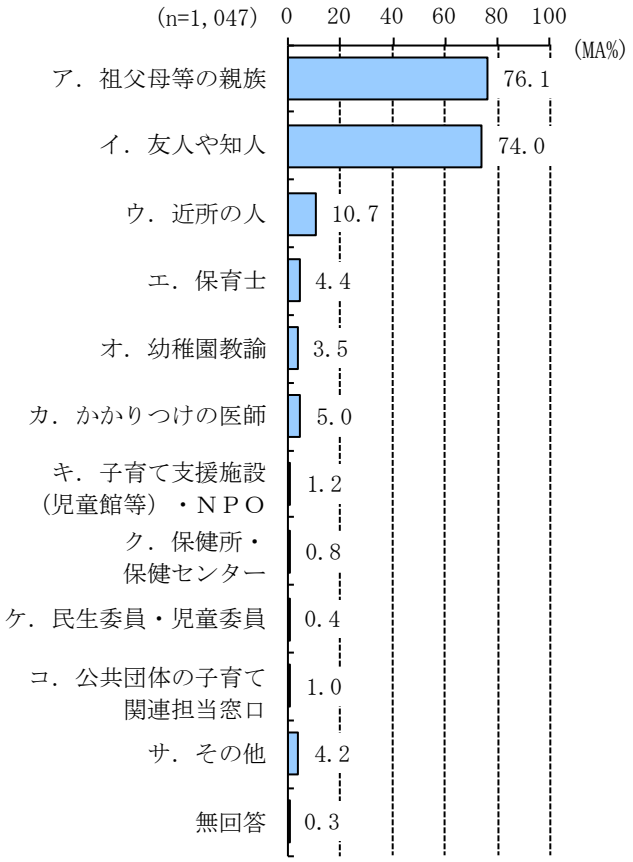
（５）子育てに関する相談先の有無、相談相手

問９　お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気楽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

【子育てに関する相談先の有無】



【子育てに関する相談相手】



子育てに関する相談先の有無をみると、「ある」が 92.2%、「ない」は 4.9%となっている。

子育てに関する相談相手をみると、「祖父母等の親族」が 76.1%で最も多く、次いで「友人や知人」が 74.0%、「近所の人」が 10.7%の順となっている。

（６）あればよいと考える子育てサポート

問１０　子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

◆ 相談支援の充実

内容	件数
何でも話せて、気軽に相談ができる環境があればうれしい。	7
身近な人には相談しにくくても他人になら話せるというような相談の窓口があれば助かる。	2
相談事がないか定期的に訪問、声掛けをしてほしい。	2
経験豊富な専門家に相談できるがところがほしい。	2
問題があって相談しているのだから、家にかけつけるくらいの対応をお願いしたい。	2
24 時間 365 日、いつでも相談できる窓口がほしい。	2
幼稚園や小学校等で、気軽に相談にのってもらえる場を設けてもらえたらいいと思う。	1
個別相談。	1

◆ 情報提供支援の充実

内容	件数
行われている子育てサポートやサークル等の詳しい情報の入手方法がわからない。	3
一時預かり保育等のしくみがわからないのでお願いするのをためらう。情報があまり無い。	1
行政として何ができるのか、きちんと理解して対応してほしい。	1

◆ 子育てサークル支援の充実

内容	件数
子育て中の親の交流の場、講演会や話し合いのできる会などがあるとうれしい。	7

◆ 経済的支援の充実

内容	件数
医療費の負担無料を小学生までに拡大してほしい。	5
医療費補助制度、医療費無料化を中学卒業までにしてほしい。	3
医療費補助がほしい。	3
サポート利用に対して補助がほしい。	3
給食費他学校で使うものを無料にしてほしい。	2
３人目の保育料は無料にしてほしい。	1
仕事を休んだ分の金銭面でのサポートがあればうれしい。	1

◆ 学習支援の充実

内容	件数
放課後に、補修等勉強を見てもらえるサポートがほしい。	2
勉強や宿題をみてくれるところがほしい。	2
放課後に学校で宿題をして帰れるサポート。	1
義務教育の間はちゃんと学習支援をしてほしい。	1
身近に図書館や児童館のような自由に勉強したりする場が無い。	1
外部の識者の講演・授業などをとりいれてもよいのではないか。	1

◆ 子どもの預かりについての支援の充実

内容	件数
学童保育を高学年でも利用できるようにしてほしい。	14
緊急時に子どもを見てもらえるサポートがあれば助かる。	10
学童保育を開設してほしい。	9
気楽に預けられる、みてもらえる施設があると良い。	6
夏休み等長期休暇時にも学童保育を実施してほしい。	4
学童保育の充実を図ってほしい。	4
学童保育の時間延長をしてほしい。	4
土日祝日も子どもを預かってもらえる所があると助かる。	4
安い料金で数時間子どもをみてもらえるサポート。	4
親の体調不良時や他の子どもが病気の時等子どもを見てくれるサポートがほしい。	3
保育時間の延長をしてほしい。	3
土曜、日曜も学童保育を実施してほしい。	3
放課後子ども教室をとり入れてほしい。	3
放課後に安心して過ごせる施設があればよい。	3
１日単位で学童保育の利用ができるようにしてほしい。	2
緊急時、低価格で子どもを預けられるサポート。	2
仕事に行っている間安心して預けられるところがほしい。	2
市の一時預かり所。	2
自宅で子どもをみてもらえるサービス。	2
学校・保育園・学童など人数など増やしてサポートしていただきたい。	1
低料金で、土、日、祝日の預かりに家まで迎えに来ていただけたらありがたい。	1
夜間託児所の設置	1
教育相談員や教員資格者の配置等児童館の充実。	1
保育園なみの幼稚園の預かり時間の延長。	1

◆ 病児・病後児保育支援の充実

内容	件数
子どもが病気になった時等に預かってくれる施設があれば安心。	19

◆ 習い事等の支援

内容	件数
現在も習い事（習字やサッカー）など低価格でできるものをセンターなどで実施されているが、もう少し本格的に習えるものがあればいいなと思う。	1
以前は会館で珠算教育が行われていたが今はない。近くにあれば良いと思う。	1
地域の継続した活動（地域野球やサッカー等）の参加が難しい。活動別に１日サポートしてくれる人がいればありがたい。	1
地域の会館などで「そろばん」や「習字」などボランティアの方や安く教えてくれる方がいると助かる。	1
学校の授業以外で、色々な事を学ぶ機会を平等に子供に与えて頂きたい。	1
お寺や公民館などで、そろばん教室や、習字（硬筆等）教室等があれば有難い。	1
未就園児のサークルは見かけるが、小学生でも参加できる無料又は格安なサークル（スポーツ等）があればいい。	1

◆ 遊び場の充実

内容	件数
子どもが安全に遊べるように公園等を整備してほしい。	4
近くに公園がなく、子どもが遊ぶ場所がない（少ない）。	2
雨の日の遊び場がないに等しい為、そういう場所を考えてほしい。	1
遊び場の提供や保護者への指導や呼びかけ。	1
皆で外遊びすること、自然のふれあいから情緒を育てていくような取組みがあればいいなと思う。	1
子供が２～３歳までは親が常についていなければならないので、とれとれ市場内の遊び場の様な場所があれば他のお母さんたちとも喋れ子どもも広大とした所で遊べ助かる。	1
公民館や児童センターなど、近くではないため平日は利用しにくい。近くにこのようなところがあればいいのになと思う。	1
土曜日だけでもいいので、子ども達も親も安心して遊び学べる所があればたいへんありがたい。	1
ひとりで子どもを見ていて、いっぱいいっぱいになった時、子どもと出かけられる所があればすごく助かると思う。そこに、相談員の方がいてくれるともっと助かる。	1

◆ **地域環境の充実**

内容	件数
子どもの登下校時の見守りや声かけがある環境に感謝している。	5
地域の人が皆で子育てをしているように、悪いことをすれば注意したり、諭したりしてもらいたい。	4
あいさつや声掛けができる近所づきあいが良い環境をうむと思う。	3
皆が得るものがあると思うので、子ども達と地域のお年寄りやハンデのある方との交流をつくることが良いと思う。	3
子どもが気を許して話が出来る人、環境。両親が息ぬきをするための時間を作れる環境。	1
親と子ども、学校と家庭のワンクッションとなってほしい。	1
気軽にお手伝いなどが頼め、勉強や季節の行事などを教えてくれる環境があればと思う。	1
祖父母、近所の人には甘えることが大切。出身地等の確認で実家が遠くサポートが必要だとわかると思う。	1
地域のこども会が時代にあっていない。必要であれば、みんなが入るようにすべきである。	1
夏休み等に子どもが気軽に出入りできる所を近所のボランティアの方が提供してくれると助かる。	1
子どもクラブの参加減少により地域の交流も減っている。父親が参加できる環境が整えばまた賑やかになると思う。	1
道徳、倫理感のばらつきを感じ、最低限度必要とされるものが身につけられるような働きが、家庭外からも必要だと思う。	1
自分に足りないところをフォローしてくれるサポートがあればと思いう。	1
家族、近所、友達とのコミュニケーションがとれていれば、子育ても楽しく出来ると思う。	1

◆ **職場環境の改善**

内容	件数
子どもの病気等で休む時に理解を得られればありがたい。	2
会社内に託児所があればうれしい。	1
父親が子どものために休みを取りやすい環境。	1
子育てにはお金が必要なので、午前中だけの仕事があれば、教えてほしい。	1

◆ その他

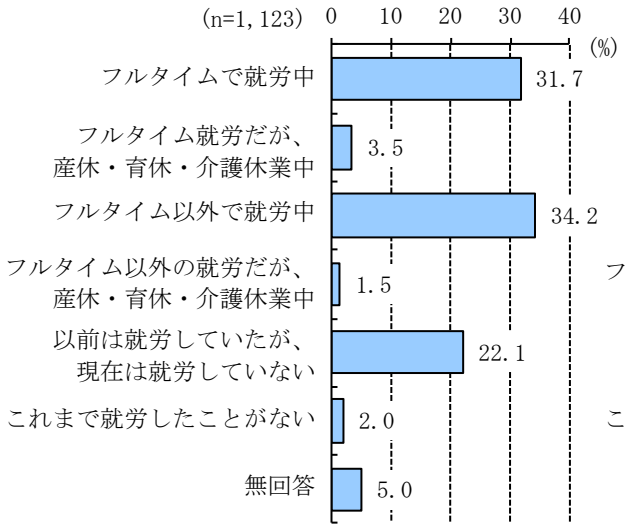
内容	件数
特になし。	6
思いつかない。	3
いじめや道徳についてもっとサポートがあればいいと思う。	2
今の環境に満足している。	2
期待していない。	2
学校の先生に子どもの相談等をするのは対応が心配で気が引ける。	2
市の休日診療の様に市から小児科病院に当番制などで夜間も開けてくれる所があると助かる。	1
わからない。	1
食の安全が失われる中、子ども達の尿検査や給食などの食材の検査など、健全に成長していくためのサポート。	1
子ども達にとって教師は一番影響を与える職業だと思うので、ただの仕事として思わないでほしい。	1
警報が出た時に家まで送り届けてくれるスクールバスがあれば助かる。	1
祖父母に対する現在の子育ての理解などの教育。	1
近所に同級生がいないので、登下校を他の学年の子たちと帰らせたい。	1
幼稚園にも保育所を併設して欲しい。	1
発達障害について知識がなさすぎるので、学校や行政には理解してもらいたい。	1
親がおおらかに子どものやんちゃやそそうを受け入れてほしい。	1
本当に助けてほしい時には自分から行くので、親切の押し売りはやめて見守っていてくれるだけでいい。	1
父親が子育てへの主体性、責任を持つ事で母親の心身的負担も少なくなり、色々な面で効果があるかと思う。	1
子育て施設を増やしてほしい。	1
多くの人が利用する、パビリオンシティや公衆トイレなどに子ども用の補助便座、トイレがあればいいと思う。	1
歩道のない通学路や、学校の耐震等安心して通わせる事の出来る環境の地域にして頂きたいと思う。へき地は田辺市内と比べるとサービスを受けられないので平等に出来る様にして頂きたい。	1
キッズパークやヘルパーさんにお手伝い頂ける事は、とても良い制度だと思う。	1
行政担当者（市民総合センターの職員）は、対応の仕方に個人差があり、事務的処理の人が多いので、もう少し真剣に対応してほしい。	1
現在利用中の子どもの習い事などの送迎、家事のサポートがあれば、働いて帰ってから子どもとの時間が充分にとれる。	1
公民館の部屋をもっと借りやすくしてほしい。	1

３．子どもの保護者の就労状況について

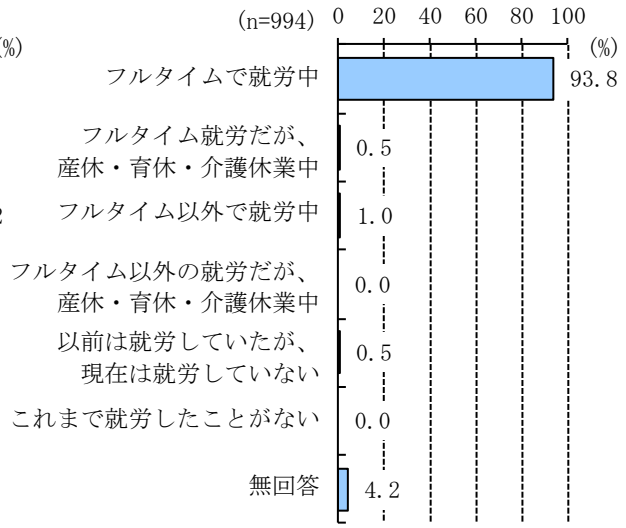
（１）両親の現在の就労状況

問１１　お子さんのご両親のそれぞれ現在の就労状況（自営業、家族従業者含む）について、該当する欄に○をつけてください。

【母親の就労形態】



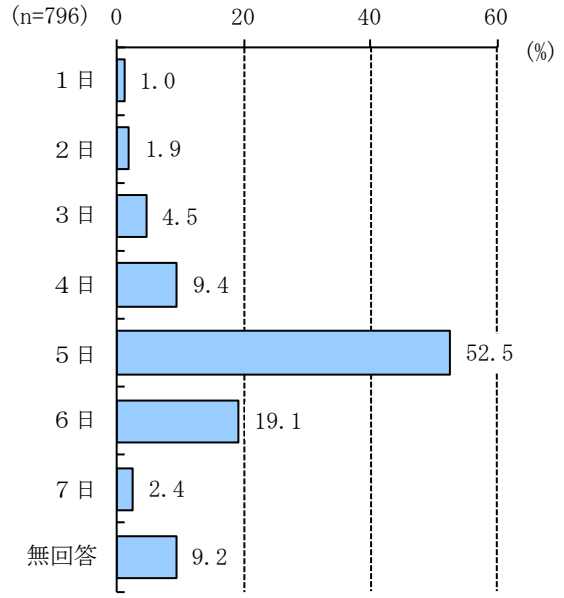
【父親の就労形態】



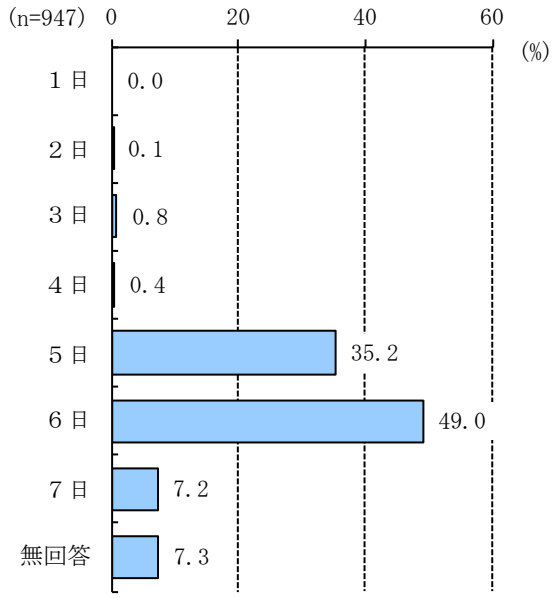
就労形態をみると、母親では「フルタイム以外で就労中」が 34.2%で最も多く、次いで「フルタイムで就業中」が 31.7%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 22.1%順となっており、父親では「フルタイムで就労中」が 93.8%で大半を占め、その他の形態は 1%以下となっている。

問１１－１　就労されている場合は、就労日数や就労時間、家を出る時間と、帰宅時間について、最も多いパターンでお答え下さい。また、就労日数のうち、土曜日、日曜日の就労がある場合には、該当する番号に○を付けてください。なお、休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答え下さい。時間は（例）０９時～１８時のように、２４時間制でお答え下さい。

【母親の就労日数（週あたり）】

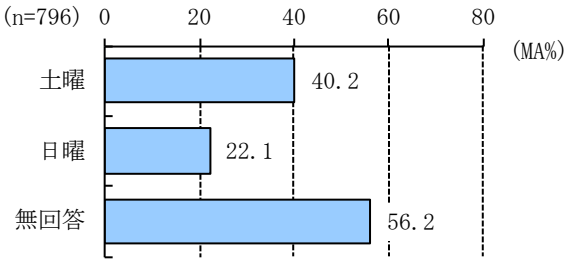


【父親の就労日数（週あたり）】

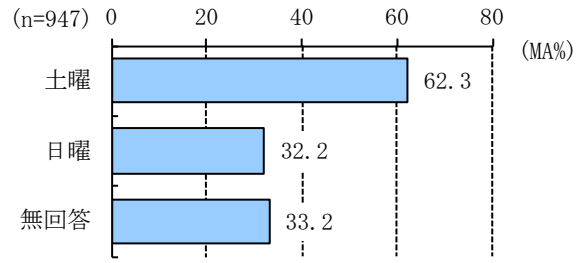


１週当たりの就労日数をみると、母親では「５日」が 52.5%で最も多く、次いで「６日」が 19.1%、「４日」が 9.4%の順となっており、父親では「６日」が 49.0%で最も多く、次いで「５日」が 35.2%、「７日」が 7.2%の順となっている。

【母親の土・日の就労状況】

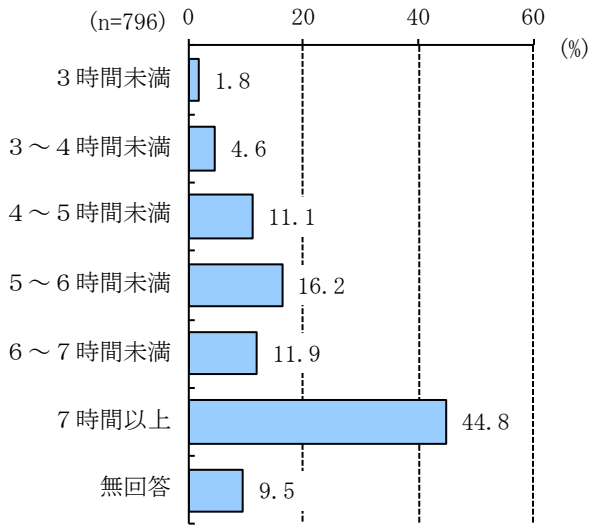


【父親の土・日の就労時間（月あたり）】

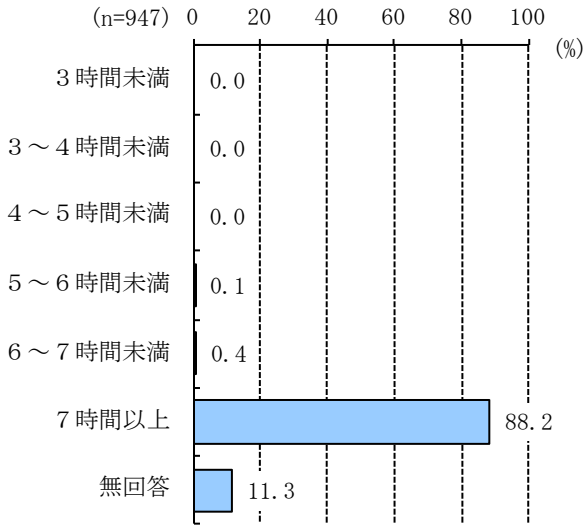


土曜日・日曜日の就労状況をみると、母親では「土曜」が 40.2%、「日曜」が 22.1%となっており、父親では「土曜」が 62.3%、「日曜」が 32.2%となっている。

【母親の就業時間（１日あたり）】

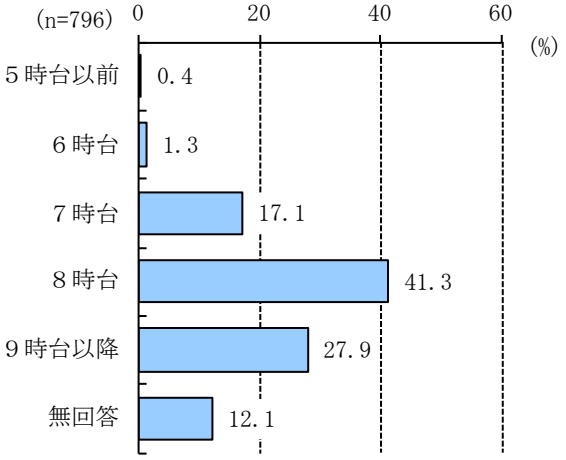


【父親の就業時間（１日あたり）】

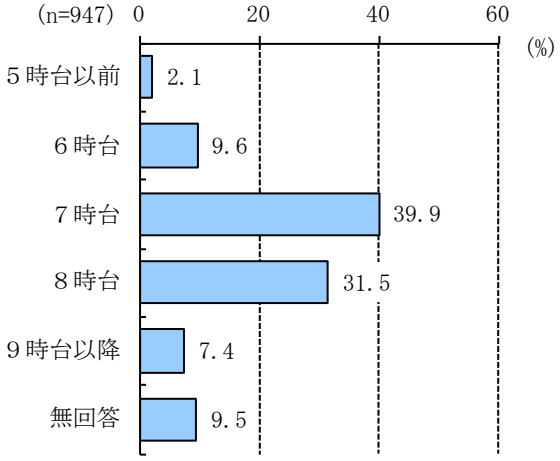


１日当たりの就業時間をみると、母親では「７時間以上」が 44.8%で最も多く、次いで「５～６時間未満」が 16.2%、「６～７時間未満」が 11.9%の順となっており、父親では「７時間以上」が 88.2%で大半を占め、その他の時間は 1%以下となっている。

【母親の家を出る時間】

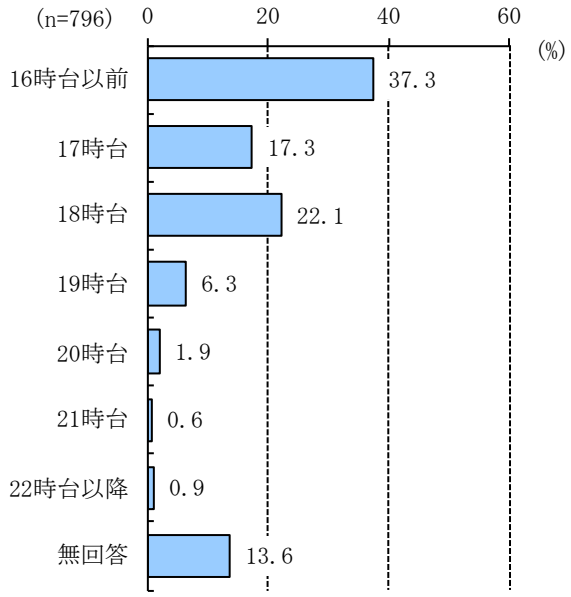


【父親の家を出る時間】

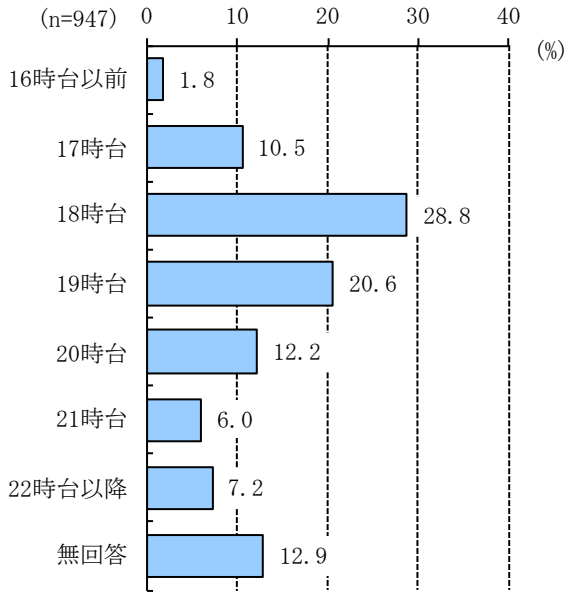


家を出る時間をみると、母親では「８時台」が 41.3%で最も多く、次いで「９時台以降」が 27.9%、「７時台」が 17.1%の順となっており、父親では「７時台」が 39.9%で最も多く、次いで「８時台」が 31.5%、「６時台以降」が 9.6%の順となっている。

【母親の帰宅時間】



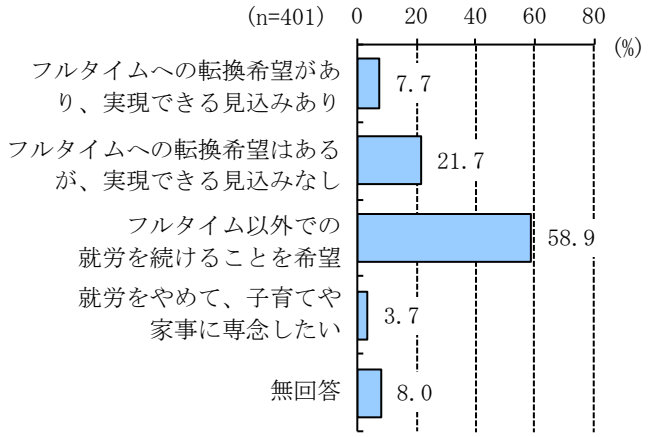
【父親の帰宅時間】



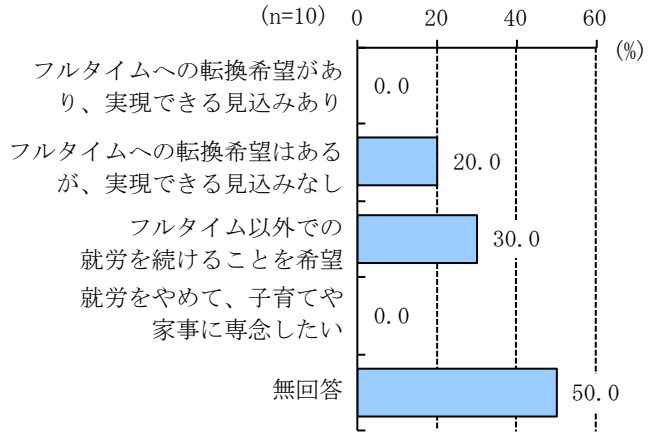
帰宅時間をみると、母親では「16 時台以前」が 37.3%で最も多く、次いで「18 時台」が 22.1%、「17 時台」が 17.3%の順となっており、父親では「18 時台」が 28.8%で最も多く、次いで「19 時台」が 20.6%、「20 時台」が 12.2%の順となっている。

問１１－２　フルタイム以外で就労されている場合（問１１で塗りつぶしの欄内に○がついた方）は、フルタイムへの転職希望等について、該当する欄に○を付けてください。

【母親のフルタイムへの転換希望】



【父親のフルタイムへの転換希望】

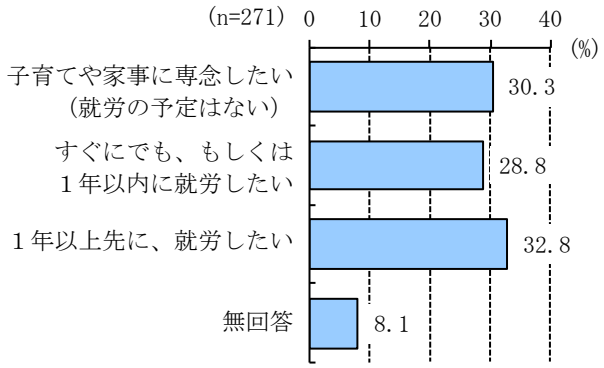


フルタイムへの転職希望をみると、母親では「フルタイム以外での就労を続けることを希望」が 58.9%で最も多く、次いで「フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みなし」が 21.7%、「フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みあり」が 7.7%の順となっており、父親では「フルタイム以外での就労を続けることを希望」が 30.0%で最も多く、次いで「フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みなし」が 20.0%の順となっている。

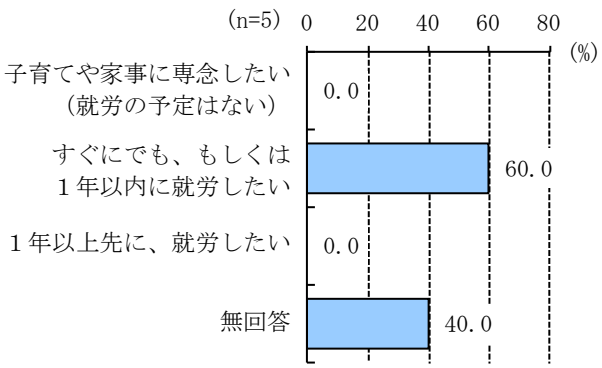
（２）両親の現在の就労状況

問１２	問１１で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○がついた方（太枠内に○がつかなかった方）についてうかがいます。

【母親の就労意向】



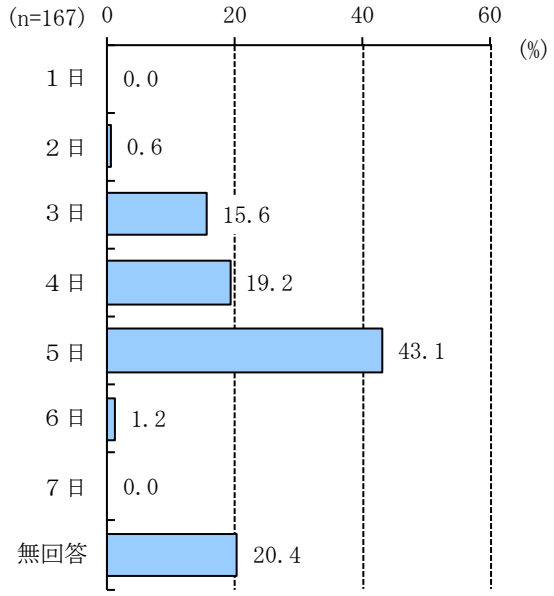
【父親の就労意向】



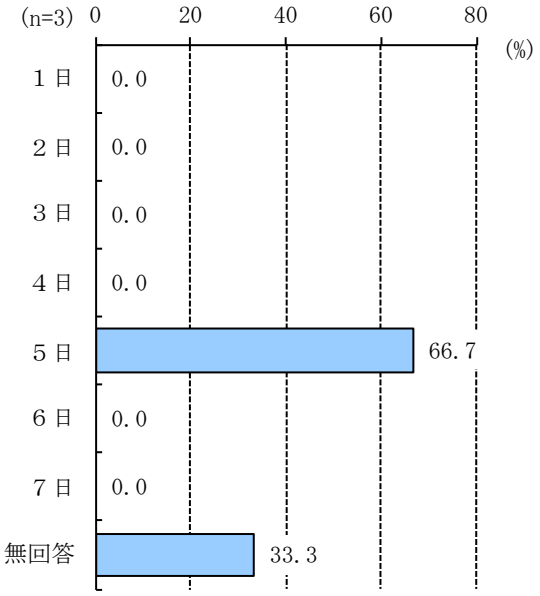
就労意向をみると、母親では「１年以上先に、就労したい」が 32.8%で最も多く、次いで「子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）」が 30.3%、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が 28.8%の順となっており、父親では「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が 60.0%で過半数を占め、その他は 0%となっている。

問１２－１	問１２で太枠内に○がついた場合に、希望する就労日数や就労時間をお書き下さい。就労日数のうち、土曜日、日曜日の就労希望がある場合には、該当する番号に○を付けてください。※フルタイムは、１週５日程度、１日８時間程度とお考え下さい。

【母親の希望就労日数（週あたり）】

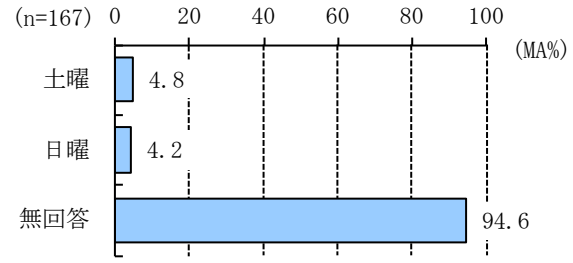


【父親の希望就労日数（週あたり）】

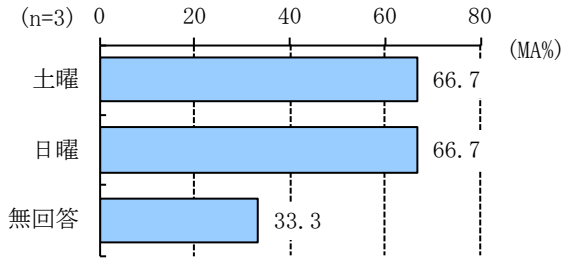


１週当たりの希望就労日数をみると、母親では「５日」が 43.1%で最も多く、次いで「４日」が 19.2%、「３日」が 15.6%の順となっており、父親では「５日」が 66.7%で過半数を占め、その他の日数は 0%となっている

【母親の土曜日・日曜日の就労希望】

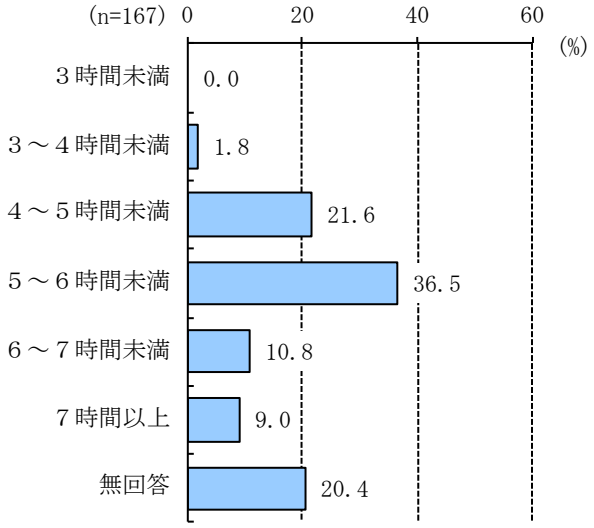


【父親の土曜日・日曜日の就労希望】

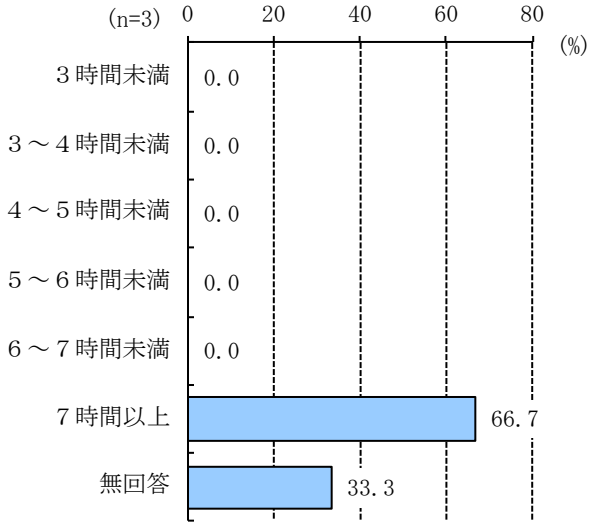


土曜日・日曜日の就労希望をみると、母親では「土曜」が 4.8%、「日曜」が 4.2%となっており、父親では「土曜」「日曜」ともに 66.7%となっている。

【母親の希望就労時間（日あたり）】



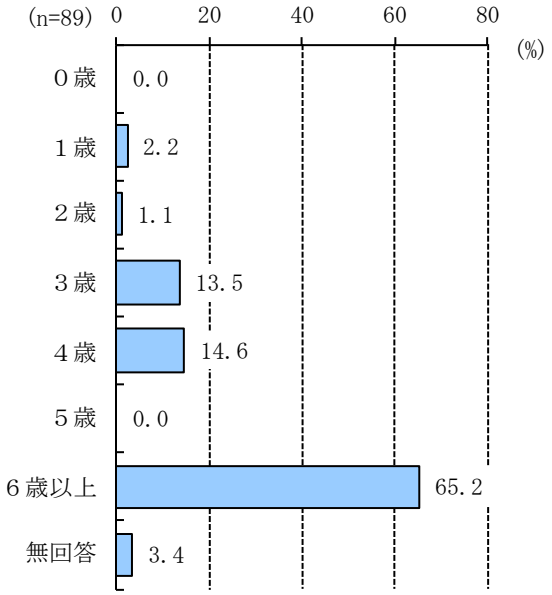
【父親の希望就労時間（日あたり）】



１日当たりの希望就労時間をみると、母親では「５～６時間未満」が 36.5%で最も多く、次いで「４～５時間未満」が 21.6%、「６～７時間未満」が 10.8%の順となっており、父親では「７時間以上」が 66.7%となっている。

問１２－２　問１２で「１年以上先に就労したい」に○がついた方にうかがいます。就労を始めるのは、一番小さい子どもが何歳になった頃をお考えですか。

【母親が就労を始めたい時期（一番小さい子どもの年齢）】



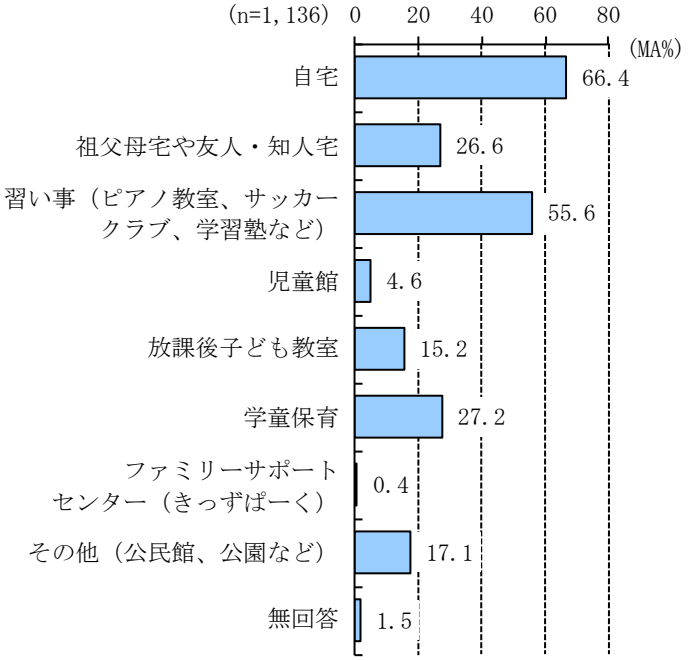
就労を始めたい時期をみると、母親では「６歳以上」が 65.2%で最も多く、次いで「４歳」が 14.6%、「３歳」が 13.5%の順となっている。（父親の対象者はなし。）

４．放課後の過ごし方について

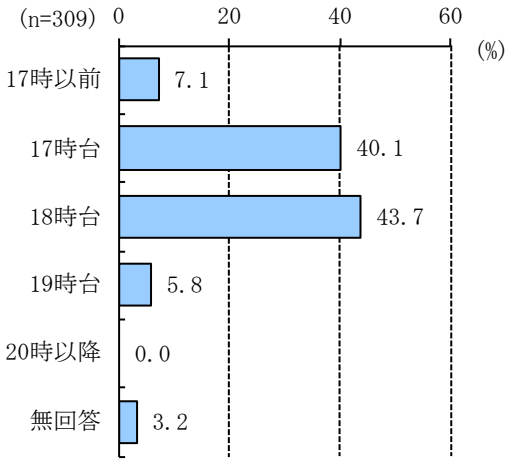
（１）小学校低学年時に希望する放課後の過ごし方

問１３　お子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数をご記入ください。また、「６.学童保育」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。時間は、（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

【小学校低学年時に希望する放課後の過ごし方】



【学童保育の希望終了時間】
※学童保育を希望した人のみ



小学校低学年時に希望する放課後の過ごし方をみると、「自宅」が 66.4%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が 55.6%、「学童保育」が 27.2%の順となっている。

学童保育を希望した人の学童保育の希望終了時間をみると、「18 時台」が 43.7%で最も多く、次いで「17 時台」が 40.1%、「17 時以前」が 7.1%の順となっている。

【放課後の過ごし方ごとの希望日数（小学校低学年）】

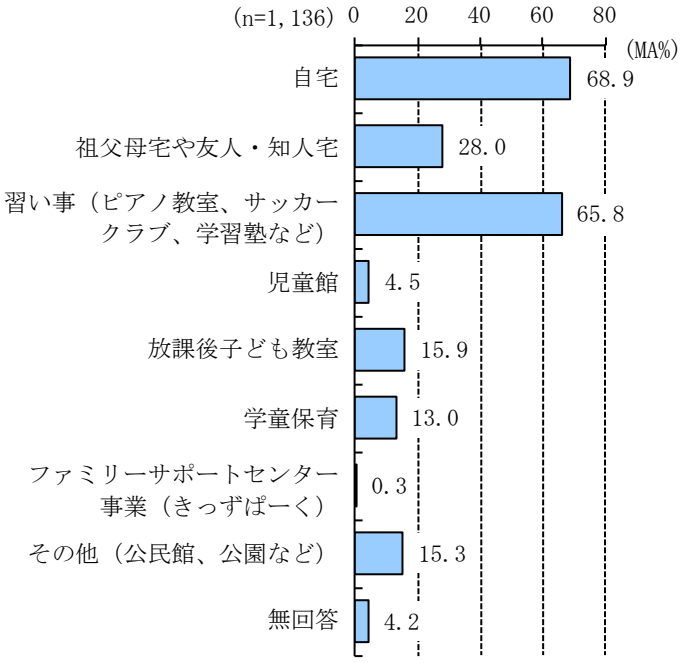
	全体	１日	２日	３日	４日	５日	無回答
１．自宅	754	76	170	131	76	192	109
	100.0	10.1	22.5	17.4	10.1	25.5	14.5
２．祖父母宅や友人・知人宅	302	97	95	34	16	34	26
	100.0	32.1	31.5	11.3	5.3	11.3	8.6
３．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	632	170	251	134	44	15	18
	100.0	26.9	39.7	21.2	7.0	2.4	2.8
４．児童館	52	19	17	8	3	4	1
	100.0	36.5	32.7	15.4	5.8	7.7	1.9
５．放課後子ども教室	173	84	42	13	3	18	13
	100.0	48.6	24.3	7.5	1.7	10.4	7.5
６．学童保育	309	8	19	23	35	189	35
	100.0	2.6	6.1	7.4	11.3	61.2	11.3
７．ファミリーサポートセンター（きっずぱーく）	5	4	－	－	－	－	1
	100.0	80.0	－	－	－	－	20.0
８．その他（公民館、公園など）	194	62	51	37	11	19	14
	100.0	32.0	26.3	19.1	5.7	9.8	7.2

上段：実数、下段：％

（２）小学校高学年時に希望する放課後の過ごし方

問１４　お子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数をご記入ください。また、「６.学童保育」の場合には利用を希望する時間もご記入ください。時間は、(例)０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

【小学校高学年に希望する放課後の過ごし方】



小学校高学年時に希望する放課後の過ごし方をみると、「自宅」が 68.9%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が 65.8%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 28.0%の順となっている。

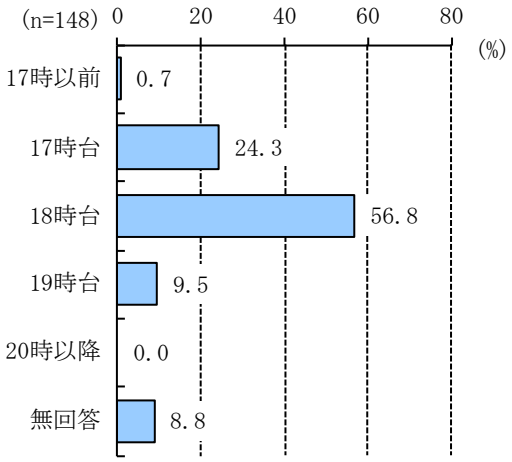
【放課後の過ごし方ごとの希望日数（小学校高学年)】

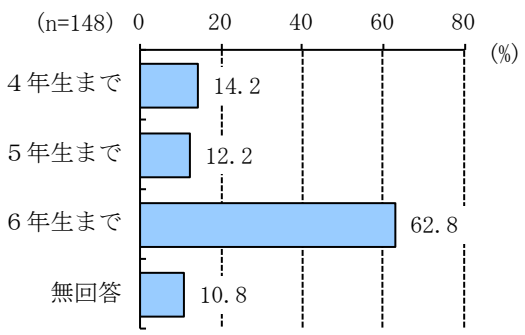
	全体	１日	２日	３日	４日	５日	無回答
１．自宅	783	100	205	133	69	175	101
	100.0	12.8	26.2	17.0	8.8	22.3	12.9
２．祖父母宅や友人・知人宅	318	92	103	40	17	34	32
	100.0	28.9	32.4	12.6	5.3	10.7	10.1
３．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	747	117	287	216	71	26	30
	100.0	15.7	38.4	28.9	9.5	3.5	4.0
４．児童館	51	20	15	9	2	4	1
	100.0	39.2	29.4	17.6	3.9	7.8	2.0
５．放課後子ども教室	181	79	47	19	4	16	16
	100.0	43.6	26.0	10.5	2.2	8.8	8.8
６．学童保育	148	4	12	18	12	74	28
	100.0	2.7	8.1	12.2	8.1	50.0	18.9
７．ファミリーサポートセンター事業（きっずぱーく）	3	1	1	1	－	－	－
	100.0	33.3	33.3	33.3	－	－	－
８．その他（公民館、公園など）	174	63	43	37	3	14	14
	100.0	36.2	24.7	21.3	1.7	8.0	8.0

上段：実数、下段：%

【学童保育の希望終了時間】　　【学童保育の希望利用期間】

※学童保育を希望する人のみ





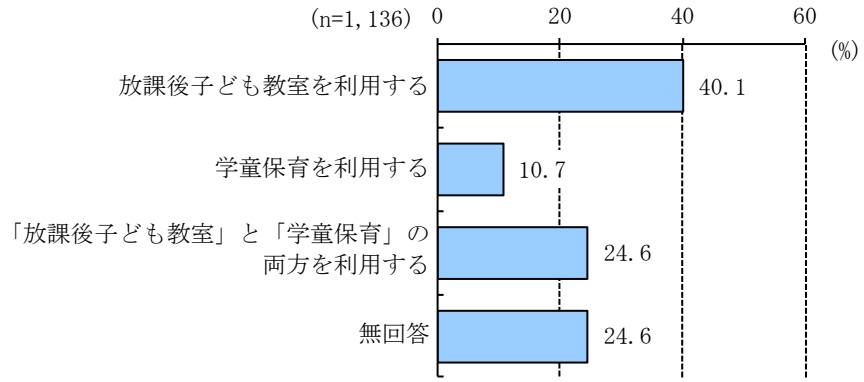
学童保育を希望した人の学童保育の希望終了時間をみると、「18 時台」が 56.8%で最も多く、次いで「17 時台」が 24.3%、「19 時台」が 9.5%の順となっている。

学童保育を希望した人の学童保育の希望利用期間をみると、「６年生まで」が 62.8%で最も多く、次いで「４年生まで」が 14.2%、「５年生まで」が 12.2%となっている。

（３）放課後子ども教室・学童保育の利用希望

問１５　お子さんの学校に「放課後子ども教室」と「学童保育」があれば利用しますか。

【放課後子ども教室・学童保育の利用希望】

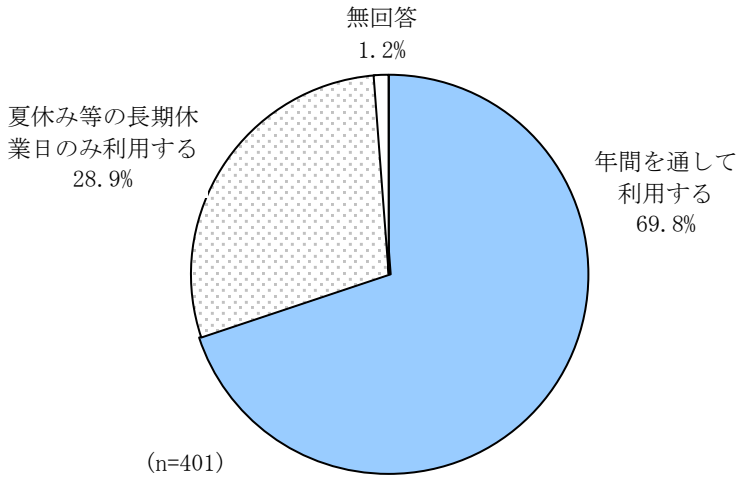


放課後子ども教室・学童保育の利用希望をみると、「放課後子ども教室を利用する」が 40.1%で最も多く、次いで「「放課後子ども教室」と「学童保育」の両方を利用する」が 24.6%、「学童保育を利用する」が 10.7%の順となっている。

（４）学童保育を利用したい時期

問１６	問１５で「２.学童保育を利用する。」と「３.「放課後子ども教室」と「学童保育」の両方を利用する。」に○をつけた方のみ回答してください。学童保育を利用する時期はいつですか。

【学童保育を利用する時期】
※「放課後子ども教室」と「学童保育」の両方を利用する人

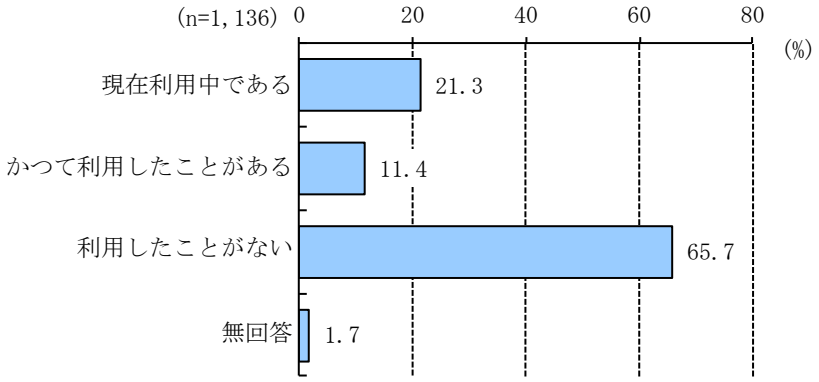


学童保育を利用する時期をみると、「年間を通して利用する」が 69.8%、「夏休み等の長期休業日のみ利用する」が 23.9%となっている。

（５）学童保育の利用経験

問１７　お子さんについて、学童保育を利用した事がありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

【学童保育の利用経験】

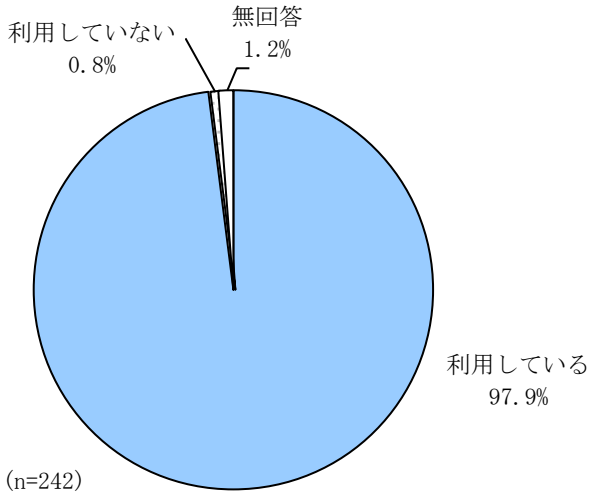


学童保育の利用経験をみると、「利用したことがない」が 65.7%で最も多く、次いで「現在利用中である」が 21.3%、「かつて利用したことがある」が 11.4%の順となっている。

（６）学童保育の利用状況

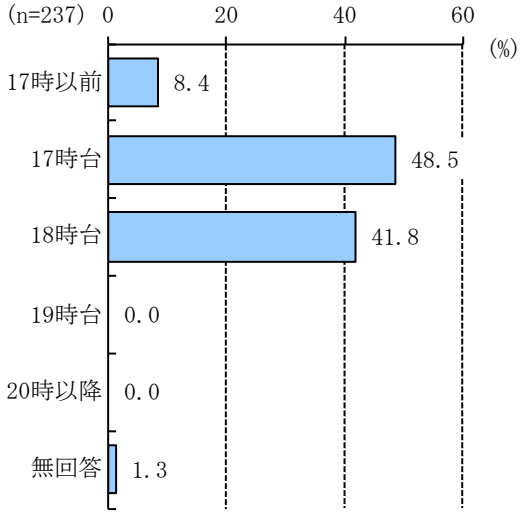
問１８	問１７で「１.現在利用中である」に○をつけた方にうかがいます。利用時間について、（１）平日の放課後、（２）土曜日、（３）長期中華中それぞれ当てはまる番号１つに○をつけてください。また利用している時間帯を、（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

【学童保育の利用状況】



【学童保育終了時間】

※現在利用中の方・平日の放課後

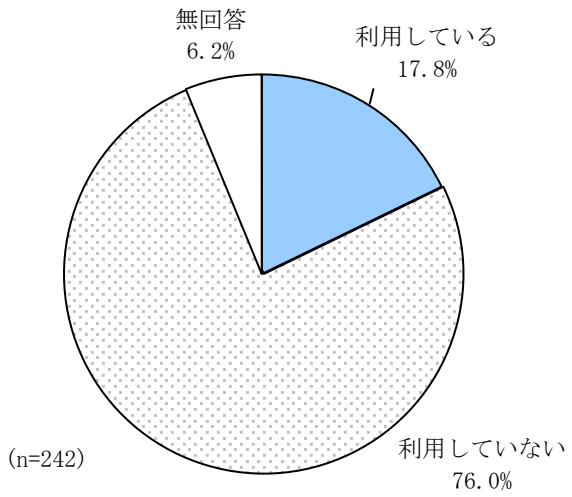


学童保育の平日の放課後の利用状況をみると、「利用している」が 97.9%、「利用していない」が 0.8%となっている。

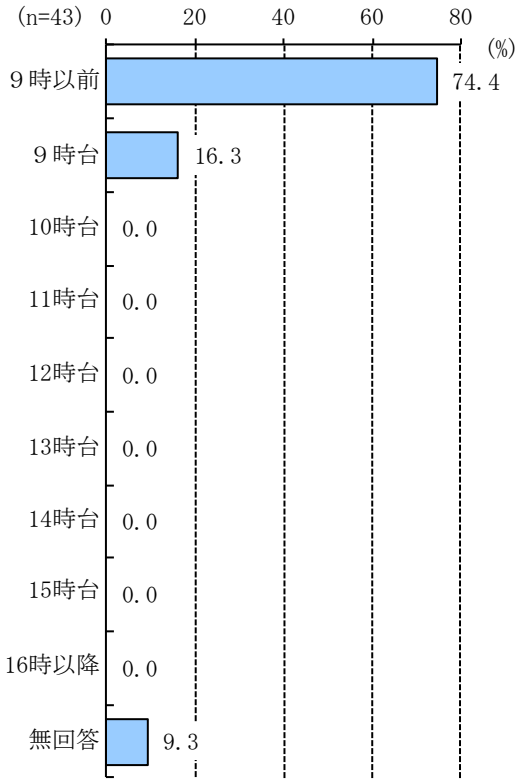
学童保育の平日の終了時間をみると、「17時台」が48.5%で最も多く、次いで「18時台」が41.8%、「17 時以前」が 8.4%の順となっている。

【学童保育の利用状況】

※現在利用中の方・土曜日

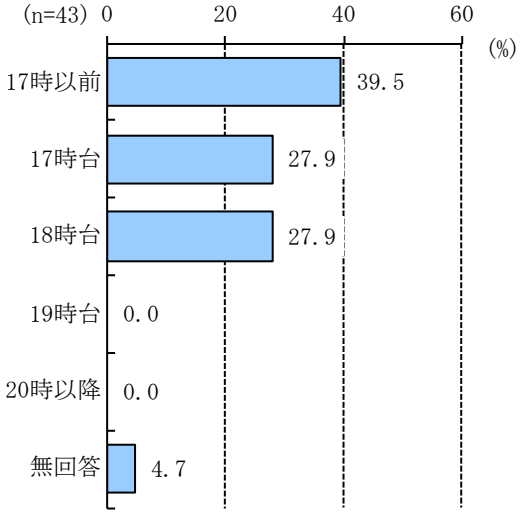


【学童保育の開始時間】



【学童保育の終了時間】

※現在利用中の方・土曜日



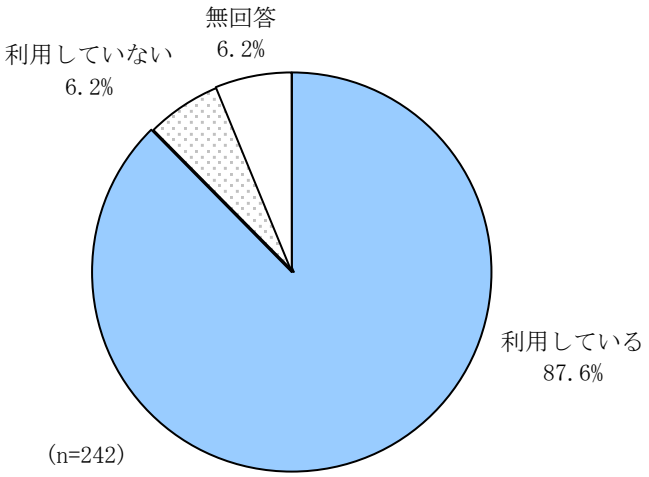
学童保育の土曜日の利用状況をみると、「利用している」が 17.8%、「利用していない」が 76.0%となっている。

学童保育の土曜日の開始時間をみると、「９時以前」が 74.4%で最も多く、次いで「９時台」が 16.3%の順となっている。

学童保育の土曜日の終了時間をみると、「17 時以前」が 39.5%で最も多く、次いで「17 時台」と「18 時台」が同率で 27.9%の順となっている。

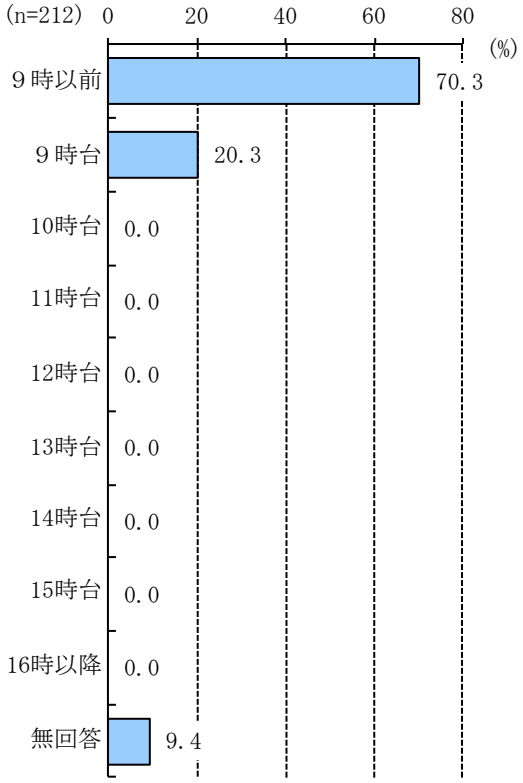
【学童保育の利用状況】

※現在利用中の方・長期休暇中

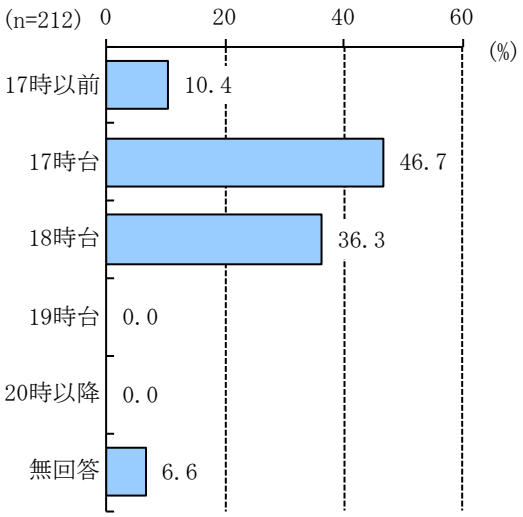


【学童保育の開始時間】

※現在利用中の方・長期休暇中



【学童保育の終了時間】



学童保育の長期休暇中の利用状況をみると、「利用している」が 87.6%、「利用していない」が 6.2%となっている。

学童保育の長期休暇中の開始時間をみると、「９時以前」が 70.3%で最も多く、次いで「９時台」が 20.3%、その他は 0%となっている。

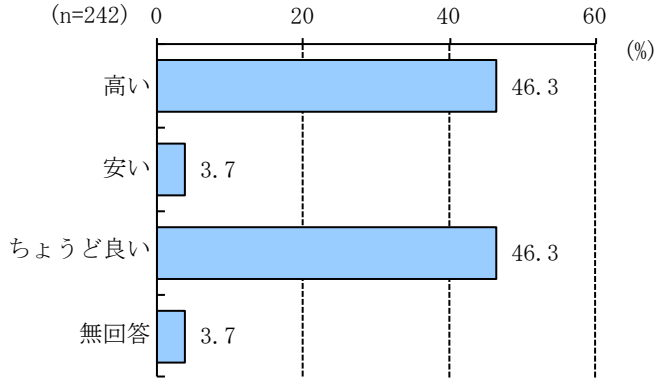
学童保育の長期休暇中の終了時間をみると、「17 時台」が 46.7%で最も多く、次いで「18 時台」が 36.3%、「17.時以前」が 10.4%の順となっている。

（７）学童保育の保育料について

問１９　問１７で「１.現在利用中である」に○をつけた方にうかがいます。利用している学童保育の保育料について当てはまる番号に○をつけてください。

【学童保育の保育料について】

※現在利用中の方



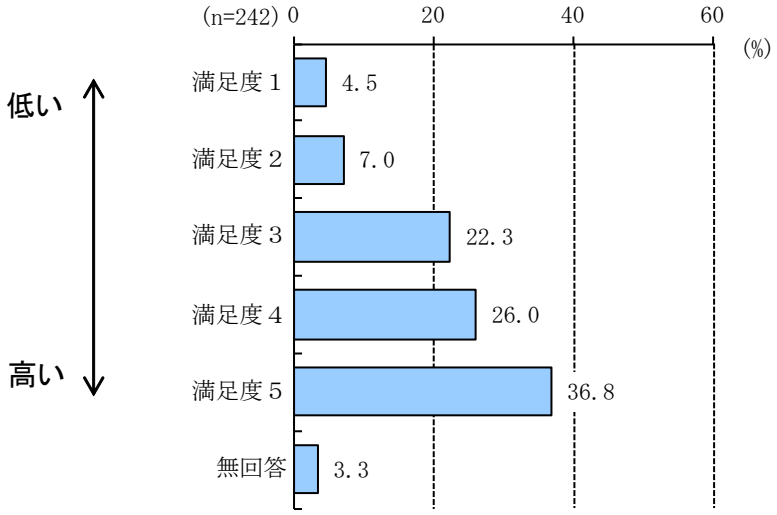
学童保育の保育料についてみると、「高い」と「ちょうど良い」が同率の 46.3%、「安い」が 3.7%となっている。

（８）学童保育の満足度

問２０　問１７で「１.現在利用中である」に○をつけた方にうかがいます。利用している学童保育の満足度について当てはまる番号に○をつけてください。

【学童保育の満足度】

※現在利用中の方

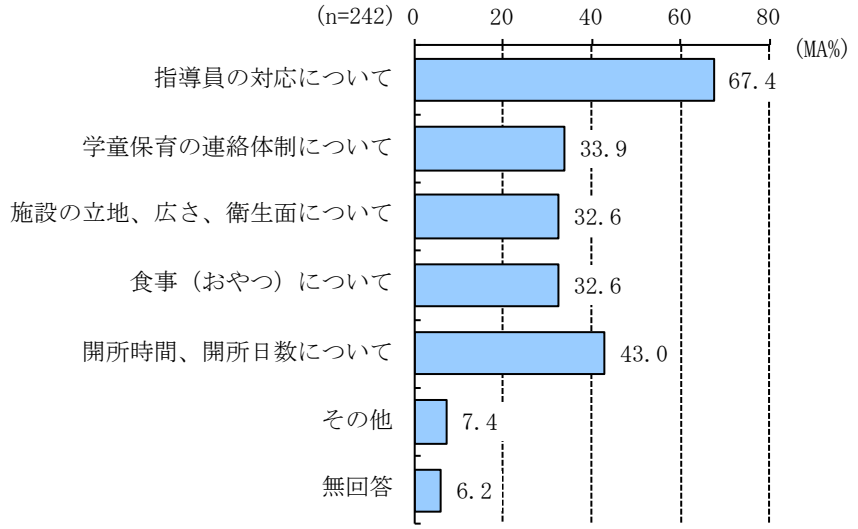


学童保育の満足度をみると、「満足度５」が 36.8%で最も多く、次いで「満足度４」が 26.0%、「満足度３」が 22.3%の順となっている。

（９）学童保育について良いと感じているところ

問２１　問１７で「１.現在利用中である」に○をつけた方にうかがいます。利用している学童保育について良いと感じている点があれば該当するものに○をつけてください。（いくつでも可）

【学童保育について良いと感じているところ】
※現在利用中の方

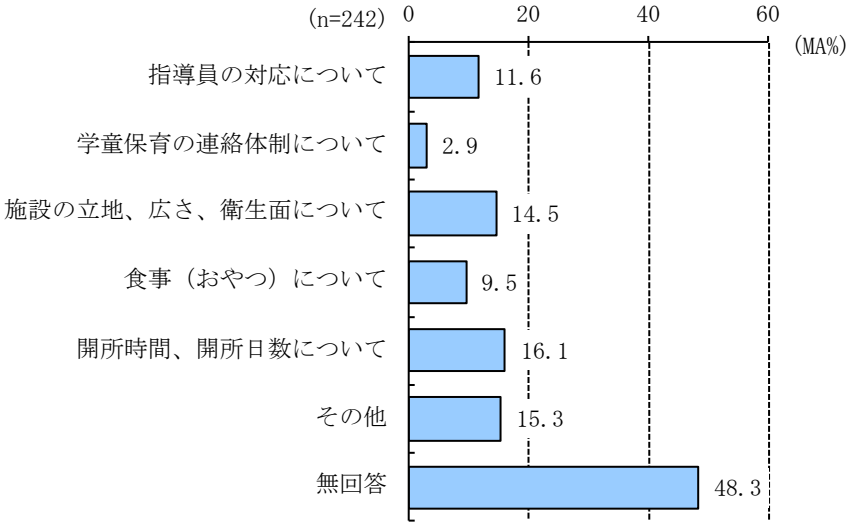


学童保育について良いと感じているところをみると、「指導員の対応について」が 67.4%で最も多く、次いで「開所時間、開所日数について」が 43.0%、「学童保育の連絡体制について」が 33.9%の順となっている。

(10) 学童保育について不満に思うところ

問２２	問１７で「１.現在利用中である」に○をつけた方にうかがいます。利用している学童保育について不満に思う点があれば該当するものに○をつけてください（いくつでも可）

【学童保育について不満に思うところ】
※現在利用中の方

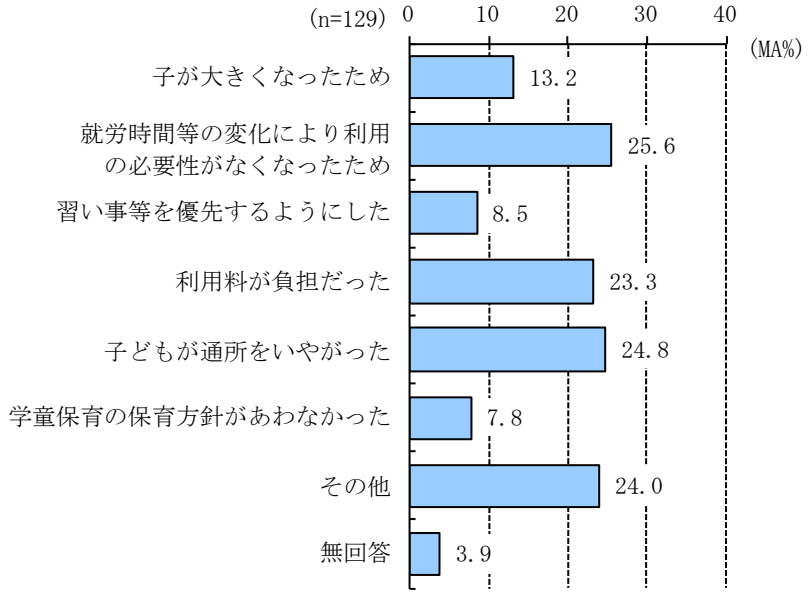


学童保育について不満に思うところをみると、「開所時間、開所日数について」が 16.1%で最も多く、次いで「その他」が 15.3%、「施設の立地、広さ、衛生面について」が 14.5%の順となっている。

(11) 学童保育の利用をやめた理由

問２３　問１７で「２.かつて利用したことがある」に○をつけた方にうかがいます。利用をやめた理由について当てはまる番号に○をつけてください。

【学童保育の利用をやめた理由】
※かつて利用したことがある方

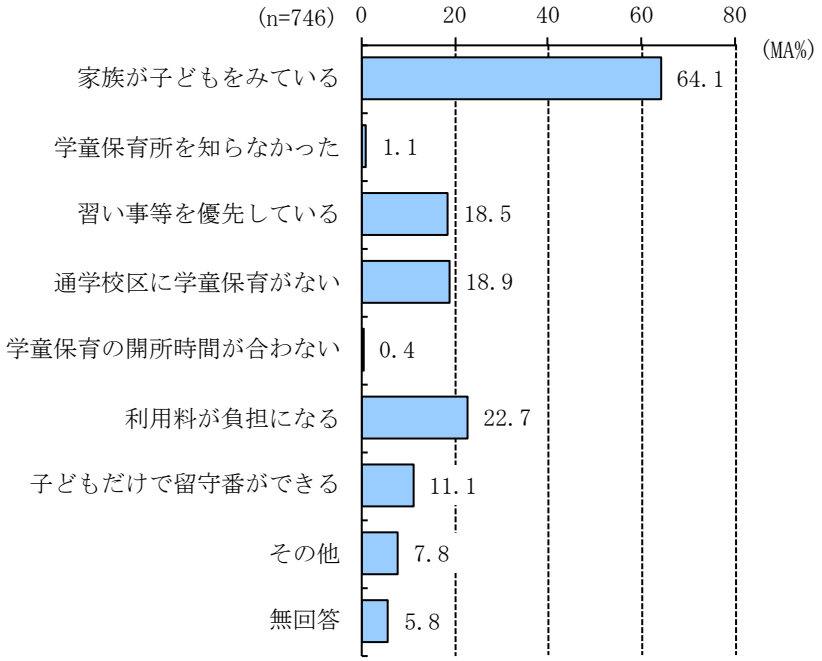


学童保育の利用をやめた理由をみると、「就労時間等の変化により利用の必要がなくなったため」が 25.6%で最も多く、次いで「子どもが通所をいやがった」が 24.8%、「その他」が 24.0%の順となっている。

(12) 学童保育の利用をしていない理由

問２４	問１７で「３.利用したことがない」に○をつけた方にうかがいます。学童保育を利用していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【学童保育の利用をしていない理由】
※利用したことがない方

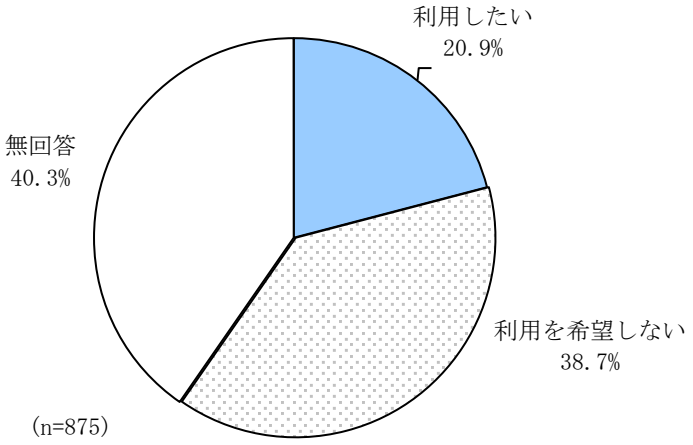


学童保育を利用していない理由をみると、「家族が子どもをみている」が 64.1%で最も多く、次いで「利用料が負担になる」が 22.7%、「通学校区に学童保育がない」が 18.9%の順となっている。

(13) 学童保育の利用希望

問２５	問１７で「２.かつて利用したことがある」または「３.利用したことがない」に○をつけた方にうかがいます。今後、学童保育を利用したいとお考えですか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

【学童保育の利用希望】
※かつて利用したことがある方・利用したことがない方

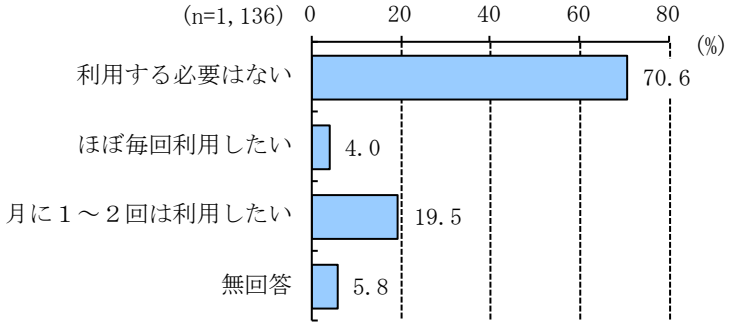


学童保育の利用希望をみると、「利用したい」が 20.9%、「利用を希望しない」が 38.7%となっている。

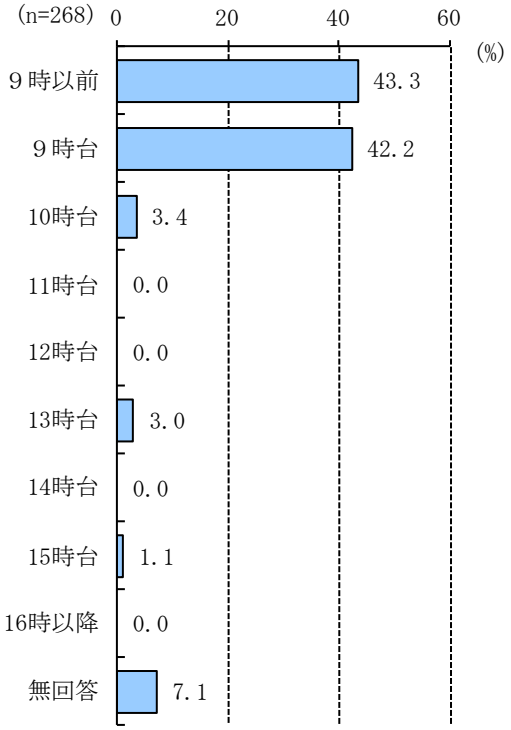
（14）学童保育の日曜日・祝日の利用希望

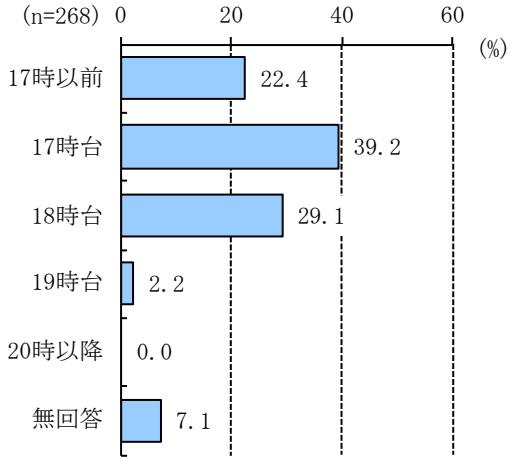
問２６　すべての方にうかがいます。お子さんについて、もし学童保育が日曜日・祝日にも通所が可能となった場合、日曜日・祝日の利用希望はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）　０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

【学童保育の日曜日・祝日の利用希望】



【学童保育の日曜日・祝日の利用希望開始時間】【学童保育の日曜日・祝日の利用希望終了時間】





学童保育の日曜日・祝日の利用希望をみると、「利用する必要はない」が 70.6%で最も多く、次いで「月に１～２回は利用したい」が 19.5%、「ほぼ毎回利用したい」が 4.0%の順となっている。

学童保育の日曜日・祝日の利用希望開始時間をみると、「９時以前」が 43.3%で最も多く、次いで「９時台」が 42.2%、「10 時台」が 3.4%の順となっている。

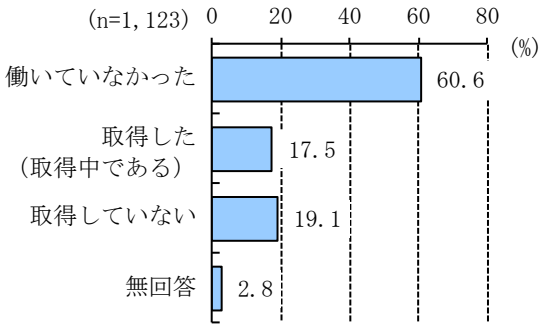
学童保育の日曜日・祝日の利用希望終了時間をみると、「17 時台」が 39.2%で最も多く、次いで「18 時台」が 29.1%、「17 時以前」が 22.4%の順となっている。

５．育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

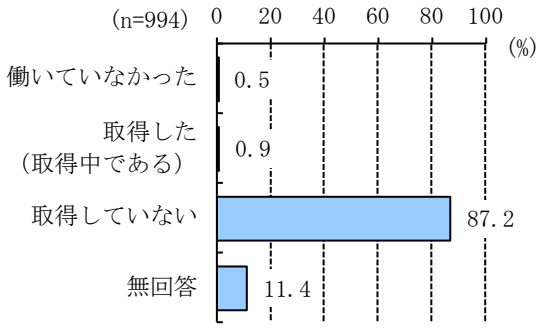
（１）両親の育児休業取得状況

問２７　お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけてください。また「３．取得していない」方はその理由をご記入ください。

【母親の育児休業取得状況】

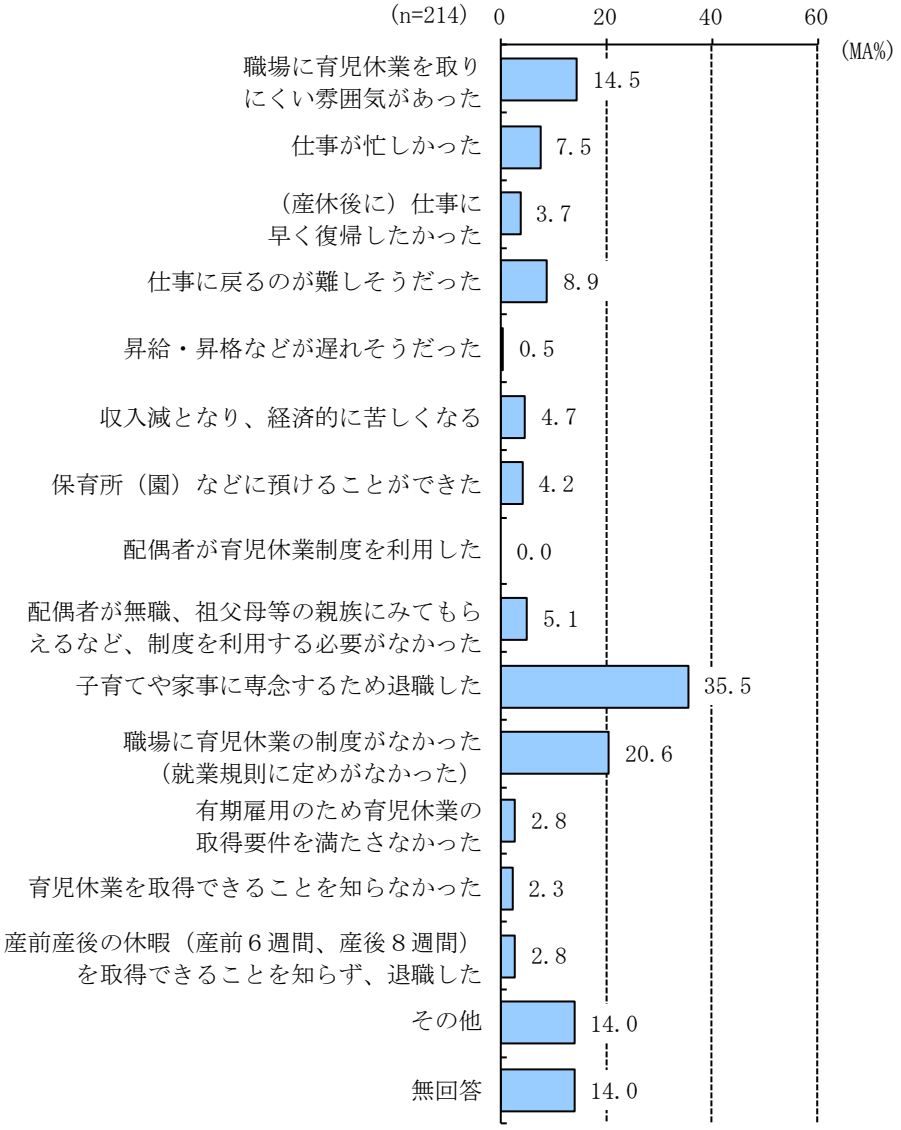


【父親の育児休業取得状況】



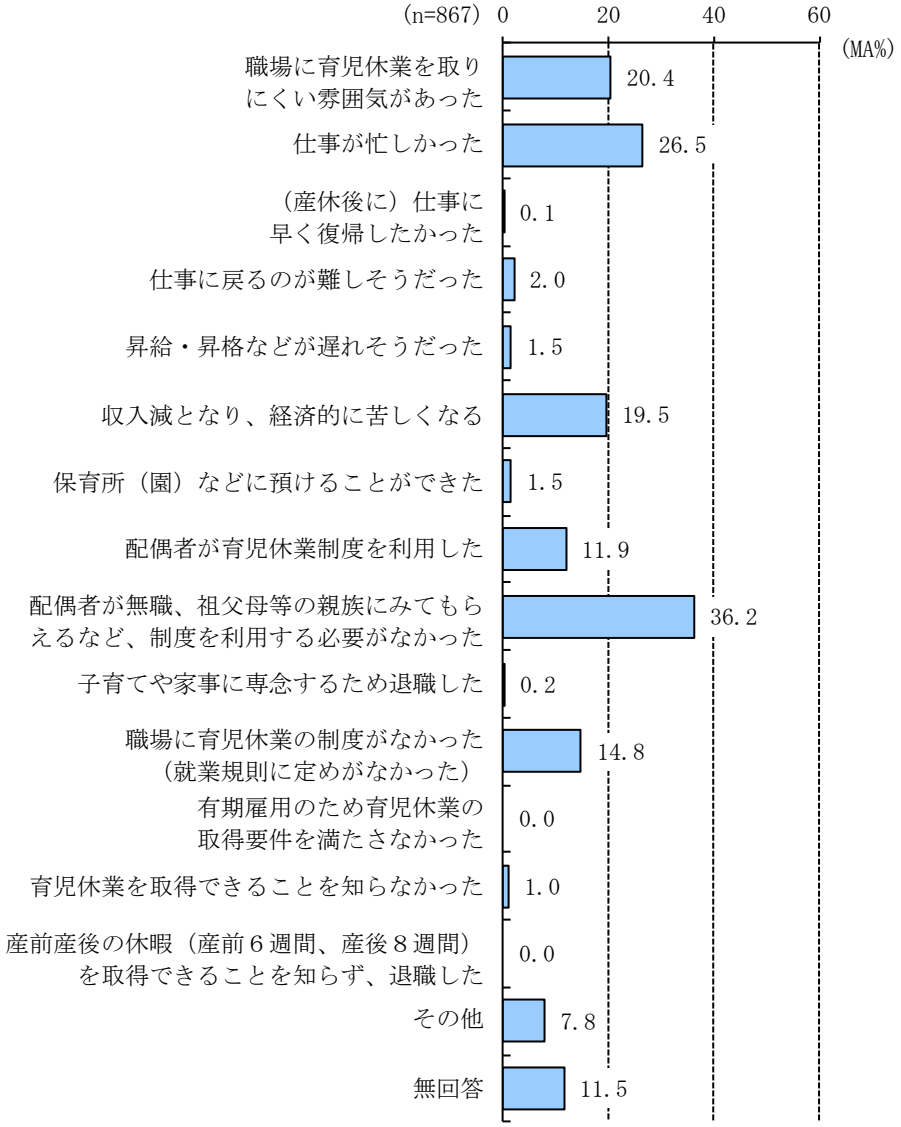
育児取得状況をみると、母親では「働いていなかった」が 60.6%で最も多く、次いで「取得していない」が 19.1%、「取得した（取得中である）」が 17.5%の順となっており、父親では「取得していない」が 87.2%と大半を占めており、「取得した（取得中である）」が 0.9%、「働いていなかった」が 0.5%の順となっている。

【母親が育児休業を取得しなかった理由】



母親の育児休業をしなかった理由をみると、「子育てや家事に専念するため退職した」が 35.5%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が 20.6%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 14.5%の順となっている。

【父親が育児休業を取得しなかった理由】

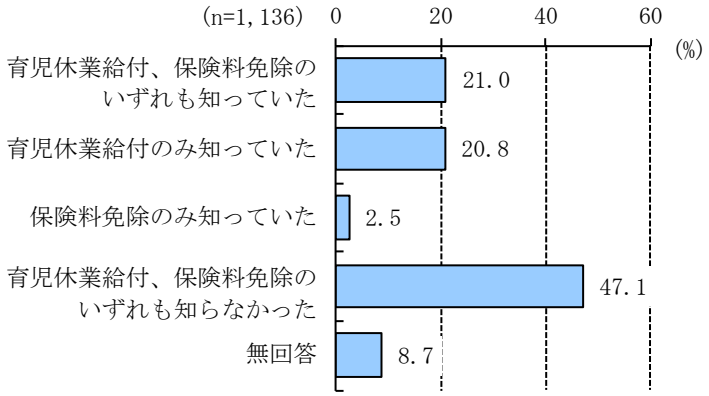


父親の育児休業をしなかった理由をみると、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が 36.2％で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が 26.5％、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 20.4％の順となっている。

（２）育児休業中の育児休業給付、保険料免除に対する認知度

問２７－１	子どもが原則１歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は１歳６月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満３歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

【育児休業中の育児休業給付、保険料免除に対する認知度】



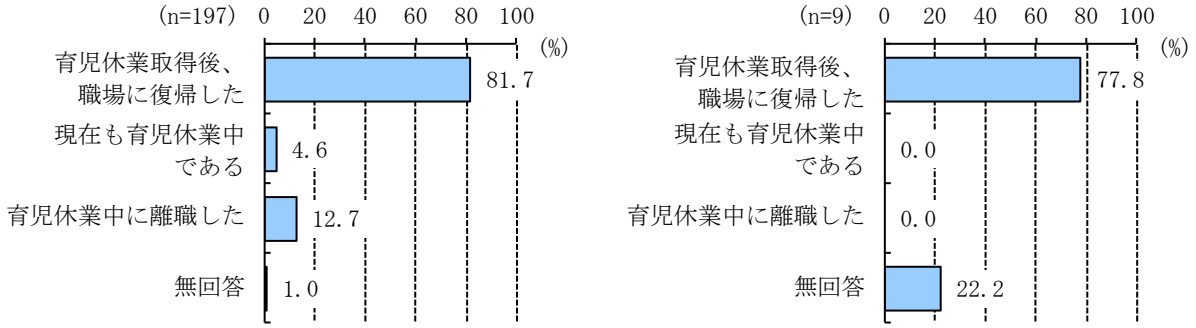
育児休業中の育児休業給付、保険料免除に対する認知度をみると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 47.1％で最も多く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 21.0％、「育児休業給付のみ知っていた」が 20.8％の順となっている。

（３）両親の職場復帰状況

問２７－２　問２７で「２.取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。育児休業　取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

【母親の職場復帰状況】　　【父親の職場復帰状況】

※育児休業を取得した（取得中である）人

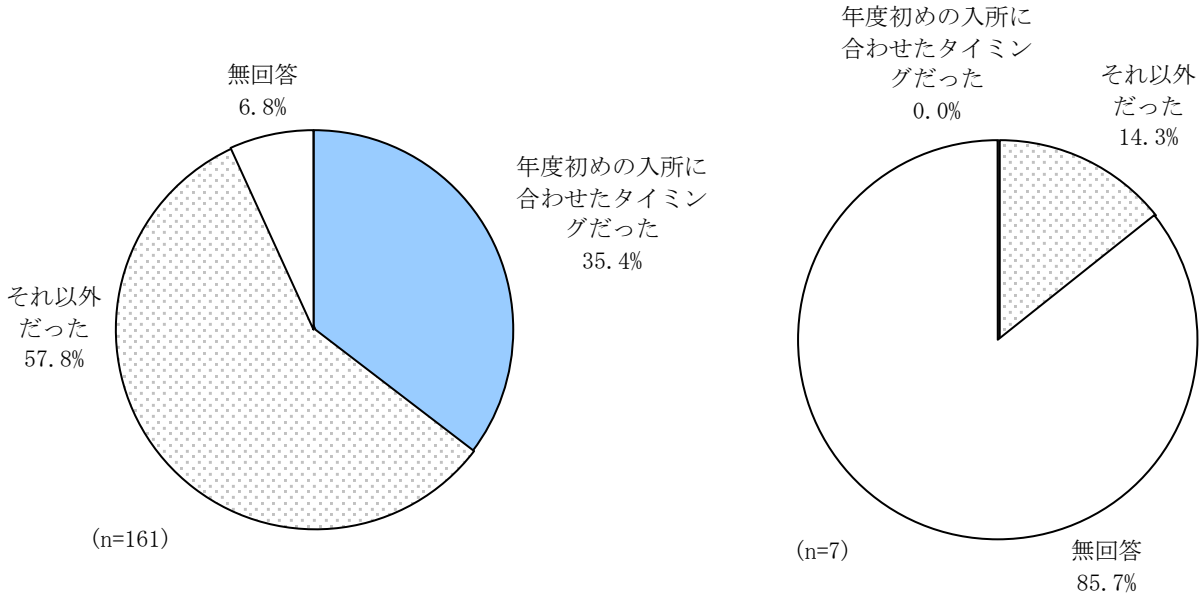


職場復帰状況をみると、母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が 81.7%で最も多く、次いで「育児休業中に離職した」が 12.7%、「現在も育児休業中である」が 4.6%の順となっており、父親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が 77.8%となっている。

問２７－３	問２７－２で「１.育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか１つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、１月～２月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「１.育児休業取得後、職場に復帰した」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「１.育児休業取得後、職場に復帰した」を選択してください。

【母親の職場復帰のタイミング】　　【父親の職場復帰のタイミング】

※育児休業取得後に職場復帰した人



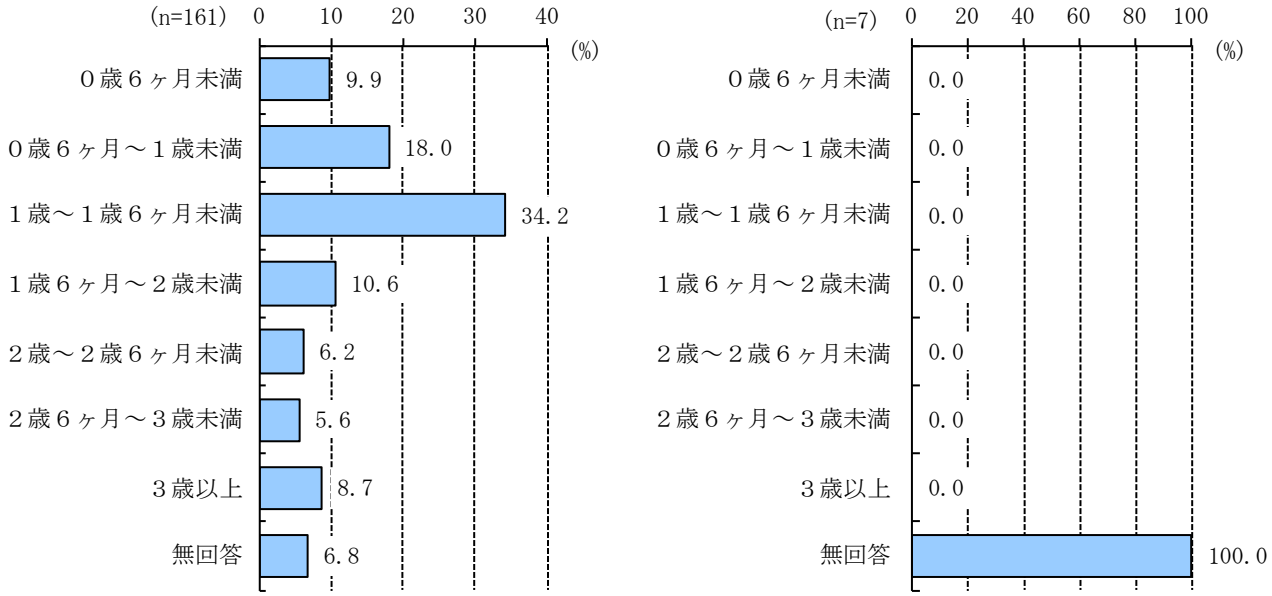
職場復帰のタイミングをみると、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が35.4%、「それ以外だった」が 57.8%となっており、父親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 0%、「それ以外だった」が 14.3%となっている。

（４）育児休業取得期間（実際と希望）

問２７－４	育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

【母親の実際の育児休業取得期間】　　【父親の実際の育児休業取得期間】

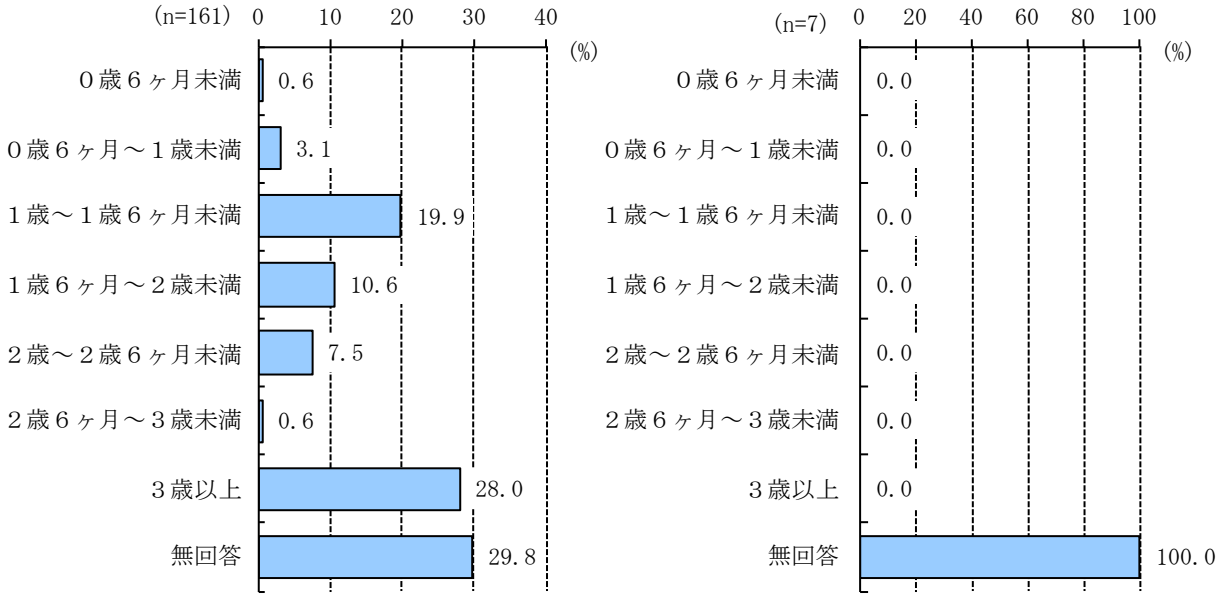
※育児休業取得後に職場復帰した人



実際の育児休業取得期間をみると、母親では「１歳～１歳６ヶ月未満」が 34.2％で最も多く、次いで「０歳６ヶ月～１歳未満」が 18.0.％、「１歳６ヶ月～２歳未満」が 10.6％の順となっている。（父親は回答者なし。）

【母親の希望の育児休業取得期間】　　【父親の希望の育児休業取得期間】

※育児休業取得後に職場復帰した人



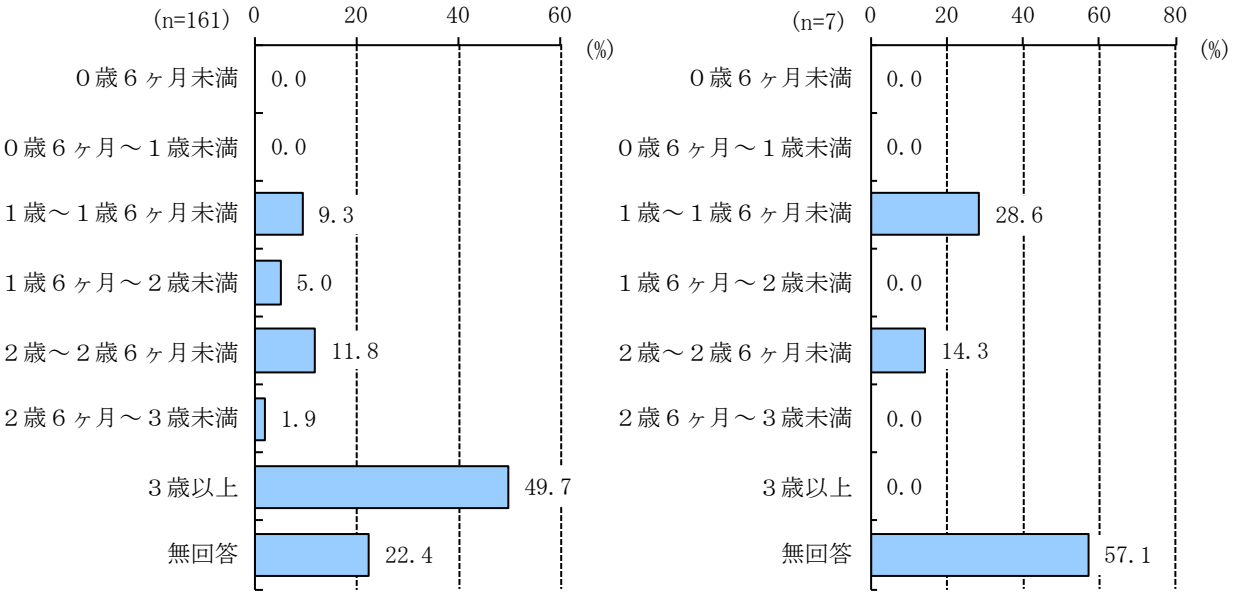
希望の育児休業取得期間をみると、母親では「３歳以上」が 28.0％で最も多く、次いで「１歳～１歳６ヶ月未満」が 19.9％、「１歳６ヶ月～２歳未満」が 10.6％の順となっている。（父親は回答者なし。）

（５）３歳まで育児休業が取得できる場合、いつまで取得したいか

問２７－５　お勤め先に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

【母親が希望する育児休業取得期間】　　【父親が希望する育児休業取得期間】

※育児休業取得後に職場復帰した人

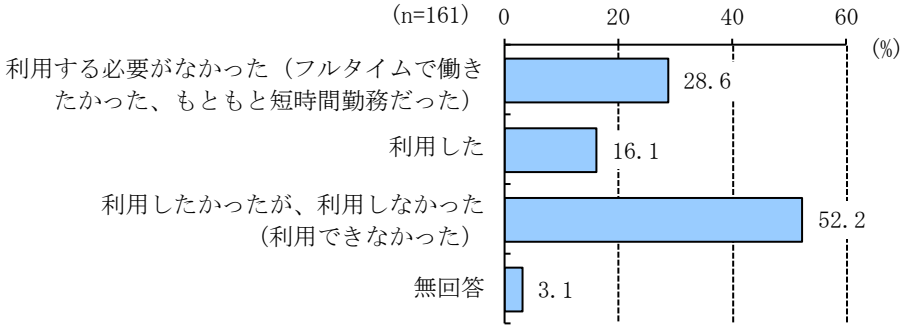


３歳まで育児休業が取得できる場合に希望する育児休業取得期間をみると、母親では「３歳以上」が 49.7%で最も多く、次いで「２歳～２歳６ヶ月未満」が 11.8%、「１歳～１歳６ヶ月未満」が 9.3%の順となっており、父親では「１歳～１歳６ヶ月未満」が 28.6%で最も多く、次いで「２歳～２歳６ヶ月未満」が 14.3%の順となっている。

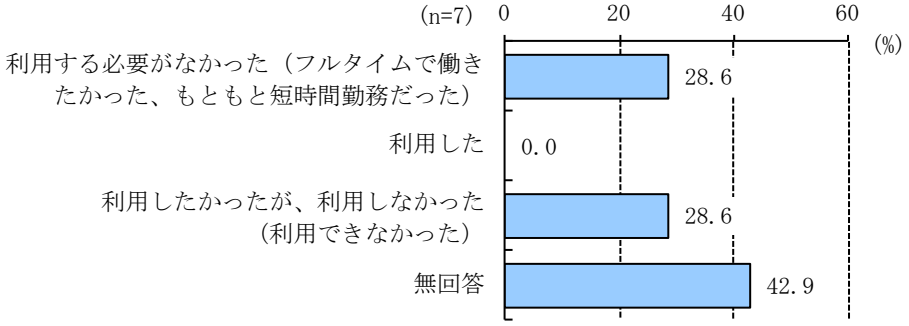
（６）短時間勤務制度の利用状況

問２７－６　育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

【母親の短時間勤務制度の利用状況】
※育児休業取得後に職場復帰した人



【父親の短時間勤務制度の利用状況】
※育児休業取得後に職場復帰した人

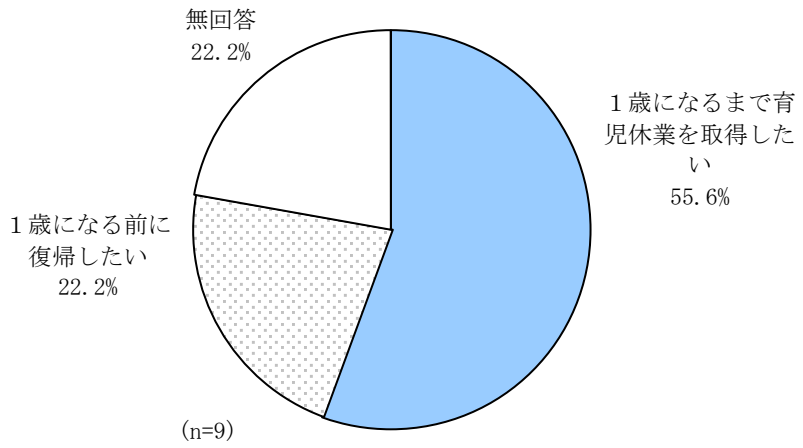


短時間勤務制度の利用状況をみると、母親では「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった)」が 52.2%で最も多く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が 28.6%、「利用した」が 16.1%の順となっており、父親では「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」と「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった)」が同率の 28.6%、「利用した」が 0%の順となっている。

（７） １歳で必ず事業が利用できる場合の育児休業取得希望

問２７－７	問２７－２で「２.現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。お子さんが１歳になるまでに必ず利用できる事業があれば、１歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても１歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

【１歳で必ず事業が利用できる場合の母親の育児休業取得希望】
※現在も育児休業中の人

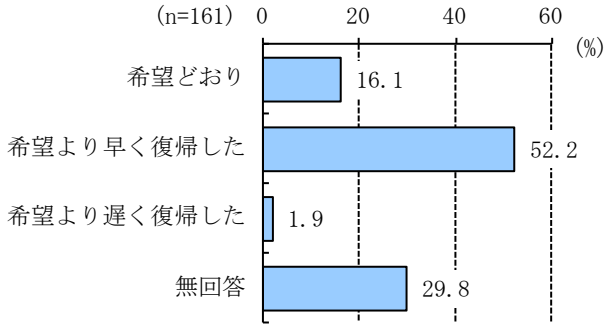


１歳で必ず事業が利用できる場合の育児休業取得希望をみると、母親では「１歳になるまで育児休業を取得したい」が 55.6%、「１歳になる前に復帰したい」が 22.2%となっている。
（父親は回答者なし。）

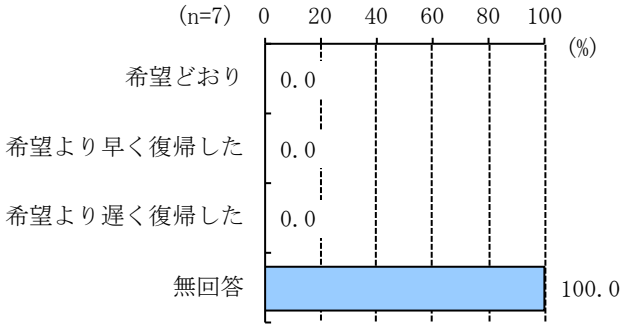
（８）育児休業後、希望の時期に職場復帰しなかった理由

問２７－８	問２７－４で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

【母親は育児休業を希望通りに取得できたか】

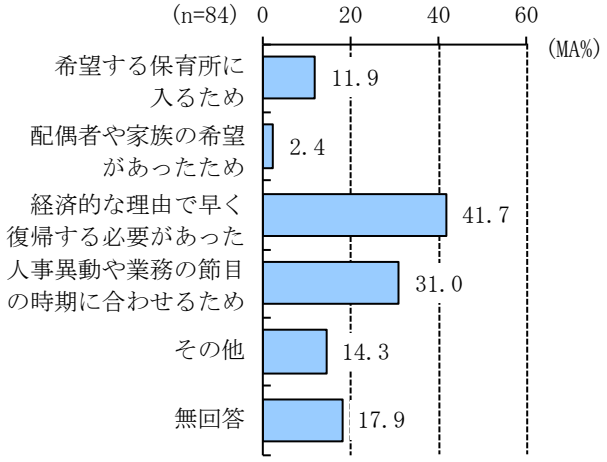


【父親は育児休業を希望通りに取得できたか】



育児休業を希望通りに取得できたかをみると、母親では「希望より早く復帰した」が 52.2%で最も多く、次いで「希望どおり」が 16.1%、「希望より遅く復帰した」が 1.9%の順となっている。（父親は回答者なし。）

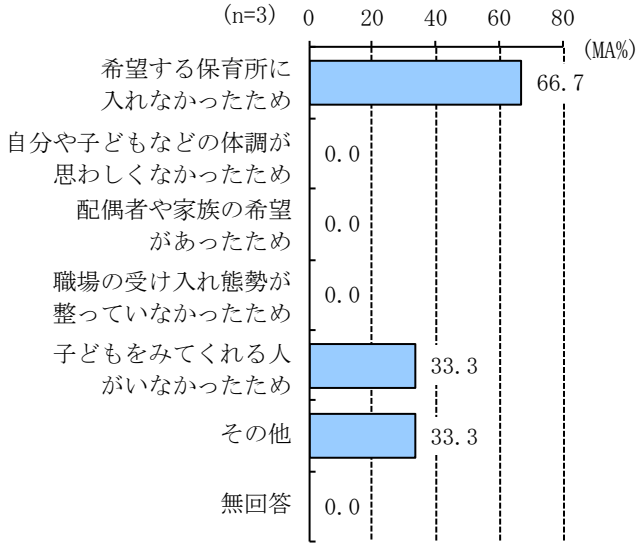
【母親が希望より早く職場復帰した理由】
※希望より早く職場復帰した人



希望より早く職場復帰した理由をみると、母親では「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 41.7%で最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 31.0%、「その他」が 14.3%、「希望する保育所に入るため」が 11.9%、「配偶者や家族の希望があったため」が 2.4%の順となっている。（父親の対象者はなし。）

【母親が希望より遅く復帰した理由】

※希望より遅く復帰した人

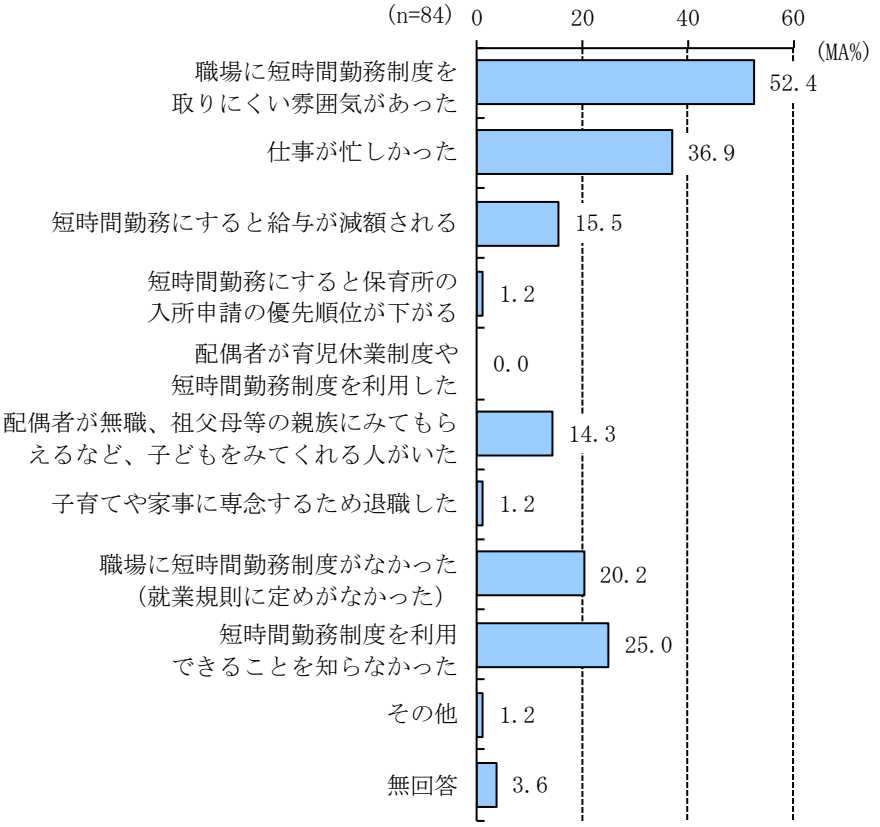


希望より遅く職場復帰した理由をみると、母親では「希望する保育所に入れなかったため」が66.7%で最も多く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」と「その他」が同率の33.3%の順となっている。(父親の対象者はなし。)

（９）短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由

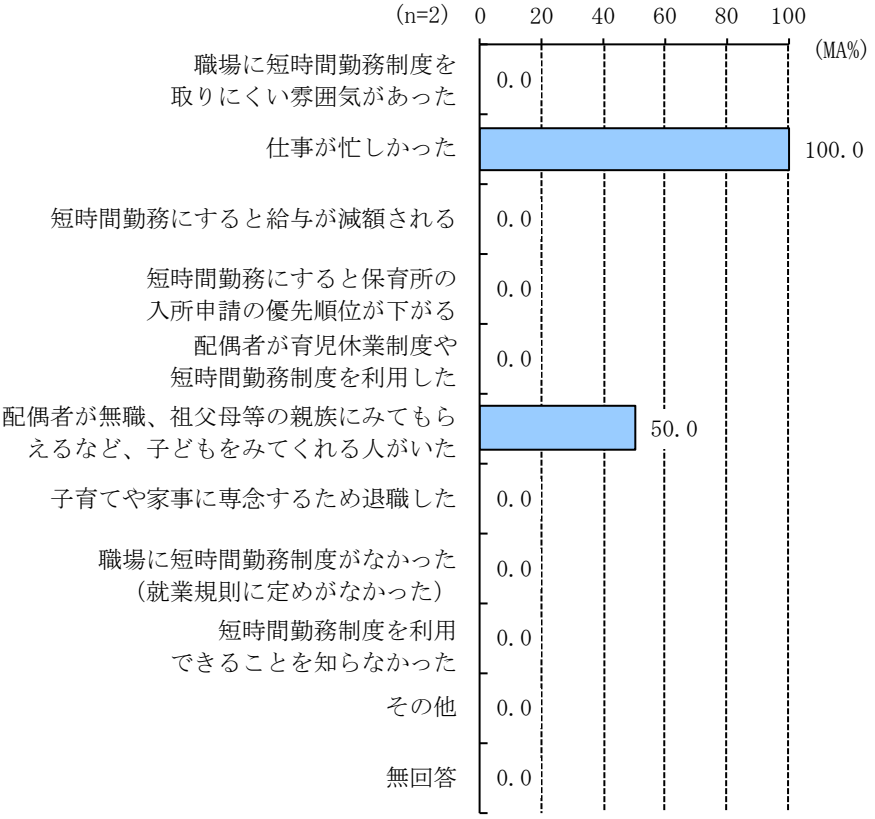
問２７－９　問２７-６で「３.利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった)」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

【母親が短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由】
※短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）人



母親の短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由をみると、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 52.4%で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が 36.9%、「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」が 25.0%の順となっている。

【父親が短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由】
※短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）人

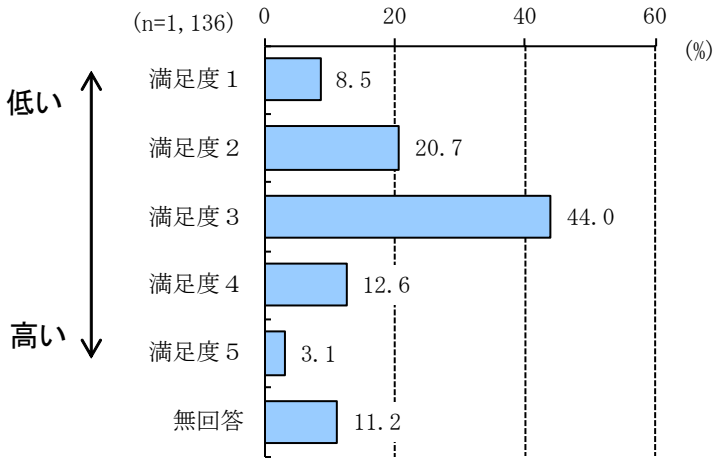


父親の短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由をみると、「仕事が忙しかった」が 100%で最も多く、次いで、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた」が 50.0%の順となっている。

(10) 地域の子育て環境に対する満足度

問２８　お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に１つに○をつけてください。

【地域の子育て環境に対する満足度】



地域の子育て環境に対する満足度をみると、「満足度３」が 44.0%で最も多く、次いで「満足度２」が 20.7%、「満足度４」が 12.6%の順となっている。

(11) 自由記述

問２９　最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

◆ 行政への要望について

内容	件数
支援内容や利用の仕方がわからないのでパンフレットを配布するなど情報提供、積極的な利用案内をしてほしい。	5
田辺市は他の市町村にくらべて子育てに対する支援や意識が低いように思う。誰もがサービスを受けられるようにしてほしい。	5
このアンケート調査の目的が分からない。回答しにくい。	4
職員が相談にのれるよう制度やシステムを理解していてほしいし、相談者の立場に立った前向きな対応をしてくれたら相談も気軽にできる。	4
アンケート結果は必ず配布し、きちんと活用されることを望む。	3
アンケートばかり取るが、子育て支援には改善がみえない。	2
偽装離婚をして補助を受けている人や生活保護の優遇処置を受けながら子どもを塾に通わせている人がいる。夫婦で必死に働いても、子育てサービスには料金もかかるし、塾に通わせられない人もいる。きちんと調べてほしい。	2
市の事業や関わる人たちには親切に教えてもらい、大変助かっているし感謝している。	2
行方不明者や注意等の放送は締め切っていたりすると大変聞きづらい。以前住んでいた地域では、メールによる不審者情報等の配信があったので田辺市でも考えてほしい。	1
土曜か日曜に市が主体としての行事をたくさんもうけてほしい。	1
田辺市には子ども達に人が生きていくためになくてはならないものとして、安心安全な空気・水・食べ物を今後ずっと保障するという姿勢を見せてほしいと思う。	1
高等教育を望むにあたり、下宿先の確保、支払いが大きな負担となるので、悪質な家主にあったときの対処などの支援があればありがたい。	1

◆ 子育て支援について

内容	件数
子どもを安全に預けることができる環境があれば、安心して働きにもいけるし、第２子、第３子を産む人も増える。	9
病児・病後児保育施設を増やしてほしい。	8
土日祝日も親は仕事の場合が多いので、子どもを預けられる施設を充実させてほしい。	6
少し早く受け入れてくれるとか、子どもを病院に連れていってくれる等、病児・病後児保育を充実させてほしい。	4

◆ 子育て支援について

内容	件数
病児・病後児保育の利用料をもう少し安くしてもらえると利用しやすい。	3
仕事、子育てのサポート体制が不安なので子どもがいても、働きやすい環境にしてほしい。	3
夏休み等長期休みにも子どもを預けることがきる施設があると助かる。	2
一時的に数時間だけでも子どもを預かってもらえる施設、支援があればありがたい。	2
姉弟の２人（異年齢の子ども、小学生と幼児等）が同じ場所で預かってもらえるような場所があれば、利用もしやすいし、子どもも安心すると思う。	1
障害のある子どもの放課後デイなどの利用も考えるが、親、子お互いの為にも利用した方がいいとは解っているが、不安の方が多く悩む。	1
不安もあるので体験や見学をしてから頼みたいが、電話一本で、親が病気をした時や病気以外の子どもをみてくれるようなサポートがあれば助かる。	1
子どもの年代別に子育て教室などを開いてほしい。	1
親支援プログラム（NP や CSP）を充実させてほしい。	1
家事を手伝ってもらえる制度があるのなら嬉しいと思う。	1
子どもが自由に笑って過ごせる環境にする為に、親の息ぬきをできる場などの支援や新しい何かをもっと考える時は今だと思う。	1
ファミリーサポートセンターの利用料は、一般家庭が利用するには高いと思う。	1
一人の方に一軒の契約というファミリーサポートセンターの利用規約を改め、利用しやすいようにしてほしい。	1

◆ 保育施設について

内容	件数
就労中でなくても仕事を探す、復帰するために保育所の入所を認めてほしい。	5
公立幼稚園２年保育を３年保育にしてほしい。	4
保育料が高いのでもう少し安くしてほしい。	3
田辺市に認定子ども園があれば助かる。	2
現在３人目の子どもの保育料が３歳まで無料の制度を、卒園まで無料にしてほしい。	2
保育施設をもっと増やしてほしい。	2
所得に応じての保育料の設定の区分や所得によって保育料が違うのは納得しがたい。同じ保育サービスを受けるのだから同額にしてほしい。	2
待機児童がなくなるようにしてほしい。	2
保育時間を延長してもらえたら、助かる。	2
預かり保育の実施を夏休みや小学校低学年まで延長してくれたら助かる。	2
私立公立幼保育所は同一料金で運営してほしい。	1
上の子が通っている保育施設に下の子も同じように通えるようにしてほしい。	1

◆ 小学校・中学校について

内容	件数
教育現場にいながら子どもの手本といえない指導者、昔のように愛情のある厳しい先生が少ないように思うので、先生への教育、スキルアップを図ってほしい。	8
子どもの「心」に対する教育、イジメ問題を授業に取り入れて、定期的に正直に自分の気持ちを文章に出来る心のアンケートの実施等してほしい。	5
昔のように、土曜日に授業をしてほしい。	4
災害時の避難の仕方、子どもの安全確保のための学校、学童の対応、通学路の見直しなどしっかりと考えてほしい。	4
各々の学校が特徴をだしながら、より高いレベルの教育を行うため施策を高じてほしい。	4
自宅から学校まで遠い為、送迎バスがあれば助かる。	3
学校内に、カウンセリングの専門員を派遣してほしい。	2
先生の数を増やす、簡単な作業等を保護者が気軽にお手伝いできるシステム等で教師の多忙解消を図ってほしい。	2
勉強に集中できる環境づくりとして学校に扇風機がほしい。	2
時代により心のやさしい（弱い）子どもが増えつつある中、不登校児についてより早い対応をすることが大切かと思う。	1
食の安全が心配される中、小学校の給食の実情の情報公開と、改善を早急にしていただきたい。	1
教育場での変更事項があった場合は保護者に対して説明して頂ければトラブルにもならないと思う。	1
少人数で子どもたちの勉強をみていただけたらうれしい。	1
小学校までは校区外通学で中学校からは自宅校区になることを知り、初めての集団に入り孤独になってしまうこと、いじめ等について不安。子どもが安心して元気で楽しく学べる学校の選択権について考えてほしい。	1
個人情報の問題もあるのか学校の先生は他の子どもについてあまり話をしてくれない。また、連絡網（クラス全員分）がないので時々困ることがある。	1
少人数の学校の良さを小学校で体験しているが、中学校ではもっと人にもまれ、つらいことも沢山体験し成長してほしいと思う。	1
特別支援員の数が足りない。	1
参観日が多く働いている身には大変である。メール連絡システムが不便に思う。	1
最近の子ども達は、学校が終わってから友達と遊ぶにも、外で遊べる場所がないので、週に何度か放課後に小学校等の運動場を開放していただけたらありがたい。	1
全ての学校に図書室を作り、図書教諭もしくは図書館司書を配置してほしい。	1
他の学校の子ども達と、何か交流できるイベントがあっても楽しいと思う。	1
昔と違い学校の休みが多く、毎日の学習が一年生からつめ込みすぎて、子ども達が追いついて行くのが大変である。なんとかゆとりが出来ないものか。	1

◆ 小学校・中学校について

内容	件数
「いじめ」が一番心配なので、学校に警察官みたいな人を配置してもらい監視してもらいたい。	1

◆ 学童保育について

内容	件数
学童保育の利用年齢を延長してほしい。	20
学童保育を地域に作ってほしい。	16
放課後子ども教室を地域に作ってほしい。	15
学童保育の利用時間を延長してほしい。	10
夏休み等長期期間だけでも利用できる学童保育にしてほしい。	6
学童保育を土日祝日も実施してほしい。	6
学童保育をもっと利用しやすい料金にしてほしい。	5
学童保育の一時利用があってほしい。	3
学童保育の指導員には、異動のない地域の人、子どもに愛情を持って接することができる人、保育士や教員の免許を持った人があたってくれると指導や管理がしっかりすると思う。	3
放課後子ども教室の回数を増やすなどもっと充実をさせてほしい。	3
学童保育が子どものためのものなら、両親が仕事をしている家庭だけが学童保育してもらえるという条件は理解できない。	1
学童保育で宿題をみてくれない。宿題はやらすけどお直しはなし。	1
学童保育の定員に満たない場合、希望があれば幼児（未就園児）も入所できるようにしてほしい。	1
学童保育を利用する前に何かと制約や決まり事があってなかなかさっと利用させてくれなかった。	1

◆ 経済的支援について

内容	件数
医療費補助制度、医療費無料化を小学校卒業までにしてほしい。	18
医療費補助制度、医療費無料化を中学卒業までにしてほしい。	14
医療費補助制度、医療費無料化の年齢を引き上げてほしい。	4
予防接種の負担軽減、無料化制度があれば助かる。	2
子育て支援事業すべて無料になれば助かる。	2
無料にすると必要のない人も利用すると思うので、せめて幼児医療費の負担を軽減してほしい。	2
医療費補助制度、医療費無料化を高校卒業までにしてほしい。	1

◆ 経済的支援について

内容	件数
保育料、学童保育を無料か、もっと安くしてほしい。	1
塾の費用を税金からフォローしてもらえないだろうか。	1

◆ 遊び場について

内容	件数
近くに子どもが遊べる公園などがないので作ってほしい。	31
近くに児童館、もしくは児童館のような施設を作ってほしい。	10
雨の日等に遊べる室内施設がほしい。	6

◆ 地域環境について

内容	件数
地域の人との交流によりいろんな体験をできる環境があればうれしい。	3
子どもと地域の大人が関われる環境づくりができると良いと思う。	3
登下校時のシニアパトロールの方が見守ってくれていることで安心できるし、子どもの挨拶の習慣にもなり感謝している。	2
夕方、夜間など、住宅地域の見回り。	1

◆ 地域整備について

内容	件数
歩道がないうえに交通量も増えており、信号無視やスピードを出して走る車などが通学路になっている。道路環境の整備をしてほしい。	11
街灯が少なく暗く危ないので防犯のうえから街灯の設置を希望する。	2

◆ 職場環境について

内容	件数
育児休業や短時間勤務制度があっても取得できない、しにくい環境ではどうしようもない。両親がそれぞれ子育てに関わることが普通であるという職場環境となるよう働きかけてほしい。	7

◆ その他

内容	件数
責任感のない親が多い。子どもの主教育はやはり家庭で親であると思う。	2
ケーブルＴＶやＦＭラジオ、公民館を使って学校の授業の復習などしてくれるものがあればいいと思う。	1
他地域から来た場合、どこにどのような教室があるのかわからないので子どもが通える、習い事の案内をしてほしい。	1

◆ その他

内容	件数
子どものために専業主婦でありたい、家で子どもの帰りを待つ親でありたいと思っている母親も、中にはいるということを分かってほしい。	1
共働きが増えている中、未だに「週末であれば参加できるだろう」「夜の時間帯なら参加してくれるだろう」という考えが一部あるので、払拭できたらと思う。	1
不満だらけで書ききれない。	1
問１０で書いてしまった。	1
特になし。	1

資料

子育て支援に関するアンケート調査
就学前児童用調査票

（就学前児童用）

子育て支援に関するアンケート調査

～調査の趣旨とご協力のお願い～

保護者の皆様へ

皆様には、日頃より田辺市のまちづくりにご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、５年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施します（平成 27 年度から実施予定）。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を田辺市が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成２５年１２月

田　辺　市　長　　真　砂　充　敏

田辺市教育委員会教育長　中　村　久仁生

【ご記入にあたってのお願い】

この調査は、「就学前児童用」と「小学生用」の２種類の調査票により実施しています。

世帯にお子さんが２人以上いらっしゃる場合には、複数の調査票がお手元に届く場合がございますが、それぞれのお子さんについてご記入くださいますようお願い申し上げます。

調査票には、お子さんの保護者の方がご記入ください。

お子さんの年齢は、今年度中になる年齢でご回答ください。

ご記入がすみましたら、お手数ですが１２月２０日（金）までにご回答下さいますよう、お願い申し上げます。

幼稚園、保育所、小学校に通園（学）されているお子さんに対する調査票は、それぞれの幼稚園、保育所、小学校へご提出ください。

郵送で届きました方は、同封の返信用封筒に入れてご返送ください。

問い合わせ先

田辺市役所　子育て推進課

電話　０７３９－２６－４９２７　ファックス　０７３９－２６－７７５０

回答するに当たってお読み下さい

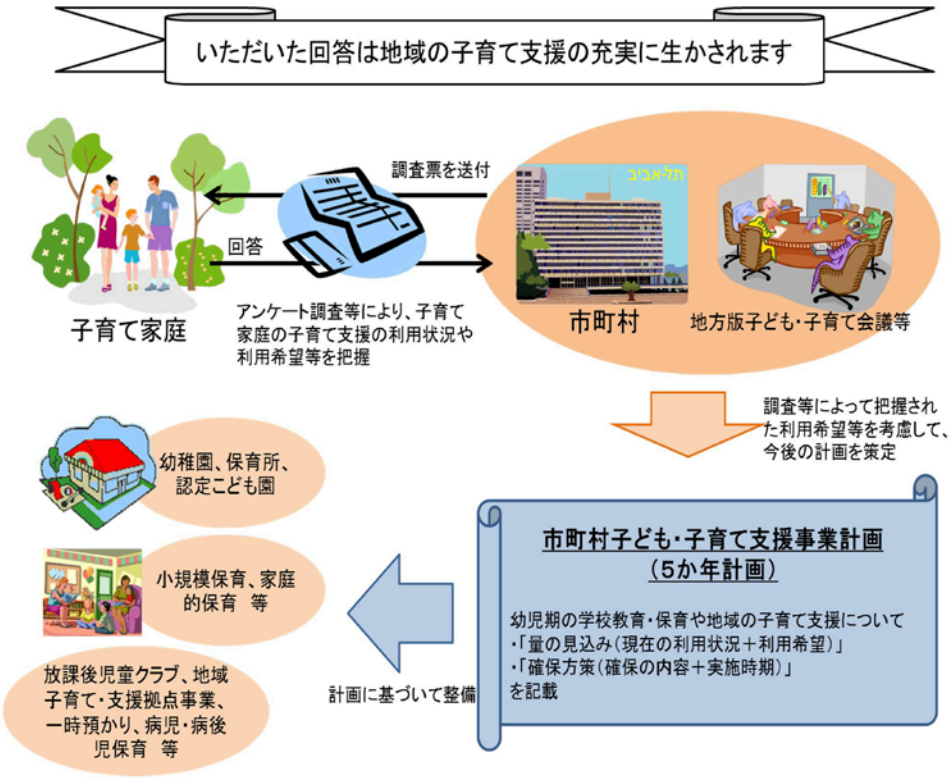
ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度は、以下のような考え方に基づいています。

● 急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

● 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。



（用語の定義）
この調査票における用語の定義は以下のとおり

・幼　稚　園：学校教育法に定める、３～５歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
・保　育　所：児童福祉法に定める、保育を必要とする０～５歳児に対して保育を行う施設
（児童福祉法第39条）
・認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第２条第６項）
・子　育　て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
・教　　育：問１２までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問１３以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

お住まいの地域についてうかがいます

問１　あなたがお住まいの地区を、小学校区でお答え下さい【当てはまる番号１つに○をつけてください】。

１．田辺第一小学校	２．田辺第二小学校	３．田辺第三小学校	４．芳養小学校
５．大坊小学校	６．新庄小学校	７．新庄第二小学校	８．稲成小学校
９．田辺東部小学校	10．会津小学校	11．上芳養小学校	12．中芳養小学校
13．上秋津小学校	14．秋津川小学校	15．三栖小学校	16．長野小学校
17．伏菟野小学校	18．咲楽小学校	19．中山路小学校	20．上山路小学校
21．龍神小学校	22．中辺路小学校	23．近野小学校	24．鮎川小学校
25．三川小学校	26．富里小学校	27．本宮小学校	28．三里小学校

小学校区がわからない場合　（　　）町（お住まいの町名をご記入下さい。）

お子さんとご家族の状況についてうかがいます

問２　お子さんの生年月をご記入ください。

平成＿＿＿＿＿年＿＿＿＿＿月生まれ

問３　お子さんのきょうだいは全員で何人いらっしゃいますか。人数をご記入ください。また、２人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数　＿＿＿＿人　　末子の生年月　平成　＿＿＿＿年　＿＿＿＿月生まれ

問４　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．母親　　２．父親　　３．その他（　　）

問５　この調査票にご回答いただいている方の配偶者（パートナー）関係についてお答えください。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．配偶者（パートナー）がいる　　２．配偶者（パートナー）はいない

※これ以降の設問では、単に、配偶者とだけ記載しますが、意味は同じです。

問６　お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．父母ともに　　２．主に母親　　３．主に父親　　４．主に祖父母　　５．その他（　　）

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問７　お子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

１．家庭　　２．地域　　３．幼稚園　　４．保育所　　５．小学校
６．その他（　　）

問８　日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

預かってもらえる人の有無【複数選択可】	預かってもらうことに関する状況【複数選択可】
１．日常的に祖父母等の親族にみてもらえる ２．緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	ア．祖父母等が子供を預かることについて、特に問題はない イ．祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である ウ．祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である エ．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい オ．子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある カ．その他（　　）
３．日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる ４．緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	ア．友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる イ．友人・知人の身体的負担が大きく心配である ウ．友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である エ．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい オ．子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある カ．その他（　　）
５．いずれもいない	

問９　お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

相談先の有無【1つ選択】	相談相手（場所）【複数選択可】	
１．ある	ア．祖父母等の親族	イ．友人や知人
	ウ．近所の人	エ．保育士
	オ．幼稚園教諭	カ．かかりつけの医師
	キ．子育て支援施設（児童館等）・ＮＰＯ	ク．保健所・保健センター
	ケ．民生委員・児童委員	コ．公共団体の子育て関連担当窓口
	サ．その他　【例】ベビーシッター　（　　）	
２．ない		

問１０　子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

問１１　お子さんのご両親のそれぞれの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、該当する欄に○をつけてください。

	母親	父親
記入例	○	○
フルタイムで就労中		
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中		
フルタイム以外で就労中		
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中		
以前は就労していたが、現在は就労していない		
これまで就労したことがない		

※フルタイムは、１週５日程度、１日８時間程度の就労を指します。正規・非正規（派遣・アルバイト等）にかかわらず、時間で判断してください。

※太枠内にひとつでも○がついた場合には、その方のことについて、問１１－１へ

問１１－１　就労されている場合は、就労日数や就労時間、家を出る時間と、帰宅時間について、最も多いパターンでお答え下さい。また、就労日数のうち、土曜日、日曜日の就労がある場合には、該当する番号に○を付けてください。なお、休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答え下さい。時間は（例）０９時～１８時のように、２４時間制でお答え下さい。

	１週あたりの就労日数	土曜日・日曜日の就労の有無	１日あたりの就労時間	家を出る時間	帰宅時間
母親	日	1. 土曜　2. 日曜	時間	時	時
父親	日	1. 土曜　2. 日曜	時間	時	時

問１１－２　フルタイム以外で就労されている場合（問１１で塗りつぶしの欄内に○がついた方）は、フルタイムへの転職希望等について、該当する欄に○を付けてください。

	母親	父親
記入例	○	○
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みあり		
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みなし		
フルタイム以外での就労を続けることを希望		
就労をやめて、子育てや家事に専念したい		

問１２　問１１で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○がついた方（太枠内に○がつかなかった方）についてうかがいます。

	母親	父親
記入例	○	○
子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）		
すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい		
１年以上先に、就労したい		

※太枠内にひとつでも○がついた場合には、その方のことについて、問１２－１へ

問１２－１　問１２で太枠内に○がついた場合に、希望する就労日数や就労時間をお書き下さい。また、就労日数のうち、土曜日、日曜日の就労希望がある場合には、該当する番号に○を付けてください。※フルタイムは、１週５日程度、１日８時間程度とお考え下さい。

	１週あたりの就労日数	土曜日・日曜日の就労の有無	１日あたりの就労時間
母親	日	1．土曜　2．日曜	時間
父親	日	1．土曜　2．日曜	時間

問１２で「１年以上先に、就労したい」に○がついた方にうかがいます。

問１２－２　就労を始めるのは、一番小さい子どもが何歳になった頃をお考えですか。

母親	子どもが、＿＿＿＿＿歳になったら就労したい	父親	子どもが、＿＿＿＿＿歳になったら就労したい

お子さんの平日の幼稚園・保育所などの利用状況についてうかがいます

問１３　お子さんは現在、幼稚園や保育所などを利用されていますか。

利用している方は「現在の利用状況」、現状から変更希望がある場合は「今後の利用希望」を、利用希望はあるが利用していない方は、「今後の利用希望」をお答えください。

利用希望については、既存施設の開所時間などを考慮せず、本来こうであれば良いと考える内容をお答え下さい。

利用の有無【一つ選択】		現在の利用状況　【1つ選んでご記入下さい】			
1．利用している	→	利用している事業	ア．認定こども園　イ．認可保育所（園） ウ．認可外保育施設　エ．へき地保育所（園） オ．事業所内保育施設　カ．幼稚園　⇒問13-1 キ．居宅訪問型保育（ベビーシッター等） ク．ファミリーサポートセンター（きっずぱーく） ケ．その他　（　）		
		利用日数	1　週あたり　日	利用時間帯	時　分 ～　時　分
	↓	**現状からの変更希望がある場合には下にもご記入下さい（希望がない場合は記入不要）**			
2．利用希望はあるが利用していない（保育所待機中を含む）	→	今後の利用希望　【1つ選んで、ご記入下さい】			
		利用したい事業	ア．認定こども園　イ．認可保育所（園） ウ．認可外保育施設　エ．へき地保育所（園） オ．事業所内保育施設　カ．幼稚園 キ．居宅訪問型保育（ベビーシッター等） ク．ファミリーサポートセンター（きっずぱーく） ケ．その他　（　）		
		希望日数	1週あたり　日	希望時間帯	時　分 ～　時　分
3．希望はない					

（注釈）

認定こども園　幼稚園と保育所が一体となった施設。現在、田辺市には整備されておりません。

認可保育所　牟婁保育所、みどり保育所、日向保育所、稲成保育所、まろみ保育所、はやざと保育所、もとまち保育所、くりすがわ保育園、ちかの保育園、あゆかわ保育園、いずみ保育園、芳養保育所、扇ヶ浜保育所、会津保育所、あゆみ保育所、わんぱく保育所、こどものへや保育園

認可外保育施設　はまゆう保育所、ちあふる

へき地保育所　秋津川保育所、ひまわり保育園、たんぽぽ保育園、とみさと保育園、湯ノ又保育園、東保育園、柳瀬保育園

事業所内保育施設　はまゆう保育所、ヤクルト、たんぽぽ（紀南病院）

問１３－１　問１３で「１．利用している」の「カ」に○をつけた方に、幼稚園における「預かり保育」（通常の就園時間を延長して預かる事業）の利用について、うかがいます。

（１）当てはまる番号に１つだけ○をつけてください。

１．現在、幼稚園において毎日預かり保育を利用している。　⇒　（２）へ

２．現在、幼稚園においてときどき預かり保育を利用している。⇒　（２）へ

３．現在、幼稚園における預かり保育を利用していないが、他の保育事業等を利用している。

４．現在、特に利用している保育事業等はない。（上記１、２、３に該当しない）

※親族、知人、友人等による預かりは「４」とお答えください。また、親族等による預かりが中心で、時おり（例えば週１日程度）、幼稚園の預かり保育を利用するような方は、「２」とお答えください。

（２）（１）で、「１.」または「２.」に○をつけた方にうかがいます。

週当たりの「利用日数」、１日当たりの「利用時間」をお答えください。

利用日数や利用時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

１週当たり　　日　　１日当たり　　時間

問１３－２　現在、利用している幼稚園・保育所などの実施場所についてうかがいます。「１.」「２.」のいずれかに○をつけてください 。

１．田辺市内　　２．他の市町村

問１３－３　平日に定期的に幼稚園・保育所などを利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．子どもの教育や発達のため
２．現在就労している
３．就労予定がある／求職中である
４．家族・親族などを介護している
５．病気や障害がある
６．学生である
７．その他（　　）

問１３－４　問１３で「２．利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない
２．子どもの祖父母や親戚の人がみている
３．近所の人や父母の友人・知人がみている
４．利用したいが、保育所・幼稚園に空きがない
５．利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
６．利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
７．利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
８．子どもがまだ小さいため（＿＿＿＿＿歳くらいになったら利用しようと考えている）
９．その他（　　）

問１３－５　幼稚園・保育所などを利用したい場所についてうかがいます。「１．」「２．」のいずれかに○をつけてください 。

１．田辺市内　　２．他の市町村

お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます

問１４　お子さんは、現在、地域子育て支援センター（「愛・あい」「ちかの」）の事業「青空広場」「つどいの広場」「つどいのおへや」「あいあい広場」などを利用していますか。利用されている場合、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

１．利用している　（「青空広場」「つどいの広場」「つどいのおへや」「あいあい広場」など）

１週当たり＿＿＿＿＿回　もしくは　１ヶ月当たり＿＿＿＿＿回程度

２．利用していない

問１５　問１４のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

１．利用していないが、今後利用したい

１週当たり　＿＿＿＿＿＿＿回　もしくは　１ヶ月当たり　＿＿＿＿＿＿＿回程度

２．すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

１週当たり　更に　＿＿＿＿＿回　もしくは　１ヶ月当たり　更に　＿＿＿＿＿回程度

３．新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問１６　下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑧の事業ごとに、Ａ～Ｃのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用したことがある	C 今後利用したい
① マタニティスクール・パパママ教室	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
② すくすくトーク・すくすくひろば・すくすく離乳食	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
③ 家庭児童相談室	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
④ 養育支援訪問事業	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑤ 子育ての相談窓口	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑥ 図書館の絵本の読み聞かせ	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑦ 児童館のフリースペースちびっこ	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑧ ファミリーサポートセンター（きっずぱーく）	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ

お子さんの土曜・休日や長期休暇中の幼稚園・保育所などの利用希望についてうかがいます

問１７　お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、幼稚園・保育所などの利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

	土曜日	日曜日・祝日
記入例	○	○
１．利用する必要はない		
２．ほぼ毎週利用したい		
３．月に１～２回は利用したい		
利用したい時間帯	（　　）時から （　　）時まで	（　　）時から （　　）時まで

問１７－１　問１７で、「３．月に１～２回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．月に数回仕事が入るため	２．平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
３．親族の介護や手伝いが必要なため	４．息抜きのため
５．その他（　　）	

問１８　「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

なお、これらの 事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

１．利用する必要はない
２．ほぼ毎日利用したい
３．週に数日利用したい

⇨ 利用したい時間帯

＿＿＿＿＿＿時から　＿＿＿＿＿＿時まで

問１８－１　問１８で、「３．週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．週に数回仕事が入るため	２．買い物等の用事をまとめて済ませるため
３．親等親族の介護や手伝いが必要なため	４．息抜きのため
５．その他（　　）	

お子さんの病気の際の対応についてうかがいます
（平日の幼稚園・保育所を利用する方のみ）

問１９　平日の幼稚園・保育所などの事業を利用していると答えた保護者の方（問１３で１に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問２０にお進みください。

この１年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

１．あった　⇒　問１９－１へ　　２．なかった　⇒　問２０へ

問１９－１　お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数もご記入ください。

（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。）

１年間の対処方法	日　数
１．　父親が休んだ	日
２．　母親が休んだ	日
３．　（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	日
４．　父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	日
５．　病児・病後児の保育を利用した	日
６．　ベビーシッターを利用した	日
７．　ファミリーサポートセンター（きっずぱーく）を利用した	日
８．　仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日
９．　その他（　　）	日

問１９－２　問１９－１で「１.」「２.」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号１つに○をつけ、日数についてもご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

１．できれば病児・病後児保育施設等を利用したい　⇒　＿＿＿＿＿日
２．利用したいとは思わない

問１９－３　問１９－１で「３.」から「９.」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号１つに○をつけ、「３」から「９」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数をご記入ください。

１．できれば仕事を休んで看たい　⇒　＿＿＿＿＿日　⇒　問２０へ
２．休んで看ることは非常に難しい　⇒　問１９－４へ

問１９－４　問１９－３で「２．休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．子どもの看護を理由に休みがとれない　　２．自営業なので休めない
３．休暇日数が足りないので休めない　　４．その他（　　）

お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます（平日の幼稚園・保育所を利用する方のみ）

問２０　お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、１年間の利用日数（おおよそ）をご記入ください。

利用している事業・日数（年間）		
１．ファミリーサポートセンター（きっずぱーく）		日
２．子育て短期支援事業（ショートステイなど） （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	⇒ 問２１へ	日
３．ベビーシッター		日
４．託児所		日
５．その他（　　）		日
６．利用していない		

問２０－１　問２０で「６．利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．利用料がかかる・高い
２．利用したい事業が地域にない
３．特に利用する必要がない
４．地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
５．地域の事業の質に不安がある
６．利用料がわからない
７．事業の利用方法（手続き等）がわからない
８．自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
９．その他（　　）

問２１　お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数をご記入ください。）なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

１．利用したい		計　　日
	ア．私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	日
	イ．冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院　等	日
	ウ．不定期の就労	日
	エ．その他（　　）	日
２．利用する必要はない　⇒　問２２へ		

問２１－１　問２１で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問２１の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
２．小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）
３．地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ﾌｧﾐﾘｰｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ事業等）
４．その他（　　）

問２２　この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数をご記入ください。

	１年間の対処方法	日数
１．あった	ア．（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	泊
	イ．子育て短期支援事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	泊
	ウ．イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	泊
	エ．仕方なく子どもを同行させた	泊
	オ．仕方なく子どもだけで留守番をさせた	泊
	カ．その他（　　）	泊
２．なかった		

問２２－１　問２２で「1. あった　ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．非常に困難　　２．どちらかというと困難　　３．特に困難ではない

お子さんが５歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます（平日の幼稚園・保育所を利用する方のみ）

⇒　５歳未満の方は、問３７へ

問２３　お子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数をご記入ください。また、「６．学童保育」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。時間は、（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

１．自宅	週	日くらい
２．祖父母宅や友人・知人宅	週	日くらい
３．習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	日くらい
４．児童館	週	日くらい
５．放課後子ども教室	週	日くらい
６．学童保育	週 →　下校時から	日くらい 時まで
７．ファミリーサポートセンター（きっずぱーく）	週	日くらい
８．その他（公民館、公園など）	週	日くらい

「放課後子ども教室」･･･地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらずすべての小学生が利用できます。

（田辺市では、稲成・上秋津・鮎川・龍神の４ケ所で、地域の方々の協力をえて年間 30 回程度、実施しています。利用料は無料）

「学童保育」･･･････　保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。

田辺市では、１０ケ所で実施しています。

平日の利用時間は下校時～午後６時まで、利用料金：１ケ月８，０００円

問２４　お子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数をご記入ください。また、「６．学童保育」の場合には利用を希望する時間もでご記入ください。時間は、(例)０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

１．自宅	週　　日くらい
２．祖父母宅や友人・知人宅	週　　日くらい
３．習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週　　日くらい
４．児童館	週　　日くらい
５．放課後子ども教室	週　　日くらい
６.学童保育	週　　日くらい →　下校時から　　時まで 小学　　年生まで利用したい
７．ファミリーサポートセンター事業（きっずぱーく）	週　　日くらい
８．その他（公民館、公園など）	週　　日くらい

問２５　お子さんの学校に「放課後子ども教室」と「学童保育」があれば利用しますか。

１．放課後子ども教室を利用する。
２．学童保育を利用する。
３．「放課後子ども教室」と「学童保育」の両方を利用する。

問２６　問２５で２と３に○をつけた方のみ回答してください。学童保育を利用する時期はいつですか。

１．年間を通して利用する
２．夏休み等の長期休業日のみ利用する

問２７　お子さんについて、学童保育を利用した事がありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．現在利用中である	⇒　問 28 へ
２．かつて利用したことがある	⇒　問 33、35 へ
３．利用したことがない	⇒　問 34 へ

問２８　問２７で「１．現在利用中である」に○をつけた方にうかがいます。利用時間について、（１）、（２）、（３）それぞれ当てはまる番号１つに○をつけてください。また利用している時間帯を、（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

（１）平日の放課後

１．利用している ２．利用していない	利用している時間帯 下校時から　　時まで

（２）土曜日

１．利用している ２．利用していない	利用している時間帯 時から　　時まで

（３）長期休暇中

１．利用している ２．利用していない	利用している時間帯 時から　　時まで

問２９　問２７で「１．現在利用中である」に○をつけた方にうかがいます。利用している学童保育の保育料について当てはまる番号に○をつけてください。

１．高い
２．安い
３．ちょうど良い

問３０　問２７で「１．現在利用中である」に○をつけた方にうかがいます。利用している学童保育の満足度について当てはまる番号に○をつけてください。

満足度が低い ←――――――→ 満足度が高い
1　2　3　4　5

問３１　問２７で「１．現在利用中である」に○をつけた方にうかがいます。利用している学童保育について良いと感じている点があれば該当するものに○をつけてください。（いくつでも可）

１．指導員の対応について
２．学童保育の連絡体制について
３．施設の立地、広さ、衛生面について
４．食事（おやつ）について
５．開所時間、開所日数について
６．その他（　　）

問３２　問２７で「１．現在利用中である」に○をつけた方にうかがいます。利用している学童保育について不満に思う点があれば該当するものに○をつけてください（いくつでも可）

１．指導員の対応について
２．学童保育の連絡体制について
３．施設の立地、広さ、衛生面について
４．食事（おやつ）について
５．開所時間、開所日数について
６．その他（　　）

⇒　問３６へ

問３３　問２７で「２．かつて利用したことがある」に○をつけた方にうかがいます。利用をやめた理由について当てはまる番号に○をつけてください

１．子が大きくなったため	２．就労時間等の変化により利用の必要性がなくなったため
３．習い事等を優先するようにした	４．利用料が負担だった
５．子どもが通所をいやがった	６．学童保育の保育方針があわなかった
７．その他（　　）	

問３４　問２７で「３．利用したことがない」に○をつけた方にうかがいます。学童保育を利用していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．家族が子どもをみている	２．学童保育所を知らなかった
３．習い事等を優先している	４．通学校区に学童保育がない
５．学童保育の開所時間が合わない	６．利用料が負担になる
７．子どもだけで留守番ができる	８．その他（　　）

問３５　問２７で「２．かつて利用したことがある」または「３．利用したことがない」に○をつけた方にうかがいます。今後、学童保育を利用したいとお考えですか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．利用したい
２．利用を希望しない

問３６　すべての方にうかがいます。お子さんについて、もし学童保育が日曜日・祝日にも通所が可能となった場合、日曜日・祝日の利用希望はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）　０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

<table>
<tr><td colspan="2">１．利用する必要はない</td></tr>
<tr><td>２．ほぼ毎回利用したい</td><td rowspan="2">利用したい時間帯

＿＿＿＿＿＿＿時から＿＿＿＿＿＿＿時まで</td></tr>
<tr><td>３．月に１～２回は利用したい</td></tr>
</table>

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます（平日の幼稚園・保育所を利用する方のみ）

問３７　お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけてください。また「３．取得していない」方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
１．働いていなかった ２．取得した（取得中である） ３．取得していない ⇒ **取得していない理由**（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	１．働いていなかった ２．取得した（取得中である） ３．取得していない ⇒ **取得していない理由**（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

１．職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
２．仕事が忙しかった
３．（産休後に）仕事に早く復帰したかった
４．仕事に戻るのが難しそうだった
５．昇給・昇格などが遅れそうだった
６．収入減となり、経済的に苦しくなる
７．保育所（園）などに預けることができた
８．配偶者が育児休業制度を利用した
９．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
１０．子育てや家事に専念するため退職した
１１．職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
１２．有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
１３．育児休業を取得できることを知らなかった
１４．産前産後の休暇（産前６週間、産後８週間）を取得できることを知らず、退職した
１５．その他（　　）

問３７－１　子どもが原則１歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は１歳６月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満３歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
２．育児休業給付のみ知っていた
３．保険料免除のみ知っていた
４．育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問３７－２　問３７で「２．　取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

（１）母親

１．育児休業取得後、職場に復帰した ２．現在も育児休業中である ３．育児休業中に離職した

（２）父親

１．育児休業取得後、職場に復帰した ２．現在も育児休業中である ３．育児休業中に離職した

問３７－３　問３７－２で「1．育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか１つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、１月～２月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「１．」を選択してください。

（１）母親

１．年度初めの入所に合わせたタイミングだった	２．それ以外だった

（２）父親

１．年度初めの入所に合わせたタイミングだった	２．それ以外だった

問３７－４　育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

（１）母親

実際の取得期間		歳	ヶ月	希望	歳　ヶ月

（２）父親

実際の取得期間		歳	ヶ月	希望	歳　ヶ月

問３７－５　お勤め先に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

（１）母親

歳　ヶ月

（２）父親

歳　ヶ月

問３７－６　育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

（１）母親

１．利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
２．利用した
３．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

（２）父親

１．利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
２．利用した
３．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

※短時間勤務制度とは、１日の所定労働時間を原則として６時間とする措置などです。

問３７－７　問３７－２で「２．現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。お子さんが１歳になるまでに必ず利用できる事業があれば、１歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても１歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

（１）母親

１．１歳になるまで育児休業を取得したい　　２．１歳になる前に復帰したい

（２）父親

１．１歳になるまで育児休業を取得したい　　２．１歳になる前に復帰したい

問３７－８　問３７－４で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

（１）「希望」より早く復帰した方　　※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

１．希望する保育所に入るため　　２．配偶者や家族の希望があったため
３．経済的な理由で早く復帰する必要があった　　４．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
５．その他（　　）

①父親

１．希望する保育所に入るため　　２．配偶者や家族の希望があったため
３．経済的な理由で早く復帰する必要があった　　４．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
５．その他（　　）

（２）「希望」より遅く復帰した方　　※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

１．希望する保育所に入れなかったため　　２．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
３．配偶者や家族の希望があったため　　４．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
５．子どもをみてくれる人がいなかったため
６．その他（　　）

②父親

１．希望する保育所に入れなかったため　　２．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
３．配偶者や家族の希望があったため　　４．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
５．子どもをみてくれる人がいなかったため
６．その他（　　）

問３７－９　問３７-６で「３.利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

（１）母親

１．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
２．仕事が忙しかった
３．短時間勤務にすると給与が減額される
４．短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
５．配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
６．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
７．子育てや家事に専念するため退職した
８．職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
９．短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
１０．その他（　　）

（２）父親

１．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
２．仕事が忙しかった
３．短時間勤務にすると給与が減額される
４．短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
５．配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
６．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
７．子育てや家事に専念するため退職した
８．職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
９．短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
１０．その他（　　）

問３８　お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に１つに○をつけてください。

満足度が低い ←――――→ 満足度が高い
1　2　3　4　5

問３９　最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

子育て支援に関するアンケート調査
小学生用調査票

（小学生用）

子育て支援に関するアンケート調査

～調査の趣旨とご協力のお願い～

保護者の皆様へ

皆様には、日頃より田辺市のまちづくりにご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、５年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施します（平成 27 年度から実施予定）。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を田辺市が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成２５年１２月

田　辺　市　長　　真　砂　充　敏

田辺市教育委員会教育長　中　村　久仁生

【ご記入にあたってのお願い】

この調査は、「就学前児童用」と「小学生用」の２種類の調査票により実施しています。

世帯にお子さんが２人以上いらっしゃる場合には、複数の調査票がお手元に届く場合がございますが、それぞれのお子さんについてご記入くださいますようお願い申し上げます。

調査票には、お子さんの保護者の方がご記入ください。

お子さんの年齢は、今年度中になる年齢でご回答ください。

ご記入がすみましたら、お手数ですが１２月２０日（金）までにご回答下さいますよう、お願い申し上げます。

幼稚園、保育所、小学校に通園（学）されているお子さんに対する調査票は、それぞれの幼稚園、保育所、小学校へご提出ください。

郵送で届きました方は、同封の返信用封筒に入れてご返送ください。

問い合わせ先

田辺市役所　子育て推進課

電話　０７３９－２６－４９２７　ファックス　０７３９－２６－７７５０

回答するに当たってお読み下さい

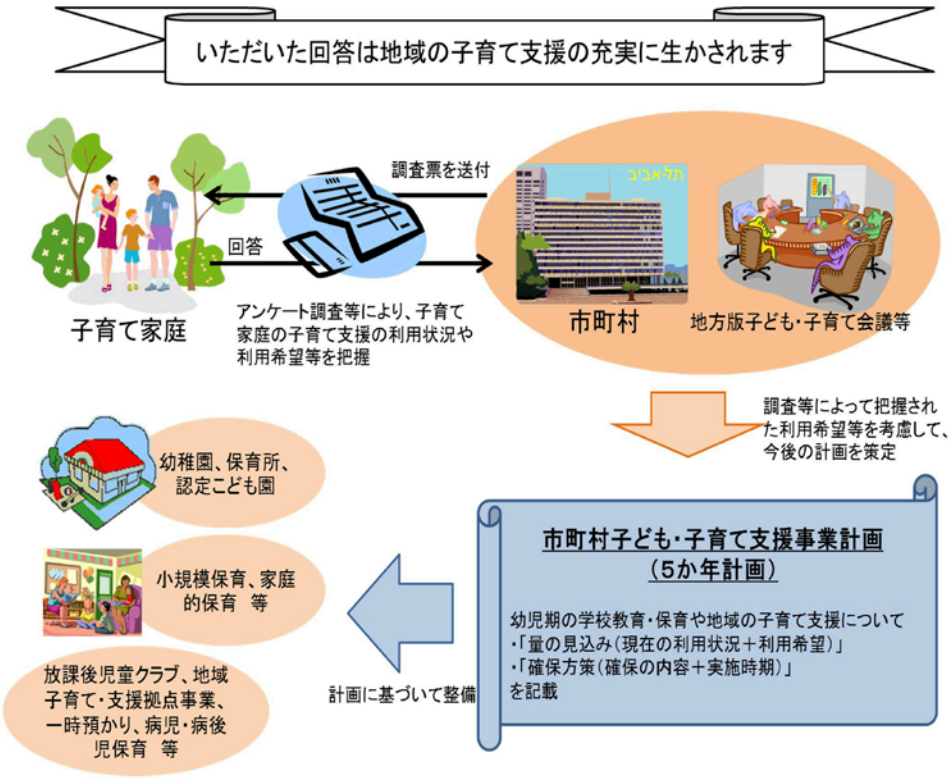
ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度は、以下のような考え方に基づいています。

● 急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

● 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。



（用語の定義）
この調査票における用語の定義は以下のとおり

・幼　稚　園：学校教育法に定める、３～５歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
・保　育　所：児童福祉法に定める、保育を必要とする０～５歳児に対して保育を行う施設
（児童福祉法第39条）
・認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第２条第６項）
・子　育　て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援

お住まいの地域についてうかがいます

問１　あなたがお住まいの地区を、小学校区でお答え下さい【当てはまる番号１つに○をつけてください】。

１．田辺第一小学校	２．田辺第二小学校	３．田辺第三小学校	４．芳養小学校
５．大坊小学校	６．新庄小学校	７．新庄第二小学校	８．稲成小学校
９．田辺東部小学校	10．会津小学校	11．上芳養小学校	12．中芳養小学校
13．上秋津小学校	14．秋津川小学校	15．三栖小学校	16．長野小学校
17．伏菟野小学校	18．咲楽小学校	19．中山路小学校	20．上山路小学校
21．龍神小学校	22．中辺路小学校	23．近野小学校	24．鮎川小学校
25．三川小学校	26．富里小学校	27．本宮小学校	28．三里小学校

小学校区がわからない場合　（　　）町（お住まいの町名をご記入下さい。）

お子さんとご家族の状況についてうかがいます

問２　お子さんの生年月をご記入ください。

平成＿＿＿＿＿年＿＿＿＿＿月生まれ

問３　お子さんのきょうだいは全員で何人いらっしゃいますか。人数をご記入ください。また、２人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数　＿＿＿＿人　　末子の生年月　平成　＿＿＿＿年　＿＿＿＿月生まれ

問４　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．母親　　２．父親　　３．その他（　　）

問５　この調査票にご回答いただいている方の配偶者（パートナー）関係についてお答えください。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．配偶者（パートナー）がいる　　２．配偶者（パートナー）はいない

※これ以降の設問では、単に、配偶者とだけ記載しますが、意味は同じです。

問６　お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．父母ともに　２．主に母親　３．主に父親　４．主に祖父母　５．その他（　　）

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問７　お子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

１．家庭　　２．地域　　３．幼稚園　　４．保育所　　５．小学校
６．その他（　　）

問８　日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

預かってもらえる人の有無【複数選択可】	預かってもらうことに関する状況【複数選択可】
１．日常的に祖父母等の親族にみてもらえる ２．緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	ア．祖父母等が子供を預かることについて、特に問題はない イ．祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である ウ．祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である エ．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい オ．子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある カ．その他（　　）
３．日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる ４．緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	ア．友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる イ．友人・知人の身体的負担が大きく心配である ウ．友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である エ．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい オ．子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある カ．その他（　　）
５．いずれもいない	

問９　お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

相談先の有無【1つ選択】	相談相手（場所）【複数選択可】	
１．ある	ア．祖父母等の親族	イ．友人や知人
	ウ．近所の人	エ．保育士
	オ．幼稚園教諭	カ．かかりつけの医師
	キ．子育て支援施設（児童館等）・ＮＰＯ	ク．保健所・保健センター
	ケ．民生委員・児童委員	コ．公共団体の子育て関連担当窓口
	サ．その他　【例】ベビーシッター　（　　）	
２．ない		

問１０　子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

問１１　お子さんのご両親のそれぞれの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、該当する欄に○をつけてください。

	母親	父親
記入例	○	○
フルタイムで就労中		
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中		
フルタイム以外で就労中		
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中		
以前は就労していたが、現在は就労していない		
これまで就労したことがない		

※フルタイムは、１週５日程度、１日８時間程度の就労を指します。正規・非正規（派遣・アルバイト等）にかかわらず、時間で判断してください。

※太枠内にひとつでも○がついた場合には、その方のことについて、問１１－１へ

問１１－１　就労されている場合は、就労日数や就労時間、家を出る時間と、帰宅時間について、最も多いパターンでお答え下さい。また、就労日数のうち、土曜日、日曜日の就労がある場合には、該当する番号に○を付けてください。なお、休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答え下さい。時間は（例）０９時～１８時のように、２４時間制でお答え下さい。

	１週あたりの就労日数	土曜日・日曜日の就労の有無	１日あたりの就労時間	家を出る時間	帰宅時間
母親	日	1. 土曜　2. 日曜	時間	時	時
父親	日	1. 土曜　2. 日曜	時間	時	時

問１１－２　フルタイム以外で就労されている場合（問１１で塗りつぶしの欄内に○がついた方）は、フルタイムへの転職希望等について、該当する欄に○を付けてください。

	母親	父親
記入例	○	○
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みあり		
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みなし		
フルタイム以外での就労を続けることを希望		
就労をやめて、子育てや家事に専念したい		

問１２　問１１で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○がついた方（太枠内に○がつかなかった方）についてうかがいます。

	母親	父親
記入例	○	○
子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）		
すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい		
１年以上先に、就労したい		

※太枠内にひとつでも○がついた場合には、その方のことについて、問１２－１へ

問１２－１　問１２で太枠内に○がついた場合に、希望する就労日数や就労時間をお書き下さい。また、就労日数のうち、土曜日、日曜日の就労希望がある場合には、該当する番号に○を付けてください。※フルタイムは、１週５日程度、１日８時間程度とお考え下さい。

	１週あたりの就労日数	土曜日・日曜日の就労の有無	１日あたりの就労時間
母親	日	1．土曜　2．日曜	時間
父親	日	1．土曜　2．日曜	時間

問１２で「１年以上先に、就労したい」に○がついた方にうかがいます。

問１２－２　就労を始めるのは、一番小さい子どもが何歳になった頃をお考えですか。

母親	子どもが、＿＿＿＿＿歳になったら就労したい	父親	子どもが、＿＿＿＿＿歳になったら就労したい

放課後の過ごし方についてうかがいます

問１３　お子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数をご記入ください。また、「６．学童保育」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。時間は、（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

1．自宅	週	日くらい
2．祖父母宅や友人・知人宅	週	日くらい
3．習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	日くらい
4．児童館	週	日くらい
5．放課後子ども教室	週	日くらい
6．学童保育	週 → 下校時から	日くらい 時まで
7．ファミリーサポートセンター（きっずぱーく）	週	日くらい
8．その他（公民館、公園など）	週	日くらい

「放課後子ども教室」･･･地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらずすべての小学生が利用できます。

（田辺市では、稲成・上秋津・鮎川・龍神の４ケ所で、地域の方々の協力をえて年間 30 回程度、実施しています。利用料は無料）

「学童保育」……　保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。

田辺市では、１０ケ所で実施しています。

平日の利用時間は下校時～午後６時まで、利用料金：１ケ月８，０００円

問１４　お子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数をご記入ください。また、「６．学童保育」の場合には利用を希望する時間もでご記入ください。時間は、(例)０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

１．自宅	週　　日くらい
２．祖父母宅や友人・知人宅	週　　日くらい
３．習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週　　日くらい
４．児童館	週　　日くらい
５．放課後子ども教室	週　　日くらい
６.学童保育	週　　日くらい →　下校時から　　時まで 小学　　年生まで利用したい
７．ファミリーサポートセンター事業（きっずぱーく）	週　　日くらい
８．その他（公民館、公園など）	週　　日くらい

問１５　お子さんの学校に「放課後子ども教室」と「学童保育」があれば利用しますか。

１．放課後子ども教室を利用する。
２．学童保育を利用する。
３．「放課後子ども教室」と「学童保育」の両方を利用する。

問１６　問１５で２と３に○をつけた方のみ回答してください。学童保育を利用する時期はいつですか。

１．年間を通して利用する
２．夏休み等の長期休業日のみ利用する

問１７　お子さんについて、学童保育を利用した事がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

１．現在利用中である	⇒　問 18 へ
２．かつて利用したことがある	⇒　問 23、25 へ
３．利用したことがない	⇒　問 24 へ

問１８　問１７で「１．現在利用中である」に○をつけた方にうかがいます。利用時間について、（１）、（２）、（３）それぞれ当てはまる番号１つに○をつけてください。また利用している時間帯を、（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

（１）平日の放課後

１．利用している ２．利用していない	利用している時間帯 下校時から　　時まで

（２）土曜日

１．利用している ２．利用していない	利用している時間帯 時から　　時まで

（３）長期休暇中

１．利用している ２．利用していない	利用している時間帯 時から　　時まで

問１９　問１７で「１．現在利用中である」に○をつけた方にうかがいます。利用している学童保育の保育料について当てはまる番号に○をつけてください。

１．高い
２．安い
３．ちょうど良い

問２０　問１７で「１．現在利用中である」に○をつけた方にうかがいます。利用している学童保育の満足度について当てはまる番号に○をつけてください。

満足度が低い ←→ 満足度が高い
1　2　3　4　5

問２１　問１７で「１．現在利用中である」に○をつけた方にうかがいます。利用している学童保育について良いと感じている点があれば該当するものに○をつけてください。（いくつでも可）

１．指導員の対応について
２．学童保育の連絡体制について
３．施設の立地、広さ、衛生面について
４．食事（おやつ）について
５．開所時間、開所日数について
６．その他（　　）

問２２　問１７で「１．現在利用中である」に○をつけた方にうかがいます。利用している学童保育について不満に思う点があれば該当するものに○をつけてください（いくつでも可）

１．指導員の対応について
２．学童保育の連絡体制について
３．施設の立地、広さ、衛生面について
４．食事（おやつ）について
５．開所時間、開所日数について
６．その他（　　）

⇒　問２６へ

問２３　問１７で「２．かつて利用したことがある」に○をつけた方にうかがいます。利用をやめた理由について当てはまる番号に○をつけてください

１．子が大きくなったため	２．就労時間等の変化により利用の必要性がなくなったため
３．習い事等を優先するようにした	４．利用料が負担だった
５．子どもが通所をいやがった	６．学童保育の保育方針があわなかった
７．その他（　　）	

問２４　問１７で「３．利用したことがない」に○をつけた方にうかがいます。学童保育を利用していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．家族が子どもをみている	２．学童保育所を知らなかった
３．習い事等を優先している	４．通学校区に学童保育がない
５．学童保育の開所時間が合わない	６．利用料が負担になる
７．子どもだけで留守番ができる	８．その他（　　）

問２５　問１７で「２．かつて利用したことがある」または「３．利用したことがない」に○をつけた方にうかがいます。今後、学童保育を利用したいとお考えですか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．利用したい
２．利用を希望しない

問２６　すべての方にうかがいます。お子さんについて、もし学童保育が日曜日・祝日にも通所が可能となった場合、日曜日・祝日の利用希望はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）　０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

<table>
<tr><td colspan="2">１．利用する必要はない</td></tr>
<tr><td>２．ほぼ毎回利用したい</td><td rowspan="2">利用したい時間帯

＿＿＿＿＿＿＿時から＿＿＿＿＿＿＿時まで</td></tr>
<tr><td>３．月に１～２回は利用したい</td></tr>
</table>

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます

問２７　お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけてください。また「３．取得していない」方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
１．働いていなかった ２．取得した（取得中である） ３．取得していない ⇒ **取得していない理由**（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	１．働いていなかった ２．取得した（取得中である） ３．取得していない ⇒ **取得していない理由**（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

１．職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
２．仕事が忙しかった
３．（産休後に）仕事に早く復帰したかった
４．仕事に戻るのが難しそうだった
５．昇給・昇格などが遅れそうだった
６．収入減となり、経済的に苦しくなる
７．保育所（園）などに預けることができた
８．配偶者が育児休業制度を利用した
９．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
１０．子育てや家事に専念するため退職した
１１．職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
１２．有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
１３．育児休業を取得できることを知らなかった
１４．産前産後の休暇（産前６週間、産後８週間）を取得できることを知らず、退職した
１５．その他（　　）

問２７－１　子どもが原則１歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は１歳６月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満３歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
２．育児休業給付のみ知っていた
３．保険料免除のみ知っていた
４．育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問２７－２　問２７で「２．取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

（１）母親

１．育児休業取得後、職場に復帰した ２．現在も育児休業中である ３．育児休業中に離職した

（２）父親

１．育児休業取得後、職場に復帰した ２．現在も育児休業中である ３．育児休業中に離職した

問２７－３　問２７－２で「１．育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか１つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、１月～２月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「１．」を選択してください。

（１）母親

１．年度初めの入所に合わせたタイミングだった	２．それ以外だった

（２）父親

１．年度初めの入所に合わせたタイミングだった	２．それ以外だった

問２７－４　育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

（１）母親

実際の取得期間	歳	ヶ月	希望	歳	ヶ月

（２）父親

実際の取得期間	歳	ヶ月	希望	歳	ヶ月

問２７－５　お勤め先に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

（１）母親

歳	ヶ月

（２）父親

歳	ヶ月

問２７－６　育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

（１）母親

１．利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
２．利用した
３．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

（２）父親

１．利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
２．利用した
３．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

※短時間勤務制度とは、１日の所定労働時間を原則として６時間とする措置などです。

問２７－７　問２７－２で「２.現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。お子さんが１歳になるまでに必ず利用できる事業があれば、１歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても１歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

（１）母親

１．１歳になるまで育児休業を取得したい　　２．１歳になる前に復帰したい

（２）父親

１．１歳になるまで育児休業を取得したい　　２．１歳になる前に復帰したい

問２７－８　問２７－４で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

（１）「希望」より早く復帰した方　　※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

１．希望する保育所に入るため　　２．配偶者や家族の希望があったため
３．経済的な理由で早く復帰する必要があった　　４．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
５．その他（　　）

①父親

１．希望する保育所に入るため　　２．配偶者や家族の希望があったため
３．経済的な理由で早く復帰する必要があった　　４．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
５．その他（　　）

（２）「希望」より遅く復帰した方　　※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

１．希望する保育所に入れなかったため　　２．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
３．配偶者や家族の希望があったため　　４．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
５．子どもをみてくれる人がいなかったため
６．その他（　　）

②父親

１．希望する保育所に入れなかったため　　２．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
３．配偶者や家族の希望があったため　　４．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
５．子どもをみてくれる人がいなかったため
６．その他（　　）

問２７－９　問２７-６で「３.利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

（１）母親

１．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
２．仕事が忙しかった
３．短時間勤務にすると給与が減額される
４．短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
５．配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
６．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
７．子育てや家事に専念するため退職した
８．職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
９．短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
１０．その他（　　）

（２）父親

１．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
２．仕事が忙しかった
３．短時間勤務にすると給与が減額される
４．短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
５．配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
６．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
７．子育てや家事に専念するため退職した
８．職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
９．短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
１０．その他（　　）

問２８　お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に１つに○をつけてください。

満足度が低い ←――――――→ 満足度が高い
1　2　3　4　5

問２９　最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。